

平成27年

山梨県観光入込客統計調査報告書

## 目 次

<b>第 1 部 観光入込客統計調査</b> .....	<b>1</b>
1 . 調査目的.....	2
2 . 調査期間.....	2
3 . 調査方法.....	2
4 . 調査分析項目.....	3
5 . 圏域分類.....	4
6 . 用語の定義 .....	5
7 . 平成 27 年観光客入込客調査結果の概要.....	7
8 . 調査結果（実人数） .....	8
( 1 ) 平成 27 年本県観光の概況 .....	8
( 2 ) 平成 27 年圏域別観光入込客数.....	10
( 3 ) 平成 27 年市町村別観光入込客数 .....	12
( 4 ) 平成 27 年宿泊観光客数.....	15
( 6 ) 月別の観光動向 .....	18
( 7 ) 圏域別観光の動向 .....	22
【参考】観光入込客数（延べ人数） .....	27
<b>第 2 部 観光地点等パラメータ調査による分析</b> .....	<b>33</b>
1 . 調査の概要 .....	<b>34</b>
( 1 ) 調査日 .....	34
( 2 ) 調査地点、サンプル数.....	34
( 3 ) 本報告書の計算値について.....	34
2 . 観光客の特性、動態状況の分析 .....	<b>35</b>
( 1 ) 本県観光客の全体像.....	35
( 2 ) 性別・年代別の観光客の特徴 .....	65
( 3 ) 圏域別の観光客の特徴 .....	69
( 4 ) ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味別の特徴.....	80
3 . アンケート調査票.....	<b>89</b>

## 第 1 部 観光入込客統計調査

## 1．調査目的

山梨県観光入込客統計調査（以下「本調査」という）は、観光客の旅行ニーズや行動パターンが多様化する中で、本県観光客の実態をよりの確に把握することにより、今後の観光施策や観光関係者の事業展開の基礎資料に供することを目的とする。

## 2．調査期間

平成27年1月1日～平成27年12月31日

## 3．調査方法

### （1）調査方法

観光客の実態をよりの確に把握するため、本県では平成22年4月より観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準及び調査要領」を導入し、観光入込客数や観光消費額について、全国共通の基準により四半期毎に調査集計を行っている。

具体的には、観光地点等入込客数調査（単純集計による延べ人数）、観光客を対象とする観光地点アンケート（パラメータ）調査を実施し、及びの調査結果に、観光庁が実施する他の統計調査の結果を用いて統計量を補正し、観光入込客の分析を行った。

図表1 観光入込客調査方法

項目	調査内容
調査対象	・年間入込客数が1万人以上、又は特定月で5千人以上の観光地点を集計（集計対象は前年実績により毎年当初に判定）
調査方法	・全観光地点を市町村経由で照会
調査地点数	・平成27年調査対象地点447箇所、集計対象地点379箇所

### （2）集計方法の留意点

観光入込客実人数の算定では、イベント・行祭事を含めていない。

また、各統計数値は、端数処理（小数点以下の値を非表示扱い）しているため表中の合計値と個々の数値の合計が一致しないことがある。

#### 4 . 調査分析項目

調査分析項目は以下のとおりである。

図表2 調査分析項目

項目	分析内容
観光客数	実人数、延べ人数（月別、圏域別、市町村別、外国人）
宿泊客数	実人数（月別、圏域別、外国人）
観光消費額	県内総消費額 1人あたり消費額（実人数ベース） 県外・県内宿泊客消費額 県外・県内日帰り客消費額 消費額内訳
観光動態	居住地 性別 年齢 日帰り・宿泊の別 平均訪問観光地点数（県外・県内） 平均宿泊数（県外・県内） 旅行目的 同行者数、グループ形態 利用交通手段 観光情報入手手段 観光消費の実態 観光地の満足度 自由意見 等

## 5. 圏域分類

本調査では、県内を5つの圏域( 峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部 )に分類し、圏域毎の観光客の動向分析を行う。

図表3 圏域分類

圏域名	所在市町村	
峡中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺 芸術の森・武田神社周辺 広河原・芦安温泉周辺 楡形山・果実郷周辺 釜無川沿岸 風土記の丘周辺	甲府市(湯村、塩部、上帯那、下帯那、高成、黒平、竹日向)、旧敷島町 旧甲府市(上記以外) 旧芦安村 旧八田村、旧白根町、旧楡形町 旧竜王町、旧双葉町、昭和町、旧玉穂町、旧田富町、旧若草町、旧甲西町 旧中道町、旧豊富村、旧上九一色村(甲府市編入区域)
峡東圏域	大菩薩・恵林寺周辺 勝沼ぶどう郷周辺 西沢渓谷・フルーツ公園周辺 石和温泉・果実郷周辺	旧塩山市 旧勝沼町、旧大和村 山梨市(旧山梨市、旧牧丘町、旧三富村) 笛吹市(旧春日居町、旧石和町、旧御坂町、旧一宮町、旧八代町、旧境川村、旧芦川村)
峡南圏域	身延山・下部温泉周辺 早川周辺 峡南北部 峡南南部	身延町(旧下部町、旧身延町、旧中富町) 早川町 市川三郷町(旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町)、富士川町(旧増穂町、旧鯉沢町) 南部町(旧南部町、旧富沢町)
峡北圏域	ハヶ岳高原周辺 金峰・みずがき周辺 甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺 茅ヶ岳周辺	旧高根町、旧長坂町、旧大泉村、旧小淵沢町 旧須玉町 韮崎市、旧白州町、旧武川村 旧明野村
富士・東部圏域	富士山五合目 富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺 本栖湖・精進湖・西湖周辺 山中湖・忍野周辺 大月・北都留 桂川・道志川周辺	富士吉田市、旧河口湖町、旧勝山村 旧上九一色村(富士河口湖町編入区域)、旧足和田村、鳴沢村 忍野村、山中湖村 大月市、旧上野原町、小菅村、丹波山村 都留市、旧秋山村、道志村、西桂町

図表4 圏域位置図



## 6 . 用語の定義

### ( 1 ) 観光

余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動をいう。

### ( 2 ) ビジネス目的兼観光

旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。

### ( 3 ) 観光地点

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としないこととする。

### ( 4 ) 行祭事・イベント

行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。

### ( 5 ) 観光入込客

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者とする。本基準では、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。

### ( 6 ) 訪日外国人客

観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を訪日外国人客とする。

### ( 7 ) 観光地点等入込客数 ( 延べ人数 )

観光地点及び行祭事・イベント(以下「観光地点等」という。)ごとの観光入込客の総数をいう。

### ( 8 ) 観光入込客数 ( 実人数 )

県内の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数えることとなる。この実人数は、観光地点パラメータ調査で把握された観光入込客の平均訪問地点数で、延べ人

数を除することで求められる。

( 9 ) 訪問地点数

観光入込客 1 人の 1 回の旅行において県内で訪問した観光地点の数をいう。

( 10 ) 観光消費額単価

観光入込客 1 人の 1 回の旅行における県内での観光消費額をいう。

( 11 ) 観光消費額

本県を訪れた観光入込客の消費の総額をいう。観光入込客数(実人数)と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。



## 7. 平成 27 年観光客入込客調査結果の概要

### (1) 観光入込客

観光客実人数	31,462 千人 (前年(30,017 千人)比 104.8%)
観光客延べ人数	46,829 千人 (前年(43,406 千人)比 107.9%)
平均訪問観光地点数	1.4 地点 (前年 1.3 地点)

観光客実人数はイベント・行祭事を除き算定 (5 ページ 6(8)参照)

観光客延べ人数はイベント・行祭事を含み算定 (5 ページ 6(7)参照)

### (2) 日帰り・宿泊別観光入込客

日帰り客実人数	22,837 千人 (前年(22,624 千人)比 100.9%)
宿泊客実人数	8,625 千人 (前年(7,393 千人)比 116.7%)

### (3) 居住地別観光入込客

県外客実人数	23,991 千人 (前年(22,732 千人)比 105.5%)
県内客実人数	7,471 千人 (前年(7,285 千人)比 102.6%)

### (4) 訪日外国人客

延べ宿泊客数	1,313 千人 (前年(949 千人)比 138.4%)
--------	-------------------------------

### (5) 観光地点・行祭事・イベント別観光入込客数 (延べ人数)

自然	8,684 千人 (前年(6,602 千人)比 131.5%)
歴史・文化	9,070 千人 (前年(9,261 千人)比 97.9%)
温泉・健康	5,735 千人 (前年(5,716 千人)比 100.3%)
スポ・レク	9,544 千人 (前年(9,041 千人)比 105.6%)
都市型観光	4,438 千人 (前年(4,047 千人)比 109.7%)
行祭事・イベント	3,556 千人 (前年(3,514 千人)比 101.2%)
その他	5,803 千人 (前年(5,225 千人)比 111.1%)

本項目は観光地点等から報告のあった観光入込客数の単純集計結果による。

### (6) 季節別観光入込客

春(3~5月)	8,027 千人 (前年(7,276 千人)比 110.3%)
夏(6~8月)	9,275 千人 (前年(9,899 千人)比 93.7%)
秋(9~11月)	8,579 千人 (前年(8,137 千人)比 105.4%)
冬(1~2月、12月)	5,581 千人 (前年(4,704 千人)比 118.6%)

### (7) 観光消費額

観光消費額	3,967 億円 (前年(3,573 億円)比 111.0%)
1人当たり平均消費額	12,609 円 (前年(11,903 円)比 105.9%)

## 8. 調査結果（実人数）

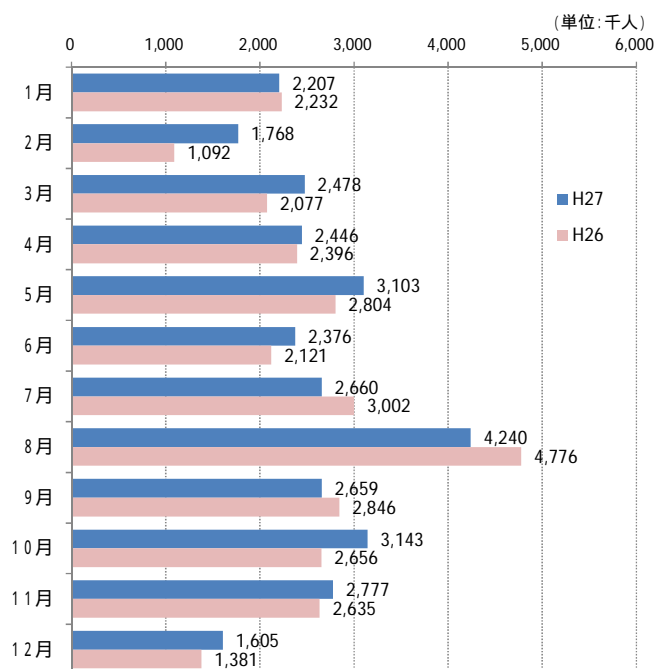
### （1）平成27年本県観光の概況

平成27年の山梨県における観光入込客数は、実人数で3,146万人と推計され、前年(3,002万人)から4.8%の増加となった（**図表5**）。月別の観光入込客（実人数）では、8月が424万人（構成比13.5%）と最も多く、次いで10月の314万人（同10.0%）となっている。

図表5 月別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

月	平成27年		平成26年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
1月	2,207,364	7.0%	2,231,725	7.4%	98.9%
2月	1,768,209	5.6%	1,091,550	3.6%	162.0%
3月	2,477,696	7.9%	2,076,894	6.9%	119.3%
4月	2,446,162	7.8%	2,395,805	8.0%	102.1%
5月	3,103,067	9.9%	2,803,601	9.3%	110.7%
6月	2,375,648	7.6%	2,120,823	7.1%	112.0%
7月	2,659,799	8.5%	3,002,094	10.0%	88.6%
8月	4,239,667	13.5%	4,776,161	15.9%	88.8%
9月	2,658,736	8.5%	2,846,438	9.5%	93.4%
10月	3,142,961	10.0%	2,655,787	8.8%	118.3%
11月	2,777,415	8.8%	2,634,851	8.8%	105.4%
12月	1,605,251	5.1%	1,381,114	4.6%	116.2%
年計	31,461,975	100.0%	30,016,843	100.0%	104.8%



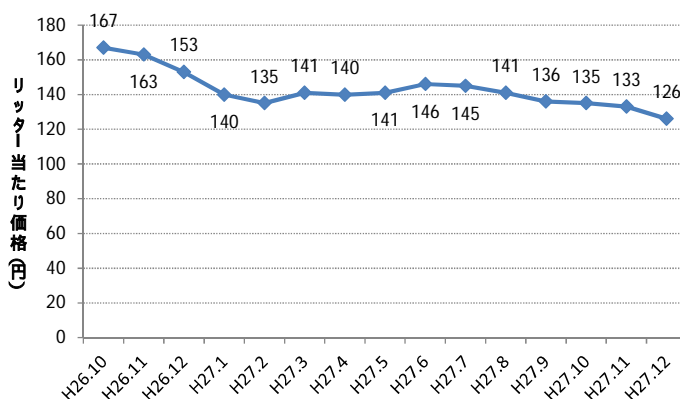
月別の特徴を見ると、1月は天候不順の日が多かったことが影響して減少であったが、2月及び3月は、山梨県の気象観測史上最高の豪雪に見舞われたことに伴い激減した前年から回復し、2月には60%台の伸びが見られた。4月から6月にかけては、7年に一度の甲斐善光寺の御開帳があったことや、山梨リニア実験線において、超伝導リニア車両が世界最高速度を記録し話題になるなど、プラス要因があったことなどから、堅調に推移した。一方、7月から9月は、7月上旬の天候不順や8月の猛暑等により、前年よりも伸び悩んだ。10月から12月については、大村智・北里大学名誉教授のノーベル医学生理学賞受賞により、出身地の含まれる峡北圏域などで入込客数が増えるといった動きがあった。さらに、ガソリン価格が月内に年内最低水準に達したことも追い風となった。

なお、雁坂トンネル有料道路通行無料化(7月～11月)や富士スバルライン車種限定平日通行無料化(9月～11月)、山梨県内旅行の宿泊代金を割引する「おもてなしやまなし!ふるさと旅行券」なども観光入込客の増加の一因となったと考えられる。

今後の課題としては、本県の地域資源を生かした取組や、効果的な情報発信などを通じて、山梨県への関心を高めるほか、来県へのインセンティブを喚起するような事業展開を更に進めていくことが必要であると思われる。

	主な出来事
1月	
2月	2/17 後藤齋山梨県知事就任
3月	
4月	山梨リニア実験線 時速603kmを記録
5月	
6月	甲府駅南口地下駐輪場供用開始
7月	7/1 雁坂トンネル有料道路無料化(～11/30) 7/31 おもてなしやまなし!ふるさと旅行券販売開始(～H28.3/1・チェックアウト利用終了)
8月	7/10 富士スバルラインマイカー規制(～8/31)
9月	9/15 富士スバルライン車種限定平日通行無料化(～11/30)
10月	大村 智・北里大学名誉教授 ノーベル医学生理学賞受賞
11月	インドネシア共和国における山梨県知事トップセールス実施
12月	12/18 JR東海リニア中央新幹線南アルプストンネル工事着工

図表6 レギュラーガソリン価格の推移(総務省「小売物価統計調査」より)



(2) 平成27年圏域別観光入込客数

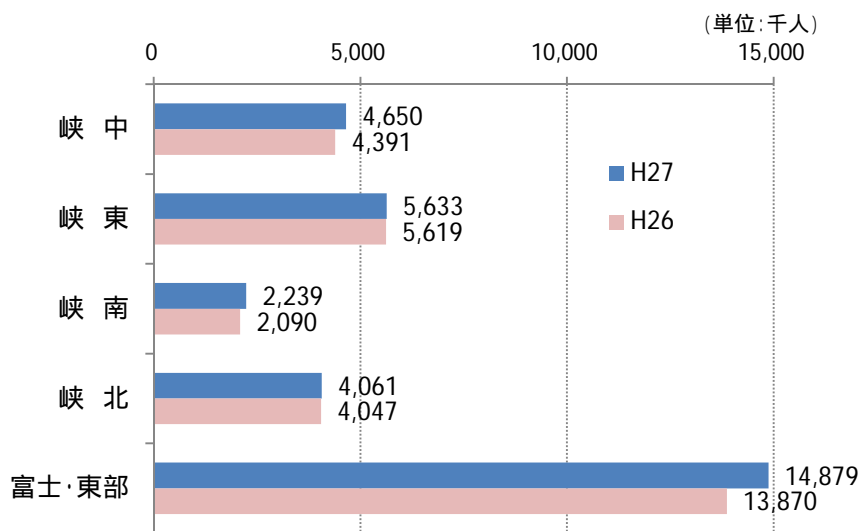
平成27年の観光入込客数を圏域別にまとめると、**図表7**のとおりである。

圏域別では、富士・東部が1,488万人(前年比107.3%)と最も多く、構成比では県内全体の47.3%を占めている。次いで峡東が563万人(同100.3%)、峡中が465万人(同105.9%)、峡北が406万人(同100.4%)、峡南が224万人(同107.1%)となっている。前年との比較では、富士・東部での増加割合が高く7.3%増加したほか、峡南も7.1%増となった。富士・東部では、構成比が1.1ポイントと大きく上昇しており、入込客の集中が続いている。

図表7 圏域別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

圏域名	平成27年		平成26年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	4,649,644	14.8%	4,391,174	14.6%	105.9%
峡東	5,633,146	17.9%	5,619,031	18.7%	100.3%
峡南	2,239,088	7.1%	2,089,857	7.0%	107.1%
峡北	4,061,318	12.9%	4,046,891	13.5%	100.4%
富士・東部	14,878,779	47.3%	13,869,889	46.2%	107.3%
年計	31,461,975	100.0%	30,016,843	100.0%	104.8%



なお、平成27年の圏域別観光入込客数を、さらに詳細に、月別・小圏域単位でまとめると、**図表8**のとおりである。

図表8 平成27年観光入込客数 小園域別・月別一覽表(実人数) (単位:人、%)

	H27年												H26年 合計	前年比		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			合計	
峡 中 園 域	昇仙峡・湯村温泉周辺	64,383	29,662	43,707	35,082	49,543	42,321	32,447	48,964	47,018	59,469	79,531	36,753	568,880	424,027	134.2%
	芸術の森・武田神社周辺	146,258	163,682	239,700	251,070	308,726	153,424	201,930	187,592	184,667	274,561	228,268	84,689	2,424,568	2,385,796	101.6%
	広河原・芦安温泉周辺	0	0	0	34	227	166	1,093	1,380	1,012	541	76	0	4,528	2,996	151.1%
	櫛形山・果実郷周辺	7,402	7,621	9,073	22,602	11,809	28,678	16,461	24,850	12,993	13,524	11,468	10,844	177,326	188,437	94.1%
	釜無川沿岸	72,380	157,086	72,923	75,687	63,451	62,190	50,253	58,004	52,514	115,619	82,553	56,114	918,773	943,475	97.4%
峡 東 園 域	風土記の丘周辺	33,283	34,621	53,786	39,944	50,680	65,356	48,801	61,578	42,690	48,679	43,279	32,872	555,569	446,443	124.4%
	小計	323,706	392,673	419,190	424,419	484,436	352,135	350,985	382,368	340,894	512,392	445,175	221,271	4,649,644	4,391,174	105.9%
	大菩薩・恵林寺周辺	33,807	18,973	40,733	61,038	44,018	44,578	30,257	34,403	40,284	38,986	44,822	22,703	454,602	435,303	104.4%
	勝沼ぶどう郷周辺	57,993	58,119	81,221	71,332	81,616	99,858	141,335	249,133	289,584	298,666	136,809	70,016	1,635,682	1,561,955	104.7%
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	67,503	60,414	86,823	84,666	141,712	178,111	96,573	132,986	145,757	150,674	115,807	45,669	1,306,696	1,198,362	109.0%
峡 南 園 域	石和温泉・果実郷周辺	230,348	132,643	183,391	203,542	145,705	142,591	192,043	336,488	175,991	192,711	181,299	119,415	2,236,166	2,423,413	92.3%
	小計	389,651	270,149	392,168	420,578	413,050	465,138	460,209	753,009	651,616	681,037	478,737	257,803	5,633,146	5,619,031	100.3%
	身延山・下部温泉周辺	122,394	46,425	124,217	196,633	105,834	82,621	61,219	66,756	53,760	87,642	81,724	56,286	1,085,511	1,125,929	96.4%
	早川周辺	345	424	543	461	9729	442	953	1,659	1,058	1,239	1,480	428	18,760	19,397	96.7%
	峡南北部	63,858	57,514	72,061	78,926	57,156	60,107	61,433	185,075	53,981	52,705	75,306	46,270	864,393	671,196	128.8%
峡 北 園 域	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	21,070	18,249	24,159	27,544	22,739	17,500	16,075	48,832	17,275	20,927	20,978	17,076	270,423	273,335	98.9%
	小計	207,667	122,612	220,980	303,563	195,459	160,671	139,679	300,322	126,074	162,512	179,488	120,060	2,239,088	2,089,857	107.1%
	八ヶ岳高原周辺	174,433	133,067	170,151	130,280	251,019	169,022	215,559	382,359	223,915	258,163	166,046	122,347	2,396,360	2,430,546	98.6%
	金峰・みずかき周辺	7,290	6,694	10,408	11,756	19,149	12,197	13,768	21,853	15,558	21,742	20,417	7,495	168,326	168,328	100.0%
	茅ヶ岳周辺	65,779	62,964	93,306	108,992	103,647	76,115	99,045	188,780	97,106	127,133	93,713	61,942	1,178,522	1,132,265	104.1%
富 士 ・ 東 部 園 域	茅ヶ岳周辺	8,233	3,372	7,119	11,684	24,263	30,162	35,724	131,185	12,569	14,360	20,692	18,747	318,110	315,753	100.7%
	小計	255,735	206,097	280,984	262,712	398,079	287,496	364,096	724,176	349,148	421,397	300,868	210,531	4,061,318	4,046,891	100.4%
	富士山五合目	93,707	134,181	300,725	354,661	425,065	402,005	499,280	544,425	403,827	486,648	352,896	229,640	4,237,061	3,068,493	138.1%
	富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	605,703	357,571	512,101	316,261	424,801	397,561	473,632	849,200	400,009	437,866	615,707	307,224	5,697,638	5,852,708	97.4%
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	178,711	133,595	147,303	184,171	480,095	115,470	153,792	274,551	141,405	157,292	127,076	81,590	2,175,052	2,161,462	100.6%
桂 川 道 志 川 周 辺	山中湖・忍野周辺	49,052	65,244	45,021	39,738	81,550	49,832	67,805	185,570	80,310	75,807	81,091	69,275	890,294	896,562	99.3%
	大月・北都留	46,285	32,853	56,911	49,312	74,553	53,032	49,264	82,372	53,305	71,512	73,643	46,790	689,833	659,029	104.7%
	桂川・道志川周辺	57,147	53,233	102,314	90,747	125,979	92,307	101,056	143,673	112,147	126,497	122,734	61,066	1,188,902	1,231,635	96.5%
	小計	1,030,606	776,677	1,164,375	1,034,891	1,612,043	1,110,208	1,344,830	2,079,792	1,191,004	1,365,622	1,373,146	795,586	14,878,779	13,869,889	107.3%
	合計	2,207,364	1,768,209	2,477,696	2,446,162	3,103,067	2,375,648	2,659,799	4,239,667	2,658,736	3,142,961	2,777,415	1,605,251	31,461,975	30,016,843	104.8%
四半期合計	6,453,269	7,924,877	9,558,202	7,525,627	7,924,877	9,558,202	7,525,627	9,558,202	7,525,627	7,525,627	7,525,627	7,525,627	31,461,975	30,016,843	104.8%	
月別構成比	7.0%	5.6%	7.9%	7.8%	9.9%	7.6%	8.5%	13.5%	8.5%	10.0%	8.8%	5.1%	100.0%	100.0%		

(3) 平成27年市町村別観光入込客数

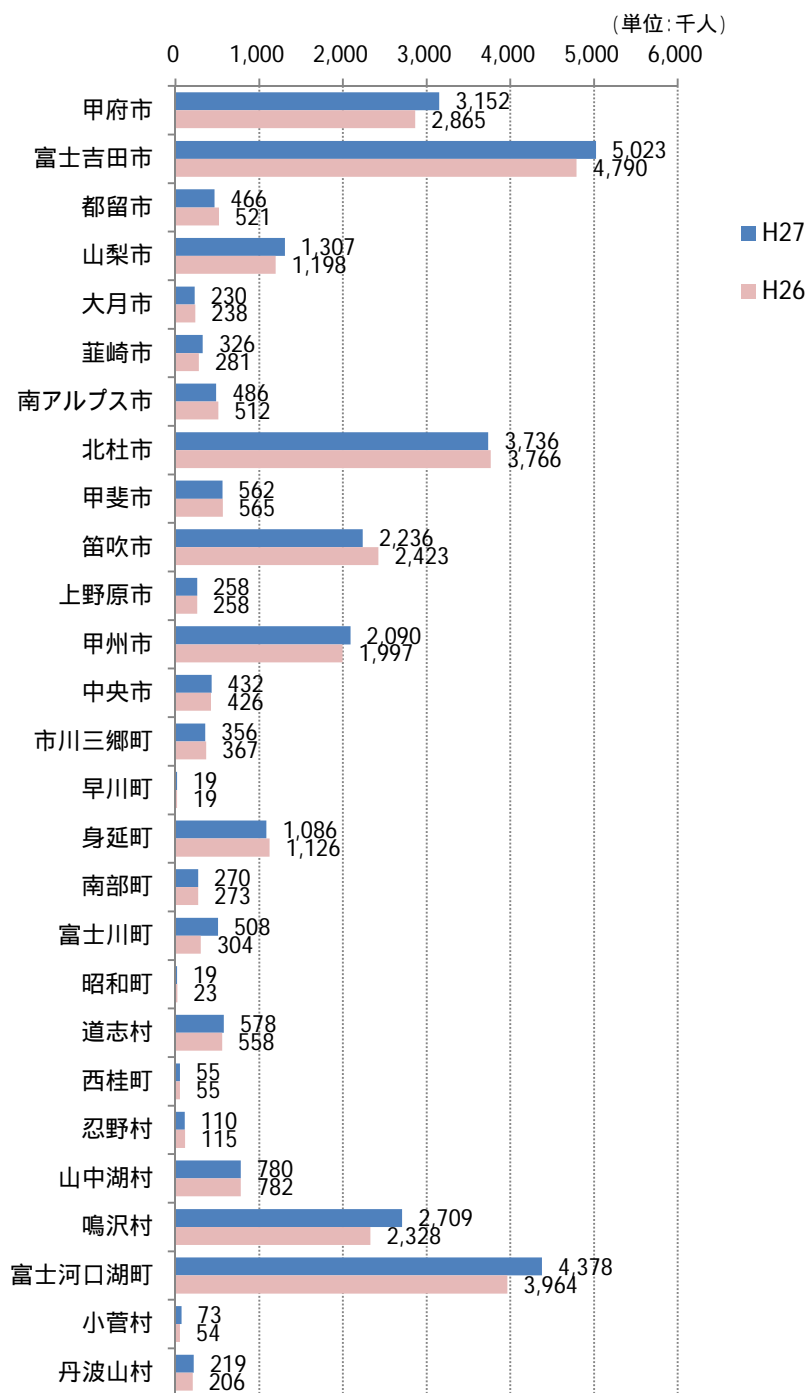
平成27年の観光入込客数を市町村別にまとめると、**図表9**のとおりである。

富士吉田市が502万人(構成比16.0%)と最も多く、次いで富士河口湖町が438万人(同13.9%)、北杜市が374万人(同11.9%)などとなっている。前年との比較では、27市町村のうち、13市町村で増加したものの、減少に転じた自治体がわずかに上回った。県内の構成比3%以上の市町村について増減を見ると、北杜市、笛吹市、甲州市、身延町で減少し、甲府市、富士吉田市、山梨市、鳴沢村、富士河口湖町で増加した。

図表9 市町村別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

市町村名	平成27年		平成26年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
甲府市	3,151,521	10.0%	2,865,326	9.5%	110.0%
富士吉田市	5,023,439	16.0%	4,790,442	16.0%	104.9%
都留市	465,825	1.5%	520,996	1.7%	89.4%
山梨市	1,306,696	4.2%	1,198,362	4.0%	109.0%
大月市	229,768	0.7%	237,639	0.8%	96.7%
韮崎市	325,770	1.0%	280,508	0.9%	116.1%
南アルプス市	486,496	1.5%	511,855	1.7%	95.0%
北杜市	3,735,548	11.9%	3,766,383	12.5%	99.2%
甲斐市	561,586	1.8%	565,012	1.9%	99.4%
笛吹市	2,236,166	7.1%	2,423,413	8.1%	92.3%
上野原市	258,495	0.8%	258,439	0.9%	100.0%
甲州市	2,090,284	6.6%	1,997,257	6.7%	104.7%
中央市	431,513	1.4%	425,977	1.4%	101.3%
市川三郷町	355,998	1.1%	367,405	1.2%	96.9%
早川町	18,760	0.1%	19,397	0.1%	96.7%
身延町	1,085,511	3.5%	1,125,929	3.8%	96.4%
南部町	270,423	0.9%	273,335	0.9%	98.9%
富士川町	508,395	1.6%	303,791	1.0%	167.4%
昭和町	18,527	0.1%	23,004	0.1%	80.5%
道志村	578,400	1.8%	557,947	1.9%	103.7%
西桂町	54,968	0.2%	55,425	0.2%	99.2%
忍野村	110,205	0.4%	115,056	0.4%	95.8%
山中湖村	780,088	2.5%	781,506	2.6%	99.8%
鳴沢村	2,708,635	8.6%	2,328,307	7.8%	116.3%
富士河口湖町	4,377,677	13.9%	3,963,915	13.2%	110.4%
小菅村	72,622	0.2%	54,466	0.2%	133.3%
丹波山村	218,655	0.7%	205,750	0.7%	106.3%
年計	31,461,975	100.0%	30,016,843	100.0%	104.8%



なお、平成 27 年の市町村別観光入込客数を、さらに詳細に月別でまとめると、**図表 10** のとおりである。

図表10 平成27年観光入込客数 市町村別・月別一覽表(美人数)

(単位:人、%)

	H27年												H26年		前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	
甲府市	215,375	200,382	296,536	296,860	374,761	215,941	254,642	256,292	245,298	349,047	319,567	126,819	3,151,521	2,865,326	110.0%
富士吉田市	507,629	239,698	453,821	308,487	416,146	334,390	396,126	799,164	420,106	462,428	402,443	283,000	5,023,439	4,790,442	104.9%
都留市	19,683	20,921	47,144	30,224	41,191	40,496	36,445	47,764	48,884	53,666	51,561	27,846	465,825	520,996	89.4%
山梨市	67,503	60,414	86,823	84,666	141,712	178,111	96,573	132,986	145,757	150,674	115,807	45,669	1,306,696	1,198,362	109.0%
大月市	15,776	9,350	15,560	13,556	14,792	19,446	14,868	34,920	16,759	27,924	29,045	17,772	229,768	237,639	96.7%
韮崎市	23,766	21,630	26,345	19,380	23,126	17,908	20,486	48,178	20,035	53,568	28,531	22,819	325,770	280,508	116.1%
南アルプス市	31,305	119,610	32,783	38,441	28,486	44,177	32,130	43,696	28,308	31,235	28,142	28,185	486,496	511,855	95.0%
北杜市	231,969	184,467	254,638	243,332	374,953	269,588	343,610	675,998	329,113	367,829	272,337	187,712	3,735,548	3,766,383	99.2%
甲斐市	47,932	44,852	51,007	41,609	45,244	44,316	35,123	38,817	36,765	89,116	47,495	39,311	561,586	565,012	99.4%
笹吹市	230,348	132,643	183,391	203,542	145,705	142,591	192,043	336,488	175,991	192,711	181,299	119,415	2,236,166	2,423,413	92.3%
上野原市	17,080	15,419	26,937	20,819	24,256	21,218	20,170	22,044	19,880	24,432	24,303	21,936	258,495	258,439	100.0%
甲州市	91,800	77,092	121,954	132,370	125,634	144,436	171,592	283,535	329,868	337,652	181,631	92,719	2,090,284	1,997,257	104.7%
中央市	28,131	27,468	38,864	46,600	34,960	46,734	28,201	42,786	29,747	33,072	48,997	25,955	431,513	425,977	101.3%
市川三郷町	28,129	22,896	26,770	16,516	19,257	16,486	16,511	140,685	18,150	12,875	19,263	18,459	355,998	367,405	96.9%
早川町	345	424	543	461	9,729	442	953	1,659	1,058	1,239	1,480	428	18,760	19,397	96.7%
身延町	122,394	46,425	124,217	196,633	105,834	82,621	61,219	66,756	53,760	87,642	81,724	56,286	1,085,511	1,125,929	96.4%
南部町	21,070	18,249	24,159	27,544	22,739	17,500	16,075	46,832	17,275	20,927	20,978	17,076	270,423	273,335	98.9%
富士川町	35,729	34,618	45,291	62,410	37,900	43,622	44,922	44,390	35,831	39,830	56,043	27,811	508,395	303,791	167.4%
昭和町	962	362	0	908	986	967	889	776	776	9,923	975	1,002	18,527	23,004	80.5%
道志村	25,255	21,303	41,306	50,114	70,545	41,357	52,877	80,381	51,834	60,675	59,549	23,205	578,400	557,947	103.7%
西桂町	4,721	4,214	5,373	3,920	5,886	3,630	4,395	5,447	3,976	5,105	4,524	3,778	54,968	55,425	99.2%
忍野村	3,828	3,220	6,826	4,879	10,029	6,015	10,562	38,347	9,518	7,986	6,482	2,515	110,205	115,056	95.8%
山中湖村	45,224	62,025	38,195	34,859	71,520	43,817	57,243	147,223	70,792	67,820	74,609	66,760	780,088	781,506	99.8%
鳴沢村	151,287	150,444	216,225	206,109	288,055	206,603	270,457	368,774	232,163	271,650	204,645	142,224	2,708,635	2,328,307	116.3%
富士河口湖町	219,206	235,205	290,083	340,498	625,760	374,044	460,122	500,238	292,972	357,728	488,590	193,231	4,377,677	3,963,915	110.4%
小菅村	4,302	3,370	4,895	5,208	17,087	4,578	4,461	7,613	5,519	5,882	6,424	3,283	72,622	54,466	133.3%
丹波山村	16,614	11,508	18,010	16,218	26,777	14,614	17,104	27,877	18,600	20,326	20,971	10,038	218,655	205,750	106.3%
合計	2,207,364	1,768,209	2,477,696	2,446,162	3,103,067	2,375,648	2,659,799	4,239,667	2,658,736	3,142,961	2,777,415	1,605,251	31,461,975	30,016,843	104.8%
月別構成比	7.0%	5.6%	7.9%	7.8%	9.9%	7.6%	8.5%	13.5%	8.5%	10.0%	8.8%	5.1%	100.0%		



#### (4) 平成 27 年宿泊観光客数

平成 27 年の宿泊観光客数（実人数）は、862 万人と推計された。これは、前年（739 万人）と比較すると、16.7%の伸びとなる。

圏域別に見ると、富士・東部圏域が 420 万人（前年比 105.4%）と全体の半数近くを占め最多となった。次いで、峡東圏域（170 万人、前年比 119.9%）、峡中圏域（151 万人、前年比 164.8%）、峡北圏域（97 万人、前年比 111.7%）、峡南圏域（26 万人、前年比 117.6%）となっており、全ての圏域で前年と比較して増加した。

さらに、小圏域別に見ると、河口湖周辺の宿泊施設群などを擁する「富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺」で 260 万人と圧倒的に多く、メジャーな温泉観光地のある「石和温泉・果実郷周辺」が 155 万人と続き、山中湖周辺の宿泊施設群を持つ「山中湖・忍野周辺」で 111 万人であった。その他には、甲府市街地の宿泊施設群を有する「芸術の森・武田神社周辺」で 107 万人、八ヶ岳地域を含む「八ヶ岳高原周辺」が 88 万人などとなっている。

峡中・峡東の市街地型観光地においては、年間を通して比較的客数の変動が小さい一方、富士北麓や峡北の自然資源豊かなエリアについては、特に夏季において客数が著しく増加するなど、季節的な変動が大きくなっている。

なお、外国人の宿泊客については、観光庁の宿泊旅行統計調査結果によると、平成 26 年は国籍別に 1 位中国（構成比 44.0%）、2 位台湾（同 17.0%）、3 位タイ（同 15.5%）という結果であったが、平成 27 年も 1 位中国（同 55.8%）、2 位台湾（同 14.3%）、3 位タイ（同 9.5%）と同じ 3 か国が上位を占めた。中国人宿泊客数は前年比 77.4%増と大幅に増加、構成比も 55.8%と過半数を超え、台湾も前年比 17.8%増加となった。一方、タイは前年比 14.2%減少した。また、ロシア（前年比 333.3%）、オーストラリア（同 131.2%）、インドネシア（同 125.8%）が大きく増加するなど、構成比が低い諸国からの宿泊客も増加しており、国籍の多様化の動きが見られる。

平成 27 年の推計宿泊者数を四半期別・小圏域別にまとめると、**図表 11** のとおりである。

(単位:人、%)

図表 11 平成27年 四半別・圏域別推計宿泊客数一覧表(実人数)

区分	1-3月期			4-6月期			7-9月期			10-12月期			H27宿泊客数計			H26 宿泊客数 計	前年比
	宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)		宿泊客数	圏域計 (うち外国人)			
		うち 外国人	外国人		外国人	外国人		外国人	外国人		外国人	外国人		外国人	外国人		
峡中	昇仙峡・湯村温泉周辺	43,753	1,469	43,887	5,582	51,575	2,209	45,246	1,280	184,461	10,540						
	芸術の森・武田神社周辺	214,244	2,586	249,810	8,489	293,425	16,686	311,450	7,429	1,068,928	35,190						
峡東	広河原・芦安温泉周辺	81	-	230	-	30,319	53	8,071	84	38,701	137	1,511,079	916,781	164.8%			
	楡形山・果実郷周辺	10,427	86	8,261	185	12,138	217	10,006	42	40,832	530	(89,041)					
峡南	釜無川沿岸	28,522	6,540	36,913	18,205	36,702	10,106	31,864	7,464	134,002	42,314						
	風土記の丘周辺	9,937	44	10,358	33	12,709	243	11,151	9	44,156	330						
峡北	大菩薩・恵林寺周辺	7,826	24	12,334	6	10,276	5	13,969	15	44,405	51						
	勝沼ぶどう郷周辺	1,581	-	33	-	909	-	1,497	-	4,019	-	1,695,534	1,414,180	119.9%			
峡南	西沢栗谷・フルーツ公園周辺	17,555	60	23,459	175	29,204	131	28,609	81	98,827	447	(170,595)					
	石和温泉・果実郷周辺	346,293	28,528	390,440	62,961	403,547	50,391	408,003	28,218	1,548,283	170,097						
峡北	身延山・下部温泉周辺	26,163	72	62,486	3,191	62,774	3,292	53,142	899	204,566	7,453						
	早川周辺	3,177	18	4,967	21	3,241	-	1,930	23	13,315	63	256,367	217,950	117.6%			
富士・東部	峡南北部	3,488	890	6,988	2,133	5,328	1,427	4,144	961	19,947	5,410	(2,302)					
	峡南南部	4,232	783	4,863	1,549	6,649	1,463	2,795	420	18,539	4,215						
富士・東部	八ヶ岳高原周辺	143,921	18,344	209,458	36,185	333,269	14,041	190,947	14,175	877,595	82,745						
	金峰・みずがき周辺	3,847	4	7,073	3	11,048	4	7,479	4	29,447	14	965,347	864,479	111.7%			
富士・東部	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	13,483	204	12,597	493	21,641	186	6,696	48	54,417	931	(83,694)					
	茅ヶ岳周辺	762	-	922	-	1,007	-	1,198	4	3,888	4						
富士・東部	富士山五合目	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-						
	富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	511,097	88,017	593,845	141,959	854,019	96,530	635,804	115,680	2,594,765	442,186						
富士・東部	本栖湖・精進湖・西湖周辺	75,887	20,925	100,689	26,245	114,157	2,577	91,027	29,923	381,761	79,671	4,196,462	3,979,644	105.4%			
	山中湖・忍野周辺	167,785	56,495	284,473	87,457	400,033	80,689	256,523	65,923	1,108,813	290,564	(211,717)					
富士・東部	大月・北都留	8,022	65	18,642	293	27,305	771	13,347	93	67,315	1,223						
	桂川・道志川周辺	7,860	-	15,858	279	8,544	3	11,545	98	43,807	380						
合計	1,649,942	225,155	2,098,587	395,444	2,729,818	2,729,818	281,023	2,146,443	272,872	8,624,790	1,174,494	8,624,790	7,393,034	116.7%			

観光庁「宿泊旅行統計調査」の集計値を基に、回答宿泊施設における従業員規模ごとの平均値を算出し、小圏域ごとに調査対象施設数に乗じる等により推計した数値

(5) 平成27年観光消費額

本県の観光消費額を、国からの提供データ、アンケート調査に基づく1人あたり観光消費額単価等から観光庁提供の推計支援ツール(年間版)を用いて算出した。この結果、総消費額は3,967億円(前年(3,573億円)比111.0%)となった(図表12)。また、1人当たりの平均観光消費額を求めると、12,609円となった。

図表12 宿泊・日帰り別観光消費額総括表

(A)観光入込客数(実人数) (千人回)

区分	日帰り客 22,837		宿泊客 8,625		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
県内	6,539	113	553	265	7,471
県外	14,773	577	4,719	1,912	21,982
訪日外国人	827	7	1,054	120	2,009
合計	22,139	698	6,327	2,298	31,462

宿泊客数は観光庁「宿泊旅行統計調査」の数値を活用

(B)観光消費額単価 (円/人回)

	日帰り客		宿泊客	
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス
県内	5,872	3,063	13,185	17,187
県外	9,307	6,260	26,663	26,154
訪日外国人	5,606	9,103	10,573	110,673

(C)観光消費額 = (A)観光入込客(実人数) × (B)観光消費額単価 (百万円)

	日帰り客 184,545		宿泊客 212,168		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
県内	38,396	347	7,297	4,557	50,597
県外	137,483	3,615	125,834	50,013	316,945
訪日外国人	4,638	67	11,146	13,321	29,171
合計	180,516	4,029	144,277	67,891	396,713

観光地点パラメータ調査による平均値(参考値)

サンプル数 (人)	平均同行者数 (人)	1人当たり 平均訪問地点数 (地点)	1人当たり 平均消費額 (円)	1人当たり平均訪 問都道府県数 (箇所)
12,212	3.8	1.4	12,609	1.2

## (6) 月別の観光動向

月別の観光動向について概要をまとめた。通年の傾向として、富士山の世界文化遺産登録の影響が依然として大きく、富士・東部圏域を中心に、入込客数の増加が見られた。また、インバウンド観光が堅調であることや雁坂トンネル及び富士スバルラインなど有料道路の通行無料化もプラス要因として作用した。さらに、山梨県内旅行の宿泊代金を割引する「おもてなしやまなし！ふるさと旅行券」の導入も、観光入込客の増加を後押ししたものと考えられる。

### 1月

1月の観光入込客数の対前年同月比は98.9%と減少した。気温は平年並みであったが、前年に比べ天候不順の日が多かった。そのため、スポーツ・レクリエーション施設等で減少が見られた。また、温泉・健康関連では一部の施設において、入浴料の改定により、実質的に値上げとなったり、道の駅の物販施設等では観光バスの立ち寄りが前年と比較して少ない観光地点等があることも減少要因として挙げられる。

### 2月

2月の観光入込客数の対前年同月比は162.0%と大幅に増加した。前年は、山梨県の気象観測史上最高の豪雪に見舞われたことに伴い、ほぼ県内全域で観光施設の種別を問わず観光客の大幅な減少が見られた。しかし、今年はその反動により、自然や都市型観光施設等を中心に県全体として大幅に増加した。

### 3月

3月の観光入込客数の対前年同月比は119.3%と引き続き増加した。当月は、平成26年9月以降下落傾向が続いていたガソリン価格が上昇に転じ、前月の135円/Lから141円/Lとなるなど、マイナス要素があった。しかし、最高・最低気温、平均気温いずれも平年を上回り、日照時間も長く、最高気温が20度を超える日も出始めるなど、気候に恵まれたこと、さらに、前年2月の大雪の影響を受け客足が低迷していた前年同月と比較して観光客の戻りがあったと考えられることから、前年同月比で増加した。特に、自然やスポーツ・レクリエーション施設の屋外型の観光施設等を始め、前月に引き続き入込客数が好調であった。甲府地方気象台では、31日に桜(ソメイヨシノ)の満開を観測したが、これは平年に比べ3日早かった。

### 4月

4月の観光入込客数の対前年同月比は102.1%と微増となった。気温は平年並みであったが、降水量が平年に比べ多く、天候不順の日が多かったことなどに伴い、スポーツ・

レクリエーションといった屋外型施設等の観光地点を中心に、前年に比べ観光入込客数の減少が見られた。また、大型連休前半は、連続休暇が取得しにくい曜日配列であったこともマイナス要因と考えられる。一方、7年に一度の御開帳があった甲斐善光寺を擁する峡中圏域、超伝導リニア車両の有人走行試験で世界最高速となる時速 603 キロメートルの記録が話題となった山梨リニア実験線を有する富士・東部圏域などで客数が増加し、全体では前年同月に比べ増加となった。

#### 5月

5月の観光入込客数の対前年同月比は110.7%と増加した。当月は、平年に比べて気温が高めで、降水量が少なく、好天に恵まれたことや、曜日の配列により休日が前年よりも2日多かったこと、さらに、大型連休後半は連続休暇が取得可能であったことなどがプラス要因となり、屋外、屋内型施設等を問わず入込みが好調であった。特に、都市型観光施設やその他の道の駅などの物販施設、スポーツ・レクリエーションなどで前年に比べ入込客数が多かった。

#### 6月

6月の観光入込客数の対前年同月比は112.0%と引き続き増加した。月内にガソリン価格が年内最高水準(146円/L)に到達したり、気温は平年並みであったものの、関東甲信越地方の梅雨入りが平年より5日早い6月3日頃となるなど、入込客数に影響を及ぼすマイナス要素もあった。ところが、平年よりも降水量が少なく、雨天の休日がわずかであったことや、日中の最高気温が30度以上となる真夏日も多くあったことが功を奏し、スポーツ・レクリエーション、都市型観光施設やその他の道の駅などの物販施設等で客数が伸びた。

#### 7月

7月の観光入込客数の対前年同月比は88.6%と減少であった。関東甲信越地方の梅雨明けが平年より11日早い7月10日頃であったものの、当月は平年よりも降水量がかなり多く、年内で最多となるなど、7月上旬を中心に天候不順の日が続いた。そのため、客足の伸びが鈍化したと見られ、屋外型施設だけでなく、道の駅などの物販施設といった屋内型施設においても天候を入込客の減少要因の一つと考えている観光地点等がある。

なお、7月1日から雁坂トンネルの通行無料化が開始され、7月31日からは「おもてなしやまなし!ふるさと旅行券」(～平成28年3月1日)のうち、通年用旅行券(30%割引)の販売が開始された。

## 8月

8月の観光入込客数の対前年同月比は88.8%と減少した。当月は、猛暑日が12日連続となるなど暑さが厳しく、屋外型のレジャーが敬遠されたためであろうか、スポーツ・レクリエーション、温泉・健康、歴史・文化等の施設で減少した。また、全国高等学校総合体育大会の開催地となり大幅に増加した前年同期の反動も減少要因の一つである。一方、峡東圏域では、前年同期に比べ比較的減少幅が少ない。これは、雁坂トンネルの通行無料化の恩恵を受け、国道140号沿線を中心に入込客数が増加している観光地点等があったためと考えられる。

なお、8月28日から、「おもてなしやまなし！ふるさと旅行券」のうち、冬季用旅行券（50%割引）の販売が始まった。

## 9月

9月の観光入込客数の対前年同月比は93.4%と減少した。当月は、所謂“シルバーウィーク”といった大型連休があったことや、9月15日から富士スバルライン車種限定平日通行無料化が開始されたほか、雁坂トンネルの通行無料化などプラス要素があったことから、延べ人数では、峡東圏域の歴史・文化や物販施設等の都市型観光、富士・東部圏域の物販施設等の都市型観光などで増加している。

しかし、平均気温、最高・最低気温はそれぞれ平年並みであったが、降水量が平年に比べ多かった。特に、当月の降水量の8割以上が初旬から中旬までに集中し、この間の観光客の出足が鈍化したと考えられる。なお、9月1日のチェックインから、「おもてなしやまなし！ふるさと旅行券」の通年用旅行券の利用が可能となった。

## 10月

10月の観光入込客数の対前年同月比は118.3%と大幅な増加となった。平年より最高・平均気温が高めで推移し、降水量が平年の1/5程度と大幅に少なく、日照時間は約1.5倍と天候に恵まれたため、自然や道の駅等のその他、都市型観光の施設を中心に増加に転じた。また、当月には本県出身の大村智・北里大学特別荣誉教授がノーベル生理学医学賞を受賞したため、出身地の峡北圏域では、観光入込客数が増加している地点も見られた。

なお、平成27年の「ワインタクシー」（石和温泉駅と笛吹・勝沼地区のワイナリーを結ぶタクシー。2016年3月までの土・日・祝日運行）の運行が当月から開始された。

## 11月

11月の観光入込客数の対前年同月比は105.4%と増加した。気温は平均気温、最高・最低気温共に平年を上回ったが、降水量は平年より多く、日照時間は平年を下回った。また、文化の日が飛石連休となり、前年に比べ休日が1日減ったこと、さらに、イチョウの黄葉が11月23日と平年よりも11日遅く、紅葉シーズンが遅かったことも影響し、ス

スポーツ・レクリエーションや、温泉・健康などで減少した地点が見られた。しかし、富士・東部圏域の自然の大幅増や、峡中及び峡東圏域の一部の都市型観光、道の駅等のその他の増加が全体を牽引し、増加した。

## 12月

12月の観光入込客数の対前年同月比は116.2%と増加した。天候は平均気温、最高・最低気温とも平年を上回り、平成27年7月以降下落傾向にあったガソリン価格が月内に年内最低水準（126円/L）に到達したことも追い風となり、自然、道の駅等のその他、都市型観光を中心に客足が増加した。そのほか、歴史・文化施設、都市型観光施設や温泉施設などでも増加が見られた。

なお、12月1日のチェックインから、「おもてなしやまなし！ふるさと旅行券」の冬季用旅行券の利用が可能となった。

図表 1 3 甲府における気象状況等

	平均気温	最高気温	最低気温	降水量	日照時間
1月	3.4 (2.8)	9.0 (8.8)	-1.8 (-2.4)	64.5 (40.2)	203.0 (204.8)
2月	4.5 (4.3)	10.5 (10.3)	-0.8 (-1.0)	20.5 (46.1)	194.3 (189.9)
3月	9.4 (8.0)	16.0 (14.2)	3.7 (2.7)	69.5 (87.9)	210.6 (198.7)
4月	14.4 (13.8)	20.4 (20.4)	9.6 (8.3)	113.5 (77.7)	153.3 (202.0)
5月	20.7 (18.3)	28.1 (24.6)	14.6 (13.3)	46.5 (86.3)	260.3 (196.3)
6月	21.9 (21.9)	27.6 (27.3)	17.7 (17.9)	117.0 (122.5)	153.7 (148.9)
7月	25.9 (25.5)	31.0 (30.9)	22.4 (21.8)	205.0 (132.6)	177.2 (164.1)
8月	27.2 (26.6)	32.6 (32.5)	23.5 (22.8)	126.0 (149.5)	173.6 (197.3)
9月	22.2 (22.8)	27.2 (28.0)	18.7 (19.1)	202.0 (180.3)	133.5 (142.2)
10月	17.2 (16.5)	23.5 (21.9)	11.9 (12.3)	24.5 (125.2)	231.3 (160.9)
11月	12.6 (10.4)	17.3 (16.4)	8.5 (5.5)	87.0 (54.9)	120.5 (176.6)
12月	7.5 (5.0)	13.3 (11.2)	2.5 (-0.2)	38.5 (32.1)	193.8 (201.3)

( )内の値は1981年～2010年の平年値

	桜		梅雨		イチョウ
	開花	満開	梅雨入り	梅雨明け	黄葉
平成27年	3月25日	3月31日	6月3日ごろ	7月10日ごろ	11月23日
平年値(1981～2010年)	3月27日	4月3日	6月8日ごろ	7月21日ごろ	11月12日

## (7) 圏域別観光の動向

圏域の観光動向を見るために、観光入込客数（実人数）の推移と施設ごとの市町村報告値を見ながら、前年比較を行った。

### 峡中圏域

峡中圏域では、対前年比 105.9%と増加した（**図表 14**）。

小圏域別に見ると、「昇仙峡・湯村温泉周辺」では、歴史・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設を中心として大幅に客数が増加したため、地域としては前年から 34.2%と大幅な増加となった。

「芸術の森・武田神社周辺」では、7年に一度の甲斐善光寺の御開帳が4、5月にあったことなどから、歴史・文化施設において、堅調に客数を伸ばしたところと企画内容の変更に伴い、客数が伸び悩んだところに分かれ、全体としてはわずかに増加した。

「広河原・芦安温泉周辺」では、落石による県営林道南アルプス線の通行止めの影響により温泉施設利用者が激減した前年の反動により、大幅に増えた。

「櫛形山・果実郷周辺」では、増加観光地点等が多く見られたものの、一部の歴史・文化施設で大幅に減少したため、全体として 5.9%の減となった。

「釜無川沿岸」では、温泉施設で客数が増加したものの、歴史・文化施設等の利用者が減少したため、全体として 2.6%の減となった。

「風土記の丘周辺」では、都市型観光施設や道の駅等のその他の施設において客数が順調に伸び、全体として 24.4%の増加となった。

図表 14 峡中圏域の観光客入込状況（経年比較）

（単位：人、%）

小圏域名	平成27年	平成26年	対前年比
昇仙峡・湯村温泉周辺	568,880	424,027	134.2%
芸術の森・武田神社周辺	2,424,568	2,385,796	101.6%
広河原・芦安温泉周辺	4,528	2,996	151.1%
櫛形山・果実郷周辺	177,326	188,437	94.1%
釜無川沿岸	918,773	943,475	97.4%
風土記の丘周辺	555,569	446,443	124.4%
小計	4,649,644	4,391,174	105.9%



## 峡東圏域

峡東圏域では、対前年比 100.3%と若干増加した（図表 15）。

小圏域別に見ると、「大菩薩・恵林寺周辺」では、歴史・文化施設等で停滞するところもあったが、一部の自然、物産販売施設で堅調に伸び全体を押し上げ、4.4%増加した。

「勝沼ぶどう郷周辺」では、ぶどう狩りや一部のワイナリー、都市型観光、道の駅が好調となり、全体として 4.7%増加した。

「西沢渓谷・フルーツ公園周辺」では、温泉施設等で増加したほか、スポーツ・レクリエーションで順調に客足が伸びたため、9.0%増加した。

「石和温泉・果実郷周辺」では、ぶどう狩り及び桃狩りといった体験型の産業観光の一部等が低調であったため、全体として 7.7%減少した。

図表 1 5 峡東圏域の観光客入込状況（経年比較）

（単位：人、%）

小圏域名	平成27年	平成26年	対前年比
大菩薩・恵林寺周辺	454,602	435,303	104.4%
勝沼ぶどう郷周辺	1,635,682	1,561,955	104.7%
西沢渓谷・フルーツ公園周辺	1,306,696	1,198,362	109.0%
石和温泉・果実郷周辺	2,236,166	2,423,413	92.3%
小計	5,633,146	5,619,031	100.3%

## 峡南圏域

峡南圏域では、対前年比 107.1%と増加した（**図表 16**）

小圏域別に見ると、「身延山・下部温泉周辺」の観光入込客数は、主力の歴史・文化施設や温泉・健康施設などで減少したため、全体として減少となった。

「早川周辺」は、温泉客の入込客数が減少となった。

「峡南北部」では、温泉施設や道の駅などで客足が増え、28.8%の増加となった。

「峡南南部」では、温泉施設やスポーツ・レクリエーション施設などが堅調に客数を伸ばしていたものの、道の駅などでやや低調であったため、全体として減少した。

図表 1 6 峡南圏域の観光客入込状況（経年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成27年	平成26年	対前年比
身延山・下部温泉周辺	1,085,511	1,125,929	96.4%
早川周辺	18,760	19,397	96.7%
峡南北部	864,393	671,196	128.8%
峡南南部	270,423	273,335	98.9%
小計	2,239,088	2,089,857	107.1%

## 峡北圏域

峡北圏域では、対前年比 100.4%とやや増加した（**図表 17**）。

小圏域別に見ると、「八ヶ岳高原周辺」では、主力の都市型観光施設や屋外型のレクリエーション施設、道の駅などで客数を伸ばしたものの、一部の温泉施設で伸び悩み、全体として 1.4%の減少となった。

「金峰・みずがき周辺」では、物産販売施設等で客足が増えたが、スポーツ・レクリエーション施設等で客数が伸び悩み、全体として横ばいとなった。

「甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺」では、歴史・文化施設、スポーツ・レクリエーション施設、道の駅等で順調に客足が伸び、全体として 4.1%増加した。

「茅ヶ岳周辺」では、主力のスポーツ・レクリエーション施設で客数が伸びたが、健康・温泉施設で伸び悩み、全体では 0.7%の微増となった。

図表 17 峡北圏域の観光客入込状況（経年比較）

（単位：人、%）

小圏域名	平成27年	平成26年	対前年比
八ヶ岳高原周辺	2,396,360	2,430,546	98.6%
金峰・みずがき周辺	168,326	168,328	100.0%
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	1,178,522	1,132,265	104.1%
茅ヶ岳周辺	318,110	315,753	100.7%
小計	4,061,318	4,046,891	100.4%

### 富士・東部圏域

富士・東部圏域では、対前年比 107.3%と増加した（**図表 18**）。

小圏域別に見ると、「富士山五合目」は、富士山の世界遺産登録をきっかけとした人気が続き、平成 27 年も堅調な動きを見せ、38.1%の増加となった。

「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」では、自然やスポーツ・レクリエーション施設、道の駅等で客足が伸びたが、歴史・文化施設で客数が減ったため、全体としては 2.6%の減少となった。

「本栖湖・精進湖・西湖周辺」では、自然や道の駅などで増加した一方、一部の自然やスポーツ・レクリエーション施設等で減少したことから全体として 0.6%の微増となった。

「山中湖・忍野周辺」では、自然やスポーツ・レクリエーション施設等で客数が伸びたものの、一部の自然や温泉施設の客数がやや伸びず、全体として 0.7%の微減となった。

「大月・北都留」では、この地域で主力のゴルフ場で客数が堅調に推移し、スポーツ・レクリエーション施設で客数が伸びたため、全体として 4.7%の増加となった。

「桂川・道志川周辺」では、道の駅等が大きく客数を伸ばしたが、歴史・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設で伸び悩んだことが影響し、全体としては 3.5%の減少となった。

図表 1 8 富士・東部圏域の観光客入込状況（経年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成27年	平成26年	対前年比
富士山五合目	4,237,061	3,068,493	138.1%
富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	5,697,638	5,852,708	97.4%
本栖湖・精進湖・西湖周辺	2,175,052	2,161,462	100.6%
山中湖・忍野周辺	890,294	896,562	99.3%
大月・北都留	689,833	659,029	104.7%
桂川・道志川周辺	1,188,902	1,231,635	96.5%
小計	14,878,779	13,869,889	107.3%

## 【参考】観光入込客数（延べ人数）

実人数の推計の基礎となった観光地点等入込客数（市町村調査による延べ人数）について、参考までに集計及び前年比較を行った。

### 月別の推移

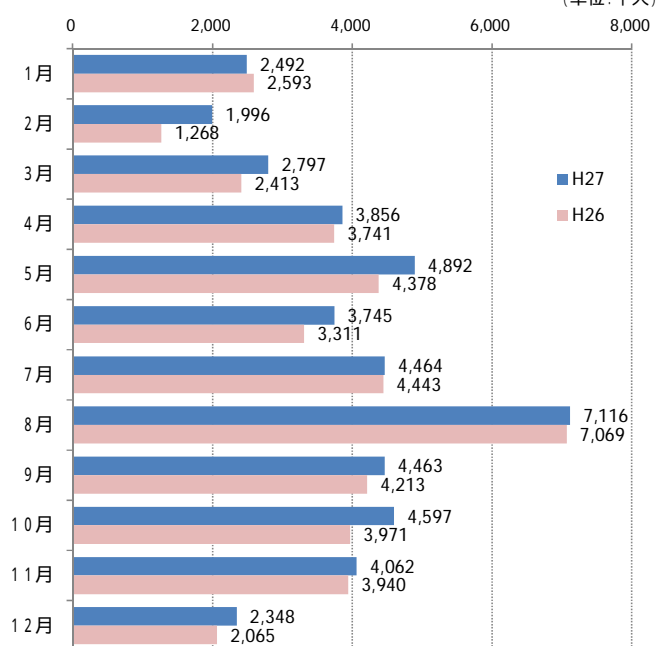
平成 27 年の延べ観光入込客数は 4,683 万人であり、前年に比べて 7.9%の増加となった（図表 19）。

図表 19 月別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、％）

月	平成27年		平成26年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
1月	2,491,945	5.3%	2,593,117	6.0%	96.1%
2月	1,996,173	4.3%	1,268,309	2.9%	157.4%
3月	2,797,130	6.0%	2,413,213	5.6%	115.9%
4月	3,856,074	8.2%	3,740,813	8.6%	103.1%
5月	4,891,603	10.4%	4,377,546	10.1%	111.7%
6月	3,744,916	8.0%	3,311,455	7.6%	113.1%
7月	4,464,418	9.5%	4,443,205	10.2%	100.5%
8月	7,116,194	15.2%	7,068,887	16.3%	100.7%
9月	4,462,633	9.5%	4,212,828	9.7%	105.9%
10月	4,597,116	9.8%	3,971,317	9.1%	115.8%
11月	4,062,443	8.7%	3,940,010	9.1%	103.1%
12月	2,347,953	5.0%	2,065,241	4.8%	113.7%
年計	46,828,598	100.0%	43,405,941	100.0%	107.9%

（単位：千人）



## 圏域別の推移

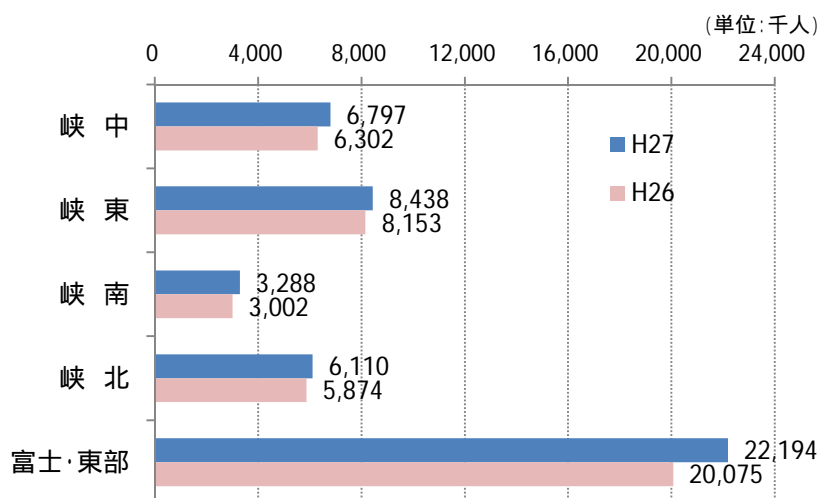
圏域別に見ると、富士・東部が2,219万人（前年比110.6%）で最多となり、次いで、峡東（844万人、同103.5%）、峡中（680万人、同107.9%）、峡北（611万人、同104.0%）、峡南（329万人、同109.6%）であった。前年と比較して、全ての圏域で増加しており、特に、富士・東部圏域、峡南圏域、峡中圏域などの伸びが目立つ（図表20）。

なお、小圏域で見ると、峡中は「芸術の森・武田神社周辺（357万人、前年比103.7%）」、峡東は「石和温泉・果実郷周辺（330万人、同94.2%）」、峡南は「身延山・下部温泉周辺（157万人、前年比97.5%）」、峡北は「八ヶ岳高原周辺（359万人、同102.0%）」富士・東部圏域は「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺（834万人、同99.8%）」の入込みがそれぞれ最も多くなっている（図表21）。

図表20 圏域別観光入込客（延べ人数）

(単位:人、%)

圏域名	平成27年		平成26年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	6,797,119	14.5%	6,302,344	14.5%	107.9%
峡東	8,438,471	18.0%	8,153,410	18.8%	103.5%
峡南	3,288,242	7.0%	3,001,585	6.9%	109.6%
峡北	6,110,492	13.0%	5,873,632	13.5%	104.0%
富士・東部	22,194,274	47.4%	20,074,970	46.2%	110.6%
年計	46,828,598	100.0%	43,405,941	100.0%	107.9%



図表2.1 平成27年観光入込客数 小園域別・月別一覽表(延べ人数)

(単位:人、%)

	H27年												H26年		前年比	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計		
	昇仙峡・湯村温泉周辺	72,683	33,486	49,342	55,303	78,098	66,714	54,461	82,185	78,919	86,984	116,328	53,757	828,260		609,392
芸術の森・武田神社周辺	165,114	184,785	270,603	395,781	486,669	241,854	338,936	314,870	309,959	401,592	333,881	123,872	3,567,916	3,441,333	103.7%	
広河原・芦安温泉周辺	0	0	0	53	358	262	1,834	2,316	1,699	791	111	0	7,424	4,481	165.7%	
櫛形山・果実郷周辺	8,356	8,604	10,243	35,629	18,616	45,207	27,630	41,710	21,809	19,781	16,774	15,861	270,220	274,861	98.3%	
釜無川沿岸	81,712	177,338	82,325	119,311	100,022	98,035	84,349	97,358	88,143	169,112	120,748	82,076	1,300,529	1,325,244	98.1%	
風土記の丘周辺	37,574	39,085	60,720	62,967	79,891	103,025	81,911	103,358	71,654	71,201	63,303	48,081	822,770	647,033	127.2%	
小計	365,439	443,298	473,233	669,044	763,654	555,097	589,121	641,797	572,183	749,461	651,145	323,647	6,797,119	6,302,344	107.9%	
大菩薩・恵林寺周辺	38,165	21,419	45,985	96,219	69,389	70,272	50,786	57,744	67,616	57,024	65,560	33,207	673,386	630,609	106.8%	
勝沼ぶどう郷周辺	65,470	65,612	91,692	112,446	128,657	157,414	237,228	418,164	486,061	436,850	200,107	102,410	2,502,111	2,274,811	110.0%	
西沢渓谷・フルーツ公園周辺	76,206	68,203	98,017	133,465	223,391	280,770	162,096	223,214	244,650	220,387	169,388	66,799	1,966,586	1,749,630	112.4%	
石和温泉・果実郷周辺	260,045	149,744	207,034	320,859	229,686	224,777	322,341	564,788	295,397	281,872	265,180	174,665	3,296,388	3,498,360	94.2%	
小計	439,886	304,978	442,728	662,989	651,123	733,233	772,451	1,263,910	1,093,724	996,133	700,235	377,081	8,438,471	8,153,410	103.5%	
身延山・下部温泉周辺	138,174	52,410	140,231	309,968	166,835	130,242	102,754	112,049	90,235	128,191	119,535	82,328	1,572,952	1,613,646	97.5%	
早川周辺	389	479	613	726	15,336	697	1,600	2,784	1,776	1,812	2,165	626	29,003	29,306	99.0%	
峡南北部	72,091	64,929	81,351	124,417	90,100	94,752	103,114	310,645	90,606	77,090	110,148	67,678	1,286,921	966,089	133.2%	
峡南南部	23,786	20,602	27,274	43,419	35,846	27,587	26,981	78,607	28,995	30,609	30,684	24,976	399,366	392,544	101.7%	
小計	234,440	138,420	249,469	478,530	308,117	253,278	234,449	504,085	211,612	237,702	262,532	175,608	3,288,242	3,001,585	109.6%	
八ヶ岳高原周辺	196,921	150,222	192,087	205,370	395,701	266,443	361,811	641,781	375,837	377,607	242,871	178,954	3,585,605	3,516,722	102.0%	
金峰・みずがき周辺	8,230	7,557	11,750	18,532	30,186	19,227	23,110	36,679	26,114	31,801	29,863	10,962	254,011	247,036	102.8%	
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	74,260	71,082	105,335	171,812	163,387	119,986	166,245	316,863	162,991	185,953	137,071	90,600	1,765,585	1,641,897	107.5%	
茅ヶ岳周辺	9,294	3,807	8,037	18,419	38,248	47,546	59,962	220,191	21,096	21,004	30,266	27,421	505,291	467,977	108.0%	
小計	288,705	232,668	317,209	414,133	627,522	453,202	611,128	1,215,514	586,038	616,365	440,071	307,937	6,110,492	5,873,632	104.0%	
富士山五合目	105,788	151,480	339,496	559,080	670,062	633,712	838,032	913,806	677,816	726,432	516,170	335,888	6,467,762	4,536,802	142.6%	
富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	683,793	403,670	578,123	498,547	669,647	626,706	794,982	1,425,365	671,407	640,454	900,576	449,368	8,342,638	8,356,689	99.8%	
本栖湖・精進湖・西湖周辺	201,751	150,819	166,294	290,323	756,810	182,025	258,137	460,829	237,346	230,066	188,870	119,339	3,239,609	3,123,247	103.7%	
山中湖・忍野周辺	55,376	73,656	50,825	62,642	128,553	78,554	113,809	311,475	134,798	110,880	118,610	101,326	1,340,504	1,294,317	103.6%	
大月・北都留	52,252	37,088	64,248	77,735	117,524	83,598	82,869	138,260	89,472	104,599	107,715	68,439	1,023,619	958,004	106.8%	
桂川・志志川周辺	64,515	60,096	115,505	143,051	198,591	145,511	169,620	241,153	188,237	185,024	179,519	89,320	1,780,142	1,805,911	98.6%	
小計	1,163,475	876,809	1,314,491	1,631,378	2,541,187	1,750,106	2,257,269	3,490,888	1,999,076	1,997,455	2,008,460	1,163,680	22,194,274	20,074,970	110.6%	
合計	2,491,945	1,996,173	2,797,130	3,856,074	4,891,603	3,744,916	4,464,418	7,116,194	4,462,633	4,597,116	4,062,443	2,347,953	46,828,598	43,405,941	107.9%	
四半期合計	7,285,248			12,492,593				16,043,245								
月別構成比	5.3%	4.3%	6.0%	8.2%	10.4%	8.0%	9.5%	15.2%	9.5%	9.8%	8.7%	5.0%	100.0%			

## 市町村別の推移

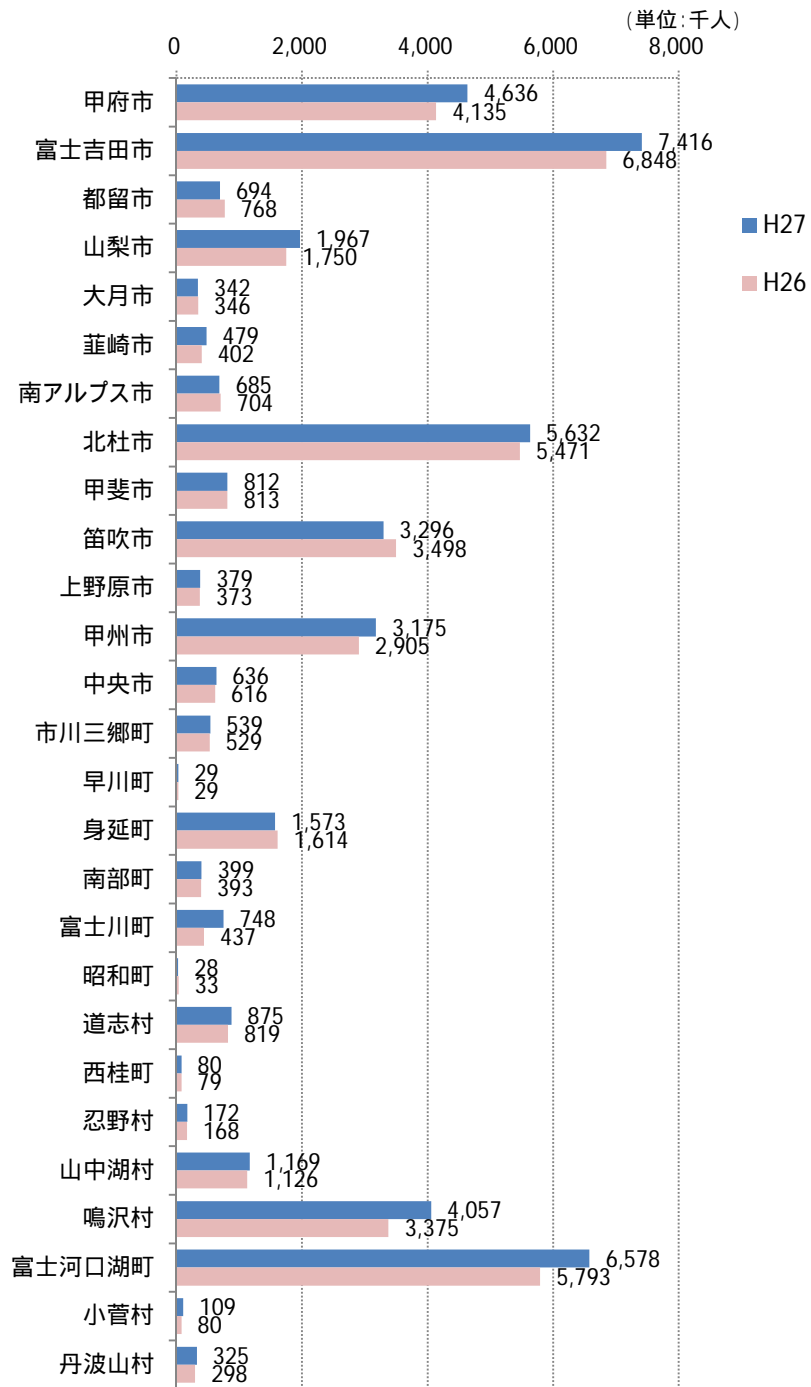
市町村別に見ると、富士吉田市が742万人（前年比108.3%）と最多であり、次いで富士河口湖町（658万人、同113.5%）、北杜市（563万人、同102.9%）、甲府市（464万人、同112.1%）などとなっている（図表22、23）。

図表22 市町村別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、%）

市町村名	平成27年		平成26年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
甲府市	4,636,035	9.9%	4,135,157	9.5%	112.1%
富士吉田市	7,415,791	15.8%	6,848,132	15.8%	108.3%
都留市	693,511	1.5%	768,486	1.8%	90.2%
山梨市	1,966,586	4.2%	1,749,630	4.0%	112.4%
大月市	342,292	0.7%	345,935	0.8%	98.9%
韮崎市	478,562	1.0%	402,492	0.9%	118.9%
南アルプス市	685,381	1.5%	704,211	1.6%	97.3%
北杜市	5,631,930	12.0%	5,471,140	12.6%	102.9%
甲斐市	812,231	1.7%	813,134	1.9%	99.9%
笛吹市	3,296,388	7.0%	3,498,360	8.1%	94.2%
上野原市	379,195	0.8%	373,157	0.9%	101.6%
甲州市	3,175,497	6.8%	2,905,420	6.7%	109.3%
中央市	635,962	1.4%	616,428	1.4%	103.2%
市川三郷町	538,527	1.1%	528,786	1.2%	101.8%
早川町	29,003	0.1%	29,306	0.1%	99.0%
身延町	1,572,952	3.4%	1,613,646	3.7%	97.5%
南部町	399,366	0.9%	392,544	0.9%	101.7%
富士川町	748,394	1.6%	437,303	1.0%	171.1%
昭和町	27,510	0.1%	33,414	0.1%	82.3%
道志村	875,052	1.9%	819,077	1.9%	106.8%
西桂町	80,135	0.2%	79,235	0.2%	101.1%
忍野村	171,552	0.4%	168,408	0.4%	101.9%
山中湖村	1,168,952	2.5%	1,125,909	2.6%	103.8%
鳴沢村	4,056,710	8.7%	3,375,309	7.8%	120.2%
富士河口湖町	6,577,508	14.0%	5,793,297	13.3%	113.5%
小菅村	108,880	0.2%	80,098	0.2%	135.9%
丹波山村	324,696	0.7%	297,927	0.7%	109.0%
年計	46,828,598	100.0%	43,405,941	100.0%	107.9%





図表2.3 平成27年観光入込客数 市町村別・月別一覽表(延べ人数)

(単位:人、%)

	H27年												H26年		前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	
甲府市	243,142	226,216	334,767	467,964	590,764	340,405	427,412	430,181	411,728	510,541	467,421	185,494	4,636,035	4,135,157	112.1%
富士吉田市	573,074	270,601	512,329	486,292	656,003	527,124	664,890	1,341,381	705,140	676,380	588,642	413,935	7,415,791	6,848,132	108.3%
都留市	22,221	23,618	53,222	47,644	64,932	63,837	61,173	80,171	82,051	78,496	75,417	40,729	693,511	768,486	90.2%
山梨市	76,206	68,203	98,017	133,465	223,391	280,770	162,096	223,214	244,650	220,387	169,388	66,799	1,966,586	1,749,630	112.4%
大月市	17,810	10,556	17,566	21,370	23,317	30,655	24,955	58,612	28,130	40,844	42,483	25,994	342,292	345,935	99.9%
韮崎市	26,830	24,419	29,742	30,550	36,455	28,229	34,385	80,865	33,628	78,352	41,731	33,376	478,562	402,492	118.9%
南アルプス市	35,341	135,030	37,009	60,598	44,904	69,639	53,930	73,343	47,514	45,686	41,162	41,225	685,381	704,211	97.3%
北杜市	261,875	208,249	287,467	383,583	591,067	424,973	576,743	1,134,649	552,410	538,013	398,340	274,561	5,631,930	5,471,140	102.9%
甲斐市	54,112	50,634	57,583	65,591	71,321	69,858	58,953	65,154	61,709	130,347	69,470	57,499	812,231	813,134	99.9%
笛吹市	260,045	149,744	207,034	320,859	229,686	224,777	322,341	564,788	295,397	281,872	265,180	174,665	3,296,388	3,498,360	94.2%
上野原市	19,282	17,407	30,410	32,819	38,237	33,448	33,855	37,000	33,369	35,736	35,547	32,085	379,195	373,157	101.6%
甲州市	103,635	87,031	137,677	208,665	198,046	227,686	288,014	475,908	553,677	493,874	265,667	135,617	3,175,497	2,905,420	109.3%
中央市	31,758	31,009	43,874	73,459	55,110	73,670	47,334	71,816	49,929	48,373	71,666	37,964	635,962	616,428	103.2%
市川三郷町	31,756	25,848	30,221	26,036	30,356	25,988	27,714	236,137	30,464	18,832	28,175	27,000	538,527	528,786	101.8%
早川町	389	479	613	726	15,336	697	1,600	2,784	1,776	1,812	2,165	626	29,003	29,306	99.0%
身延町	138,174	52,410	140,231	309,968	166,835	130,242	102,754	112,049	90,235	128,191	119,535	82,328	1,572,952	1,613,646	97.5%
南都町	23,786	20,602	27,274	43,419	35,846	27,587	26,981	78,607	28,995	30,609	30,684	24,976	399,366	392,544	101.7%
富士川町	40,335	39,081	51,130	98,381	59,744	68,764	75,400	74,508	60,142	58,258	81,973	40,678	748,394	437,303	171.1%
昭和町	1,086	409	0	1,432	1,555	1,525	1,492	1,303	1,303	14,514	1,426	1,465	27,510	33,414	82.3%
道志村	28,511	24,049	46,631	78,999	111,206	65,194	88,753	134,918	87,002	88,747	87,101	33,941	875,052	819,077	106.8%
西桂町	5,330	4,757	6,066	6,179	9,278	5,722	7,377	9,142	6,674	7,467	6,617	5,526	80,135	79,235	101.1%
忍野村	4,321	3,635	7,706	7,691	15,810	9,482	17,728	64,364	15,975	11,681	9,481	3,678	171,552	168,408	101.9%
山中湖村	51,055	70,021	43,119	54,951	112,743	69,072	96,081	247,111	118,823	99,199	109,129	97,648	1,168,952	1,125,909	103.8%
鳴沢村	170,791	169,840	244,102	324,905	454,083	325,684	453,956	618,979	389,681	397,334	299,328	208,027	4,056,710	3,375,309	120.2%
富士河口湖町	247,467	265,528	327,482	536,753	986,433	589,635	772,305	839,640	491,748	523,238	714,646	282,633	6,577,508	5,793,297	113.5%
小菅村	4,857	3,805	5,526	8,209	26,935	7,216	7,488	12,779	9,264	8,603	9,396	4,802	108,880	80,098	135.9%
丹波山村	18,756	12,992	20,332	25,566	42,210	23,037	28,708	46,791	31,219	29,730	30,673	14,682	324,696	297,927	109.0%
合計	2,491,945	1,996,173	2,797,130	3,856,074	4,891,603	3,744,916	4,464,418	7,116,194	4,462,633	4,597,116	4,062,443	2,347,953	46,828,598	43,405,941	107.9%
月別構成比	5.3%	4.3%	6.0%	8.2%	10.4%	8.0%	9.5%	15.2%	9.5%	9.8%	8.7%	5.0%	100.0%		

## 第2部 観光地点等パラメータ調査による分析

## 1. 調査の概要

県内を訪れた観光客に対して、平成 27 年の冬・春・夏・秋のシーズンごとに県内各地の観光地点において、対面聞き取り式によるアンケート調査を実施した。

本報告は、その調査結果を集計するとともに、性別・年代別等の分析をすることにより、旅行の目的や訪問先、消費額等の動態や旅行での満足度を明らかにする。

### (1) 調査日

観光地点を、

歴史・文化

都市型観光

温泉・健康

スポーツ・レクリエーション

自然

その他

に分類し、季節ごとに峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部地域それぞれ 2 カ所ずつ調査地点を定め、県下 10 カ所で調査を実施した。

冬 : 平成 27 年 2 月 7 日(土)

春 : 平成 27 年 5 月 16 日(土)

夏 : 平成 27 年 8 月 1 日(土)

秋 : 平成 27 年 11 月 7 日(土)

### (2) 調査地点、サンプル数

分類	観光地点名称	圏域	冬	春	夏	秋	計
歴史・文化	武田神社	峡中	76	72	77	77	302
歴史・文化	山梨県立美術館	峡中	76	76	76	75	303
歴史・文化	勝沼ぶどうの丘	峡東	77	76	78	79	310
都市型観光	モンデ酒造	峡東	75	76	76	76	303
歴史・文化	身延山久遠寺	峡南	102	76	76	76	330
温泉・健康	みはらしの丘みたまの湯	峡南	75	69	72	75	291
都市型観光	八ヶ岳アウトレット	峡北	102	102	102	102	408
その他・道の駅	道の駅こぶちざわ	峡北	75	75	77	75	302
スポーツ・レクリエーション	富士急ハイランド	富士・東部	115	122	99	115	451
自然	カチカチ山ロープウェイ	富士・東部	76	69	79	75	299
合計			849	813	812	825	3,299

### (3) 本報告書の計算値について

アンケート結果の数値は端数処理により、項目の合計が 100%にならない場合がある。

## 2. 観光客の特性、動態状況の分析

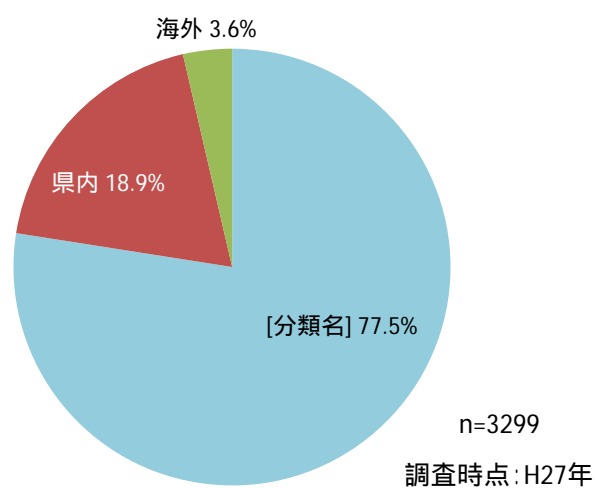
観光地アンケート調査の結果を基に、本県の観光客の全体像と特徴を分析した。

### (1) 本県観光客の全体像

#### 居住地

観光客の居住地は、「県内」が18.9%、「県外」が77.5%、「海外」が3.6%である。

前年調査と比較すると、県外は2.4ポイント増加し、県内が3.4ポイント減少している。



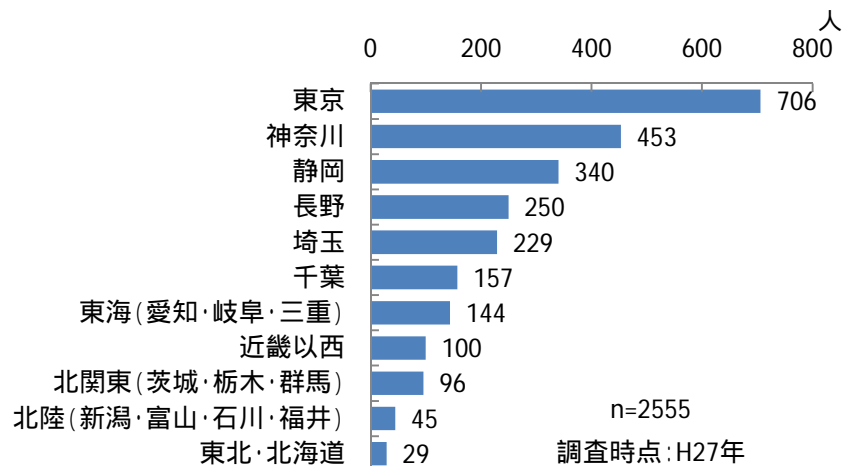
#### 【経年比較】

カテゴリ	H27年 (%)	H26年 (%)	比較増減 (ポイント)
県外	77.5%	75.1%	2.4
県内	18.9%	22.3%	3.4
海外	3.6%	2.6%	1.0
不明	0.0%	0.0%	0.0

有意な差あり

また、外国人及び不明の者を除いた県外客の居住地は、東京(27.6%)、神奈川(17.7%)、静岡(13.3%)、長野(9.8%)、埼玉(9.0%)と、隣接する都県からの来訪者が多い。

季節変動を見ると、長野からの来訪者は、冬に訪れる割合が他の季節と比較して特に高くなっている。



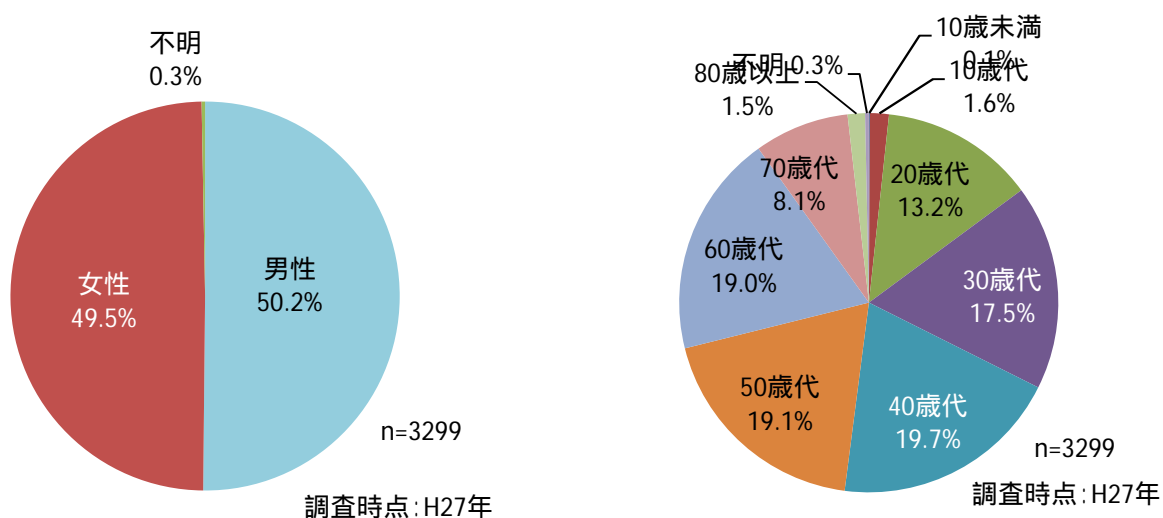
#### 【季節対比】

カテゴリ	冬 (%ベース)	春 (%ベース)	夏 (%ベース)	秋 (%ベース)	年間 (%ベース)
東京	28.9%	27.4%	27.0%	27.2%	27.6%
神奈川	14.5%	18.0%	19.8%	18.7%	17.7%
静岡	11.8%	13.3%	13.4%	14.7%	13.3%
長野	16.1%	8.0%	6.4%	8.7%	9.8%
埼玉	11.3%	9.0%	6.7%	8.9%	9.0%
千葉	3.8%	7.7%	7.5%	5.5%	6.1%
東海(愛知・岐阜・三重)	4.1%	5.6%	7.3%	5.5%	5.6%
近畿以西	4.0%	3.7%	4.2%	3.8%	3.9%
北関東(茨城・栃木・群馬)	3.7%	3.7%	4.6%	3.1%	3.8%
北陸(新潟・富山・石川・福井)	0.8%	1.4%	2.6%	2.3%	1.8%
東北・北海道	1.1%	1.2%	0.5%	1.7%	1.1%

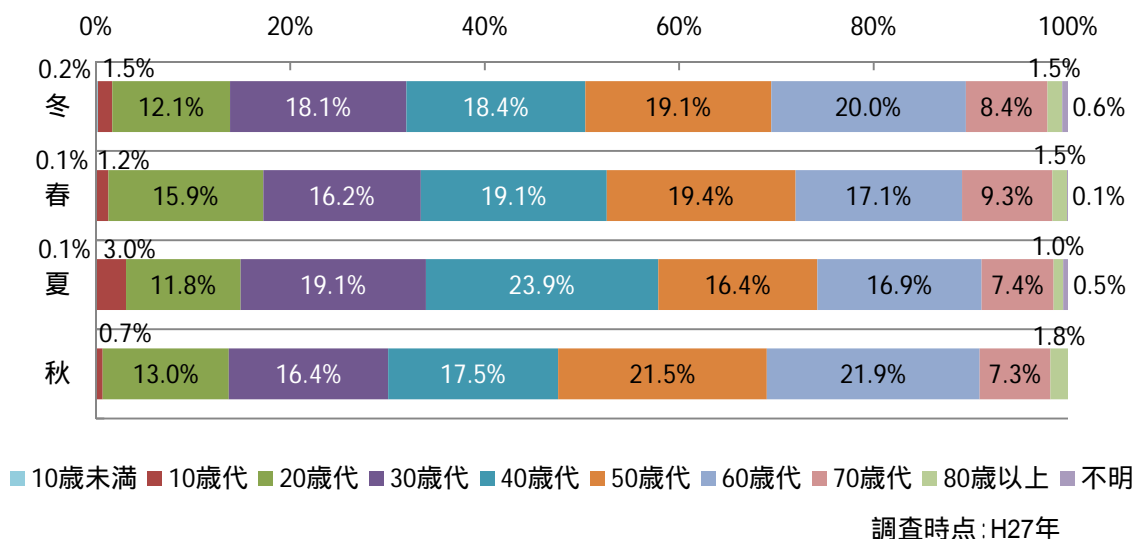
性別・年代別

アンケート回答者のうち、男性は50.2%、女性は49.5%である。

年齢層を見ると、「40歳代」(19.7%)が最も多く、「50歳代」(19.1%)、「60歳代」(19.0%)と続いている。



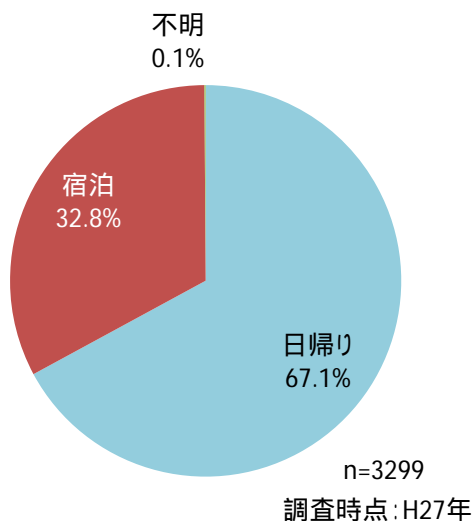
季節毎で見ると、秋と冬は「60歳代」、春は「50歳代」、夏は「40歳代」の割合が最も高くなっている。



### 滞在状況（日帰り・宿泊）

滞在状況は、「日帰り」が67.1%を占め、「宿泊」は32.8%となり、前年調査と比較して統計的な差異は無かった。

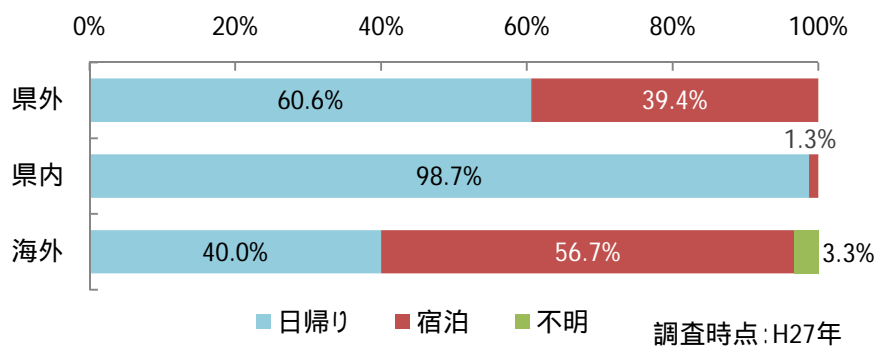
居住地別で見ると、県内は「日帰り」が98.7%を占めるのに対し、県外では39.4%、海外では56.7%が「宿泊」となっている。



### 【経年比較】

カテゴリ	H27年 (% <sup>^</sup> -入)	H26年 (% <sup>^</sup> -入)	比較増減 (ポイント)
日帰り	67.1%	65.8%	1.3
宿泊	32.8%	34.0%	▲ 1.2
不明	0.1%	0.2%	▲ 0.1

差は統計誤差の範囲内



### 【居住地対比】

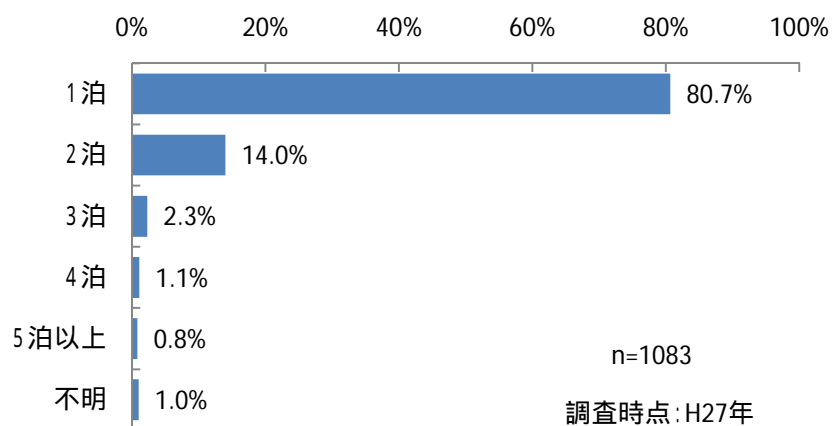
カテゴリ	県外 (% <sup>^</sup> -入)	県内 (% <sup>^</sup> -入)	海外 (% <sup>^</sup> -入)
日帰り	60.6%	98.7%	40.0%
宿泊	39.4%	1.3%	56.7%
不明	0.0%	0.0%	3.3%

差は統計誤差の範囲内



宿泊客のうち、山梨県内への宿泊数は、「1泊」(80.7%)が最も高く、次いで「2泊」(14.0%)である。

前年調査と比較すると、「1泊」の割合が2.7ポイント増加し、「2泊」の割合が1.6ポイント減少した。



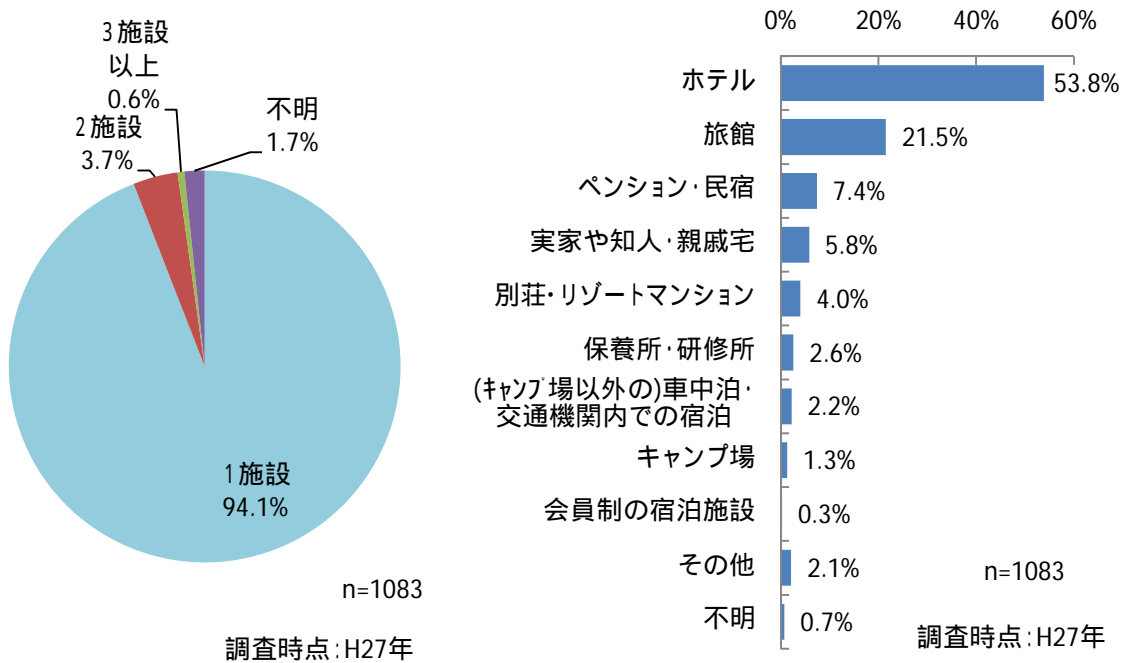
【経年比較】

カテゴリ	H27年 (%)	H26年 (%)	比較増減 (ポイント)
1泊	80.7%	78.0%	2.7
2泊	14.0%	15.6%	▲ 1.6

## 宿泊施設

宿泊者のうち、宿泊した施設数は「1施設」が94.1%で大多数を占めている。

宿泊施設の種類は、「ホテル」(53.8%)が過半数を占め、次いで、「旅館」(21.5%)、「ペンション・民宿」(7.4%)、「実家や知人・親戚宅」(5.8%)、「別荘・リゾートマンション」(4.0%)の順となっており、前年調査と同様の構成であった。



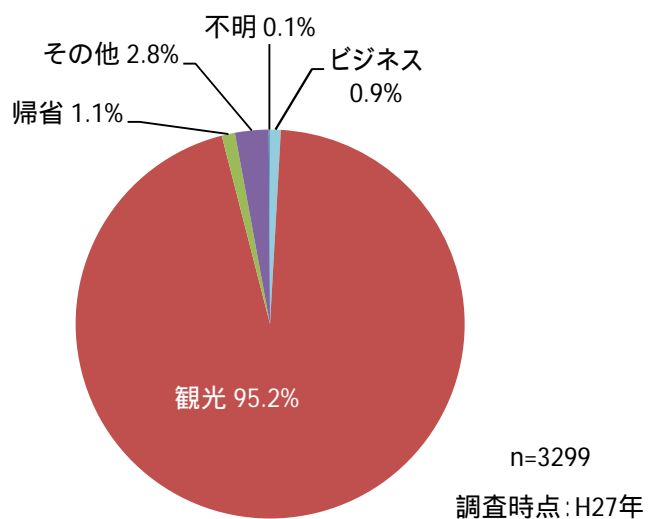
\* 複数回答

## 【経年比較】

カテゴリ	H27年 (% <sup>^</sup> -入)	H26年 (% <sup>^</sup> -入)	比較増減 (ポイント)
ホテル	53.8%	51.6%	2.2
旅館	21.5%	21.1%	0.4
ペンション・民宿	7.4%	9.5%	▲ 2.1
実家や知人・親戚宅	5.8%	6.8%	▲ 1.0
別荘・リゾートマンション	4.0%	4.3%	▲ 0.3
保養所・研修所	2.6%	2.4%	0.2
(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	2.2%	2.3%	▲ 0.1

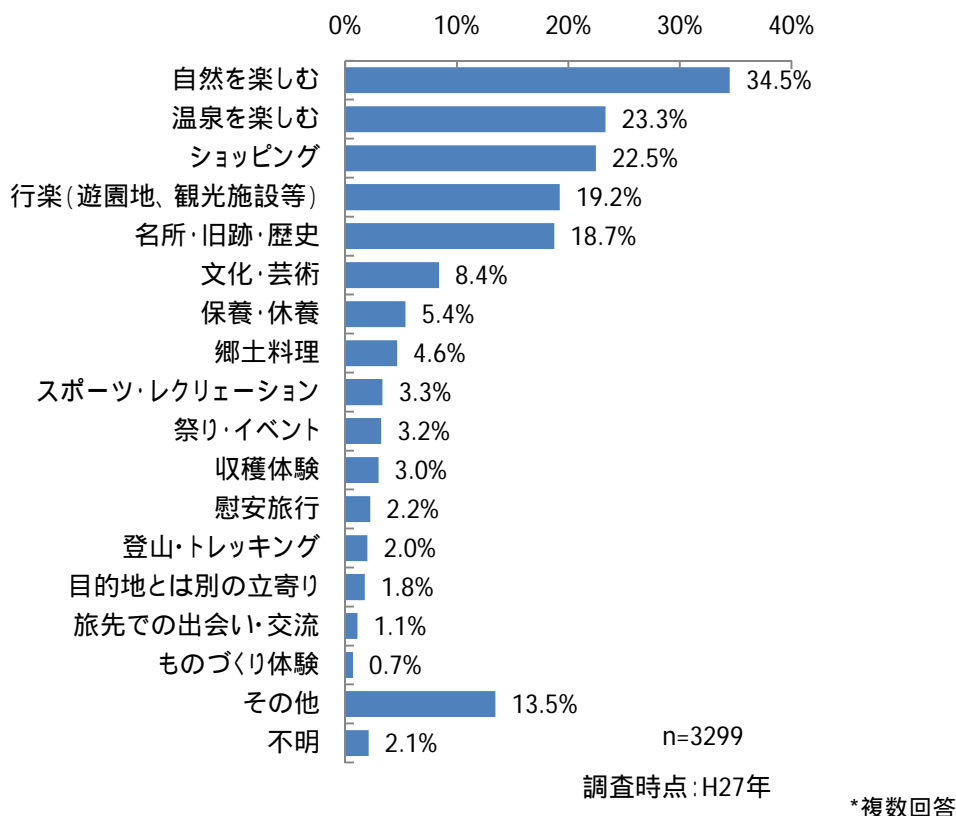
### 旅行の主な目的

旅行の主な目的は、「観光」が95.2%を占めている。また、「その他」(2.8%)の内容は「神社仏閣の参拝」や「ワイン」などである。



観光旅行の目的を見ると、「自然を楽しむ」が 34.5%と最も高く、次いで「温泉を楽しむ」(23.3%)、「ショッピング」(22.5%)となっている。

前年調査と比較すると、「ショッピング」の割合が「行楽(遊園地、観光施設等)」を上回り、3番目に高い割合となっている。また、「自然を楽しむ」が4.1ポイント増加し、「行楽(遊園地、観光施設等)」が2.0ポイント減少している。



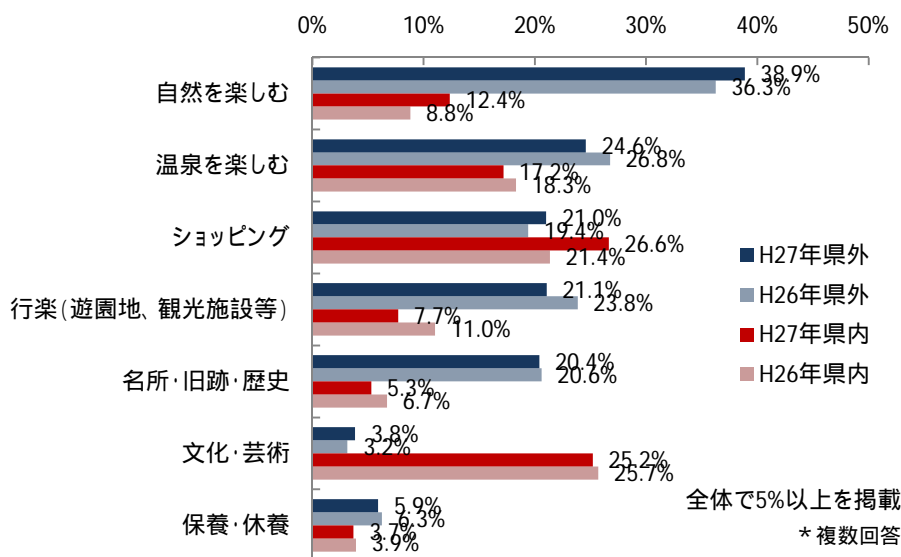
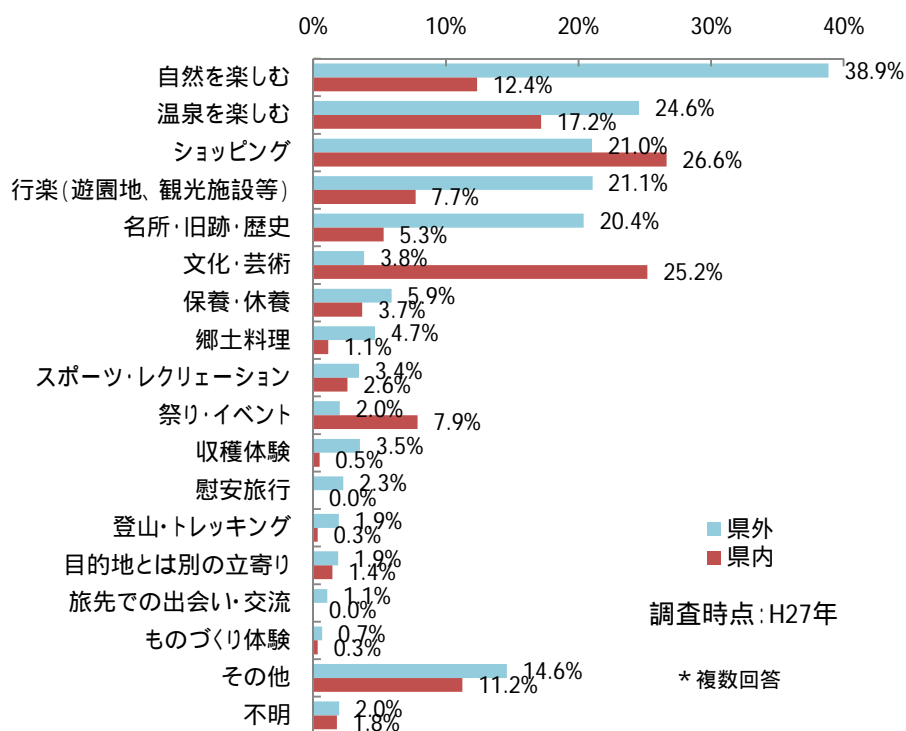
【季節対比・経年比較】

カテゴリ	冬 (%ベース)	春 (%ベース)	夏 (%ベース)	秋 (%ベース)	H27年 (%ベース)	H26年 (%ベース)	比較増減 (ポイント)
自然を楽しむ	21.3%	36.4%	38.2%	42.4%	34.5%	30.4%	4.1
温泉を楽しむ	24.6%	25.6%	22.2%	21.0%	23.3%	24.9%	▲ 1.6
ショッピング	25.3%	19.8%	23.9%	20.7%	22.5%	19.8%	2.7
行楽(遊園地、観光施設等)	21.2%	17.8%	14.9%	22.8%	19.2%	21.2%	▲ 2.0
名所・旧跡・歴史	19.9%	21.9%	18.6%	14.5%	18.7%	18.3%	0.4
文化・芸術	8.8%	9.2%	9.1%	6.4%	8.4%	8.3%	0.1
保養・休養	3.8%	6.0%	5.4%	6.4%	5.4%	5.6%	▲ 0.2

全体で5%以上を掲載

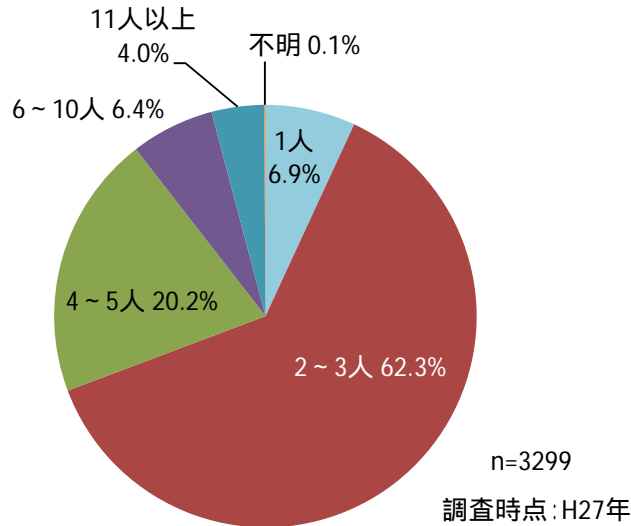
観光旅行の目的を居住地別に見ると、県外客では「自然を楽しむ」(38.9%)が最も高く、次いで、「温泉を楽しむ」(24.6%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(21.1%)の順となっている。一方、県内客では「ショッピング」が26.6%で最も高く、「文化・芸術」(25.2%)が続いている。

前年調査と比較すると、県内客の「ショッピング」の割合が5ポイント以上増加している。

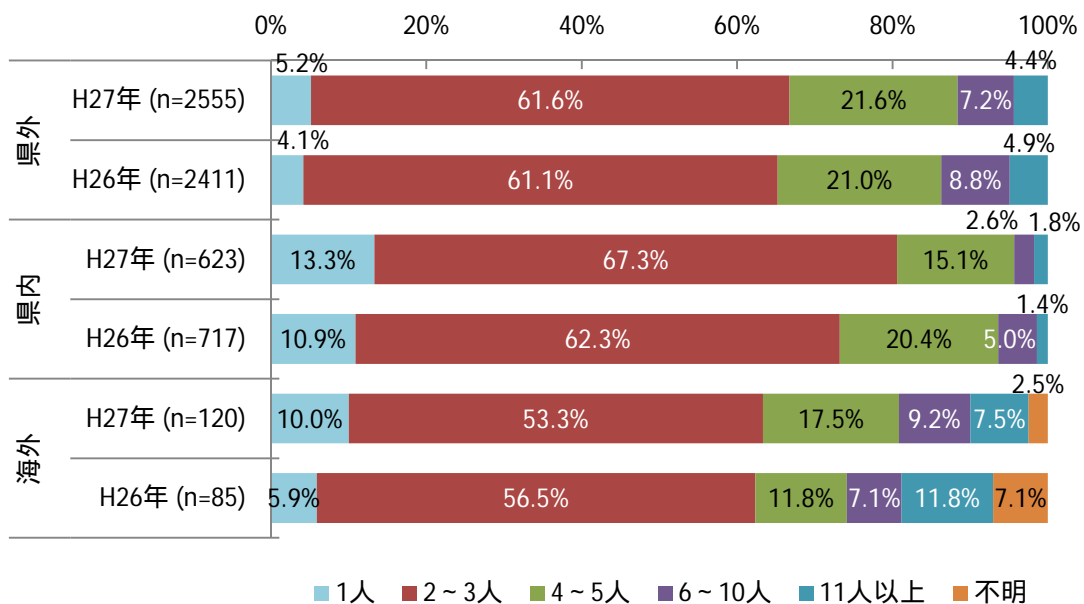


### 同行者

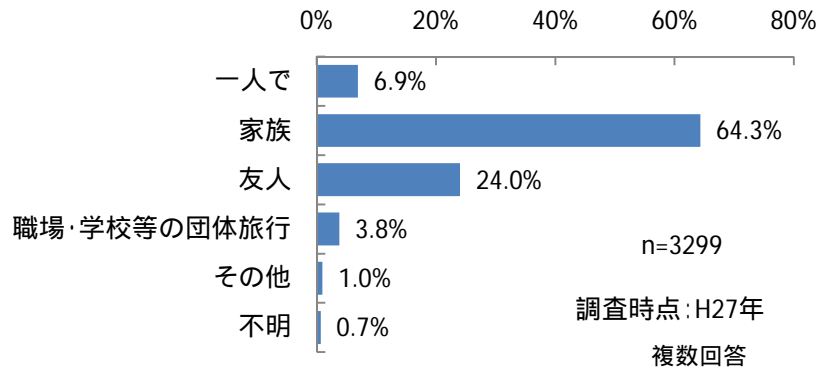
同行人数は、「2～3人」が62.3%と最も高く、次いで「4～5人」(20.2%)となっており、5人以下の少人数のグループによる旅行が8割以上を占めている。



居住地別の旅行人数では、前年調査と同様に、県外・県内・海外いずれも「2～3人」のグループが最も多い傾向は変わらなかったが、「1人」の割合について若干の増加が見られる。



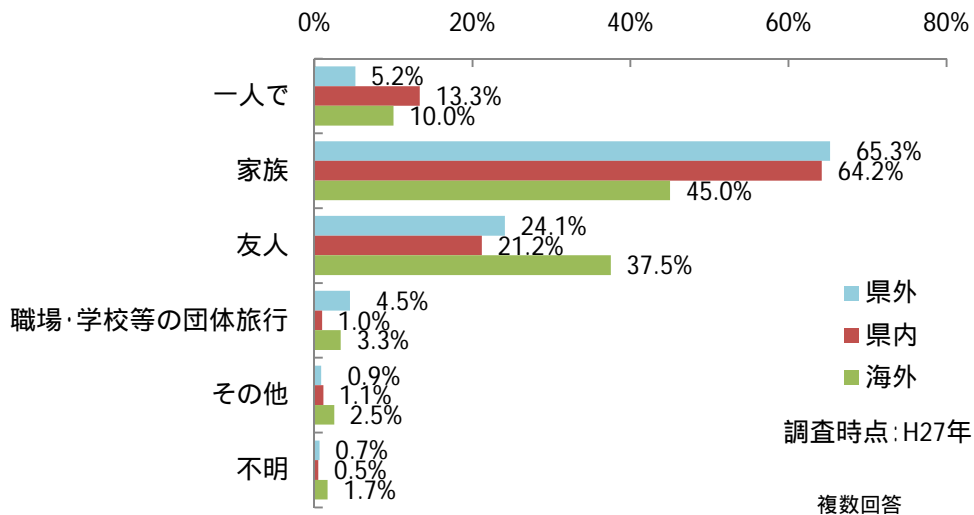
同行者は「家族」が64.3%で最も高く、次いで「友人」(24.0%)となっている。  
 前年調査と比較すると、「家族」が3.5ポイント減少し、「友人」が2.4ポイント増加している。



【経年比較】

カテゴリー	H27年 (%ポイント)	H26年 (%ポイント)	比較増減 (ポイント)
一人で	6.9%	5.7%	1.2
家族	64.3%	67.8%	▲ 3.5
友人	24.0%	21.6%	▲ 2.4
職場・学校等の団体旅行	3.8%	3.1%	0.7
その他	1.0%	1.5%	▲ 0.5
不明	0.7%	0.4%	0.3

居住地別で見ると、県内外は同様の傾向となっているものの、海外は県内外と比較して「家族」が40%台と低く、「友人」が30%台と高くなっている。また、県内、海外で「一人で」が1割程度見られる。

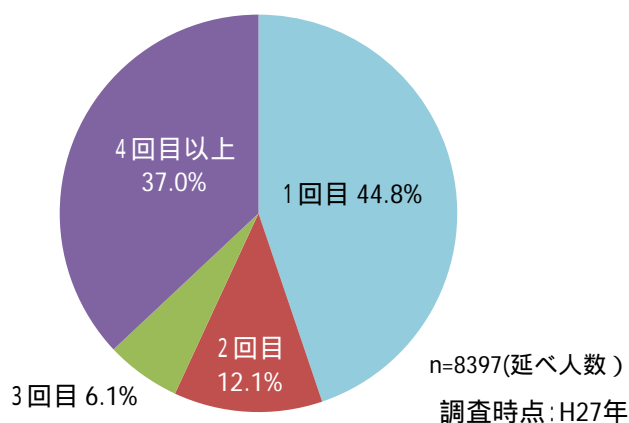


今いる観光地への訪問回数（同行者含む）

同行者全員の観光地への訪問回数を知っていると回答した2,899人（87.9%）について、回答した方と同行者も含めた「今いる観光地」への訪問回数を見ると、「1回目」（44.8%）、「4回目以上」（37.0%）の順で高い割合となっている。

季節毎に見てみると、冬は「4回目以上」の割合が最も高く、春以降は「1回目」の割合が最も高くなっている。

前年調査と比較すると、「3回目」が2.7ポイント減少し、「1回目」が3.0ポイント増加している。



【季節対比・経年比較】

カテゴリ	冬 (% <sup>△</sup> -入)	春 (% <sup>△</sup> -入)	夏 (% <sup>△</sup> -入)	秋 (% <sup>△</sup> -入)	H27年 (% <sup>△</sup> -入)	H26年 (% <sup>△</sup> -入)	比較増減 (ポイント)
1回目	38.9%	46.3%	48.2%	45.8%	44.8%	41.8%	3.0
2回目	11.0%	13.3%	11.5%	12.8%	12.1%	12.5%	0.4
3回目	4.5%	6.5%	7.1%	6.1%	6.1%	8.8%	2.7
4回目以上	45.5%	34.0%	33.1%	35.3%	37.0%	36.9%	0.1

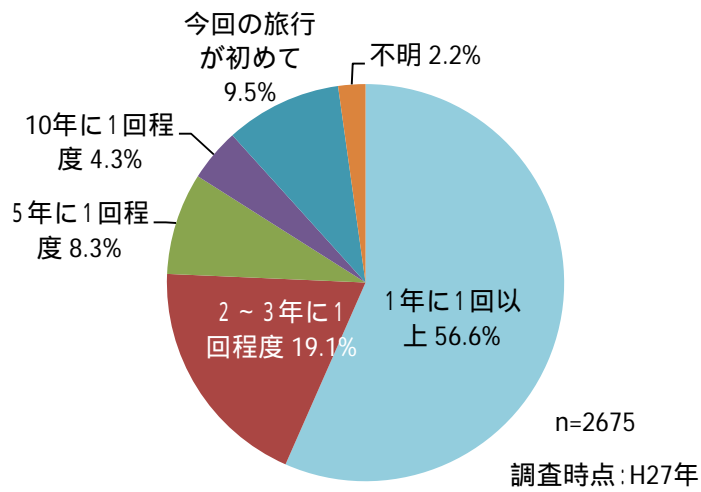
有意な差あり



### 県外客の山梨への訪問頻度

県外客が山梨を訪れる頻度は、「1年に1回以上」が56.6%で最も高く、次いで「2～3年に1回程度」(19.1%)、「今回の旅行が初めて」(9.5%)、「5年に1回程度」(8.3%)と続いている。

また、前年調査と比較すると、「5年に1回程度」が1.1ポイント増加している一方で、「今回の旅行が初めて」が1.1ポイント減少している。



### 【経年比較】

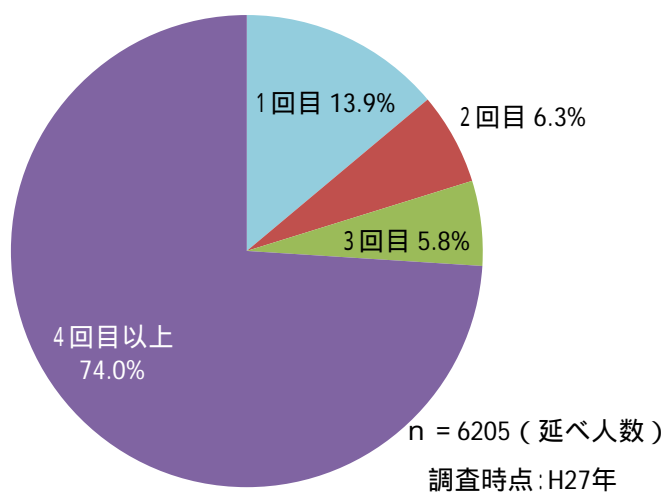
カテゴリ	H27年 (%ポイント)	H26年 (%ポイント)	比較増減 (ポイント)
1年に1回以上	56.6%	56.7%	▲ 0.1
2～3年に1回程度	19.1%	18.5%	▲ 0.6
5年に1回程度	8.3%	7.2%	▲ 1.1
10年に1回程度	4.3%	5.0%	▲ 0.7
今回の旅行が初めて	9.5%	10.6%	▲ 1.1
不明	2.2%	2.0%	▲ 0.2

有意な差あり

### 同行者の本県への訪問回数

同行者全員の山梨県への訪問回数を知っていると回答した 2,160 人（県外・海外居住者の 80.7%）について、回答した人と同行者も含めた山梨県への訪問回数を見ると、「4 回目以上」が 74.0%と最も高く、次いで「1 回目」（13.9%）となっている。

季節毎では、1 年を通して「4 回目以上」が最も比率が高く、冬は 80.6%と特に高い割合になっている。



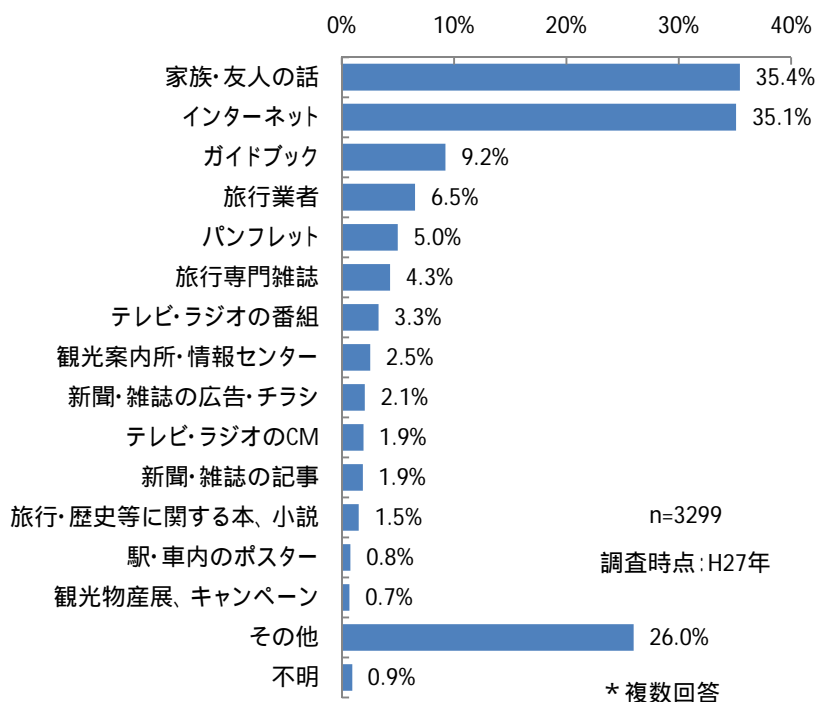
### 【季節対比・経年比較】

カテゴリ	冬 (% <sup>△</sup> - <sup>ス</sup> )	春 (% <sup>△</sup> - <sup>ス</sup> )	夏 (% <sup>△</sup> - <sup>ス</sup> )	秋 (% <sup>△</sup> - <sup>ス</sup> )	H27 年 (% <sup>△</sup> - <sup>ス</sup> )	H26 年 (% <sup>△</sup> - <sup>ス</sup> )	比較増減 (ポイント)
1回目	9.4%	14.1%	19.3%	12.1%	13.9%	13.1%	0.8
2回目	5.8%	6.2%	7.1%	6.1%	6.3%	6.7%	▲ 0.4
3回目	4.1%	6.6%	5.0%	7.6%	5.8%	5.6%	0.2
4回目以上	80.6%	73.1%	68.6%	74.2%	74.0%	74.6%	▲ 0.6

差は統計誤差の範囲内

### 旅行計画の参考資料

観光客が旅行計画を立てる際に参考にするものとしては、「家族・友人の話」が35.4%で最も高く、次いで「インターネット」(35.1%)、「ガイドブック」(9.2%)と続いている。また、「その他」が26.0%と多くなっているが、これは訪問地を以前から知っていたという回答が多数を占めている。



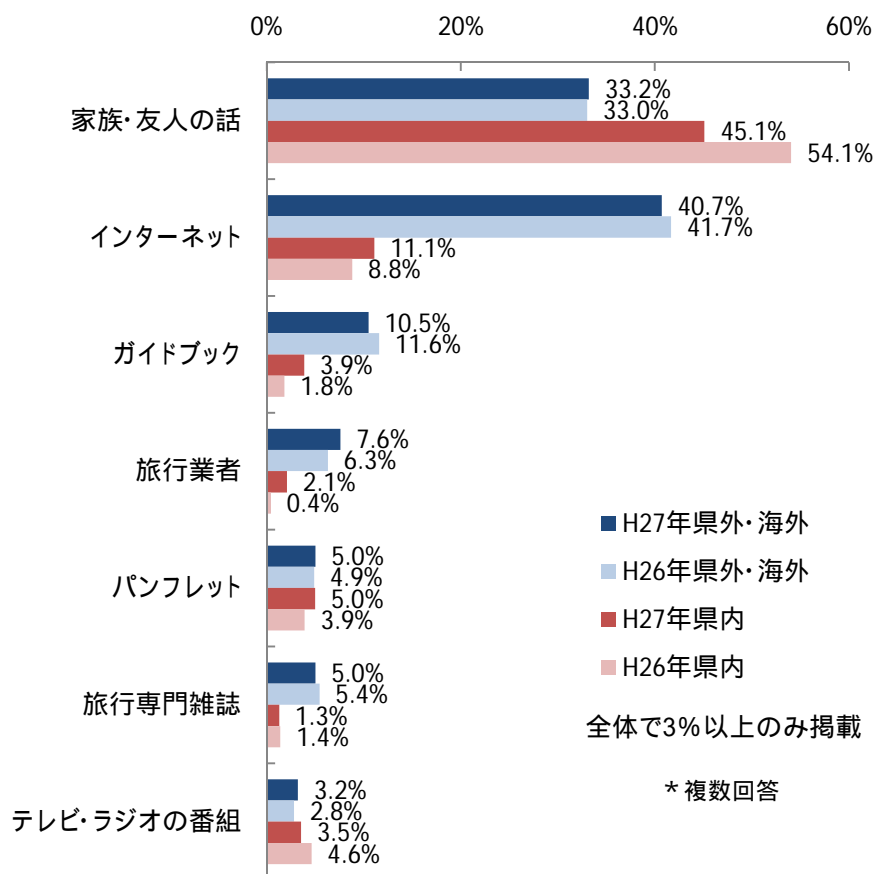
### 【経年比較】

カテゴリ	H27年 (% <sup>^</sup> -入)	H26年 (% <sup>^</sup> -入)	比較増減 (ポイント)
家族・友人の話	35.4%	37.7%	▲ 2.3
インターネット	35.1%	34.3%	0.8
ガイドブック	9.2%	9.4%	▲ 0.2
旅行者	6.5%	5.0%	1.5
パンフレット	5.0%	4.7%	0.3
旅行専門雑誌	4.3%	4.5%	▲ 0.2
テレビ・ラジオの番組	3.3%	3.2%	0.1

3.0%以上を掲載

旅行計画の参考資料を居住地別に見ると、県外・海外では「インターネット」(40.7%)が最も高く、次いで「家族・友人の話」(33.2%)、「ガイドブック」(10.5%)と続いている。

一方、県内では「家族・友人の話」(45.1%)が最も高くなっているが、前年調査と比較すると、9.0ポイント減少している。

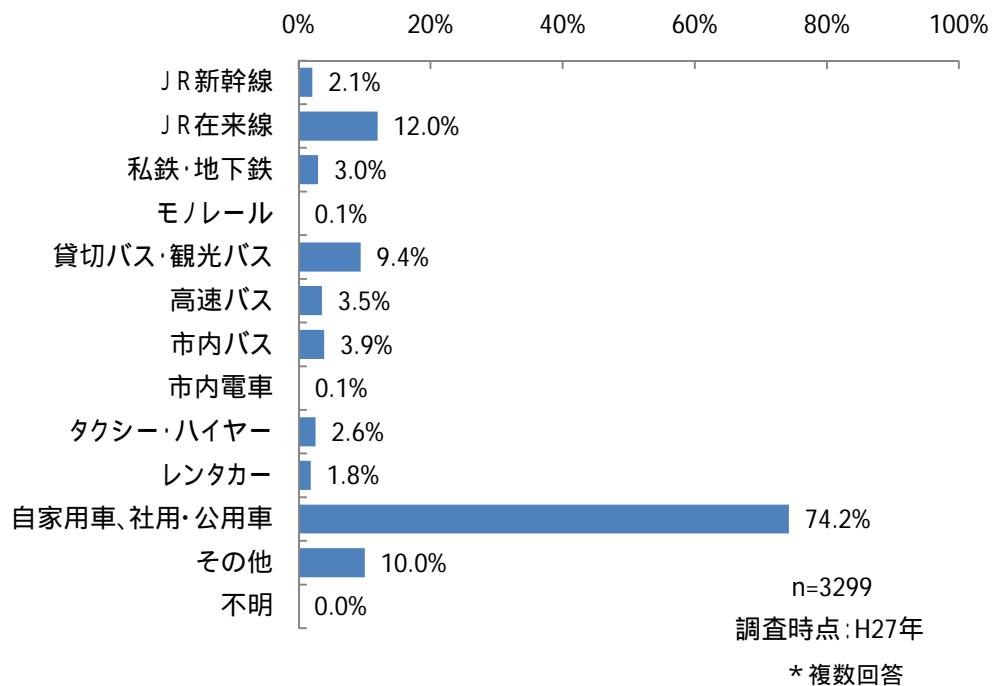


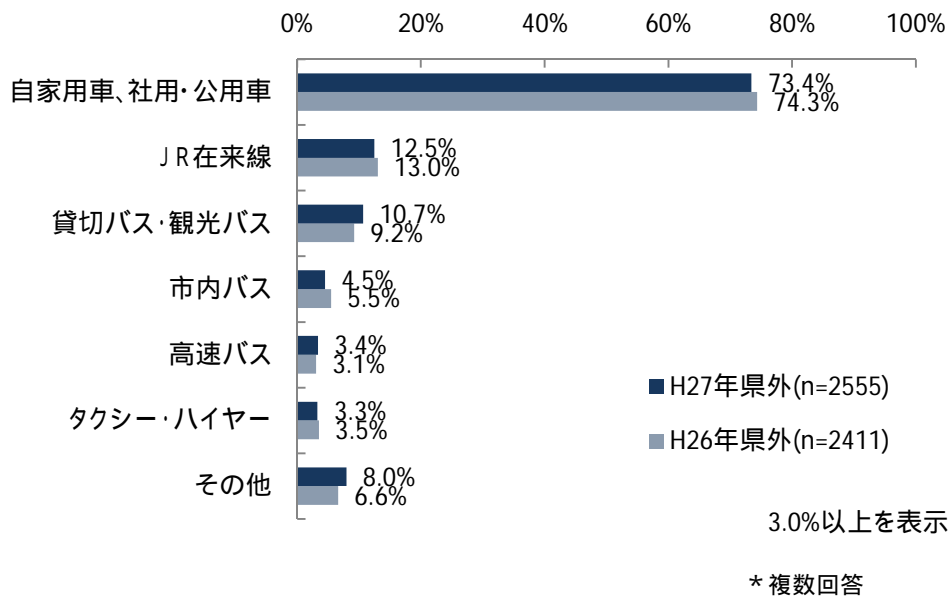
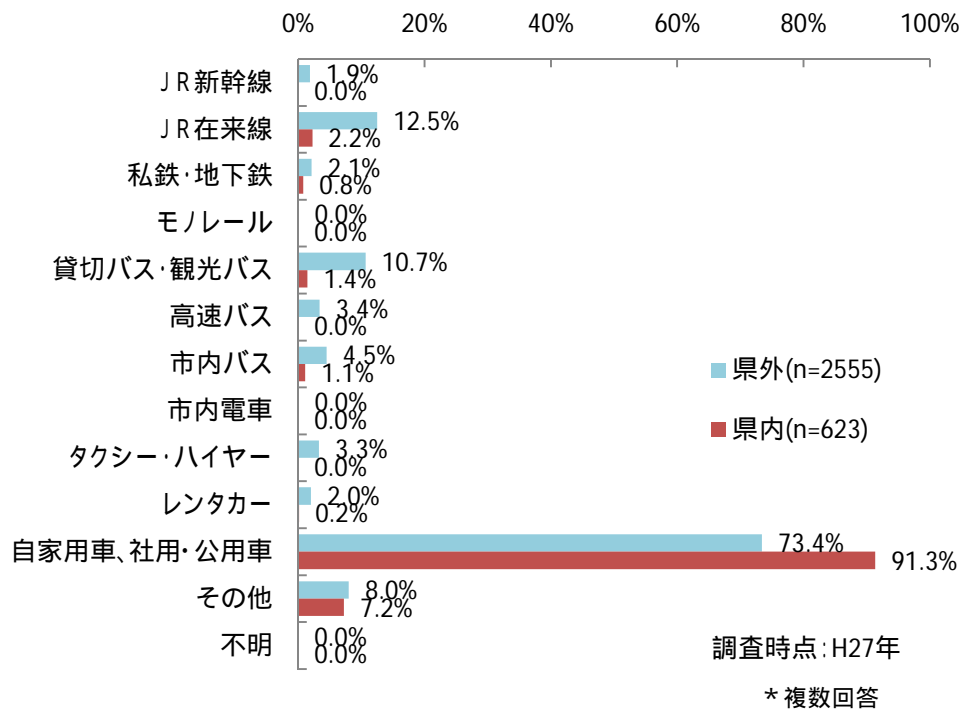
## 交通手段

県内観光の際に利用した交通手段は、「自家用車、社用・公用車」の割合が最も高く、7割以上を占めており、次いで「JR在来線」(12.0%)、「貸切バス・観光バス」(9.4%)となっている。

居住地別に見ると、県外は「自家用車、社用・公用車」の割合が比較的 low、「JR在来線」、「貸切バス・観光バス」などの割合が高い。

また、前年調査と比較したところ大きな差は見られなかった。

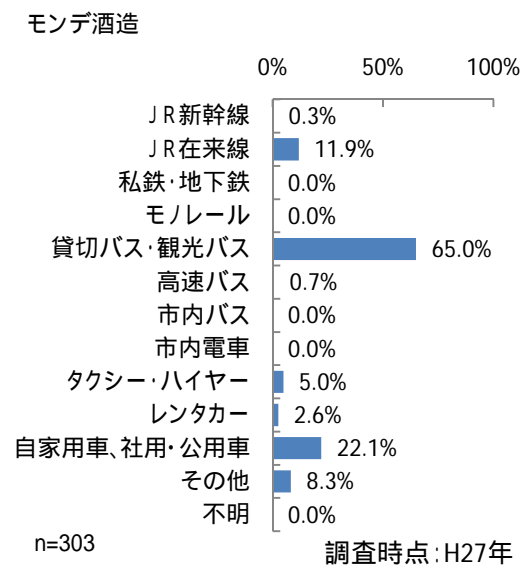
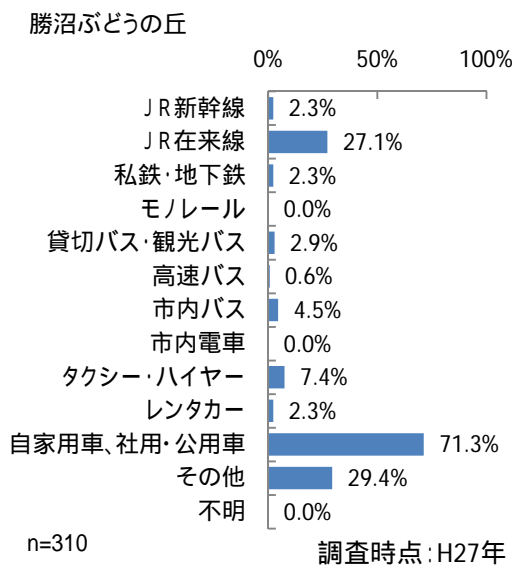
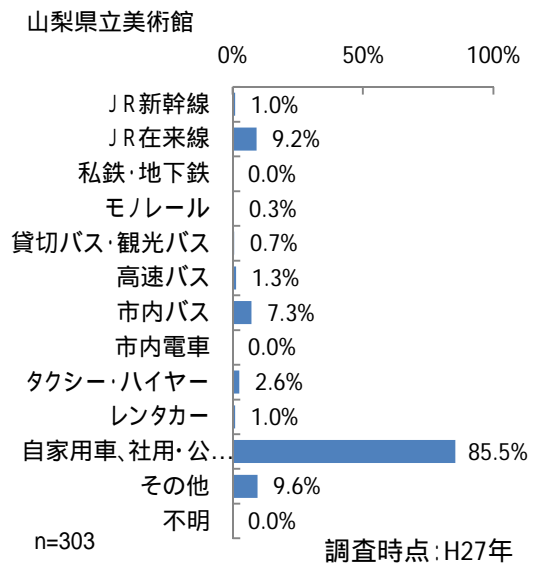
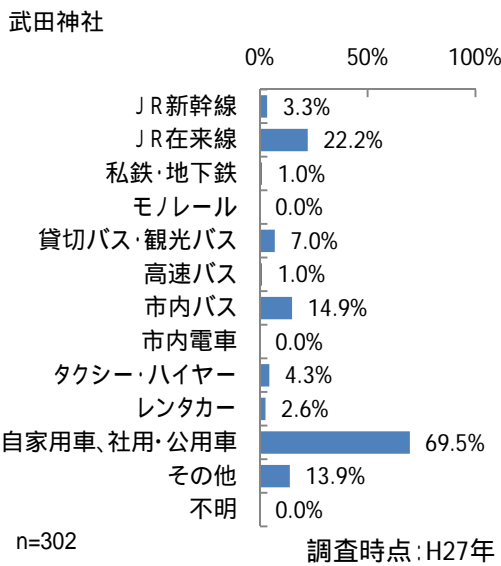




地点別では、「みはらしの丘みたまの湯」、「ハケ岳リゾートアウトレット」、「道の駅こぶちさわ」では、「自家用車、社用・公用車」が9割以上を占めており、公共交通機関の利用はほとんど見られない。

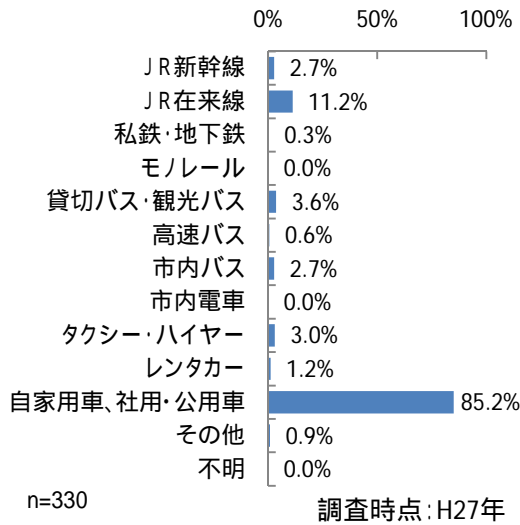
一方、「武田神社」では「JR在来線」、「市内バス」、「勝沼ぶどうの丘」では「JR在来線」、「富士急ハイランド」では「高速バス」、「JR在来線」、「カチカチ山ロープウェイ」では「JR在来線」「私鉄・地下鉄」などの利用が比較的高い。

なお、「モンデ酒造」では「貸切バス・観光バス」の利用が6割以上を占めており、団体バス旅行が有力顧客層を形成している状況がうかがえる。

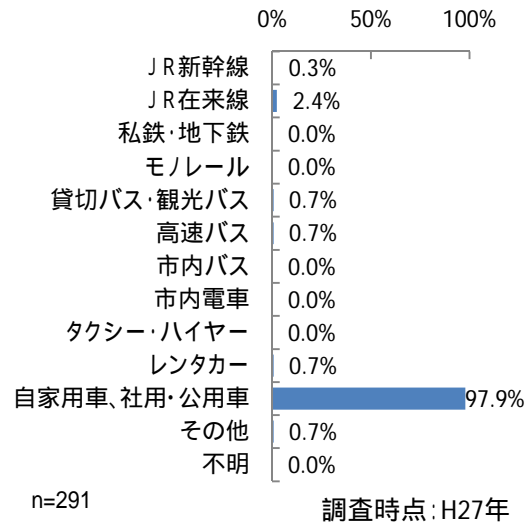


\*すべて複数回答

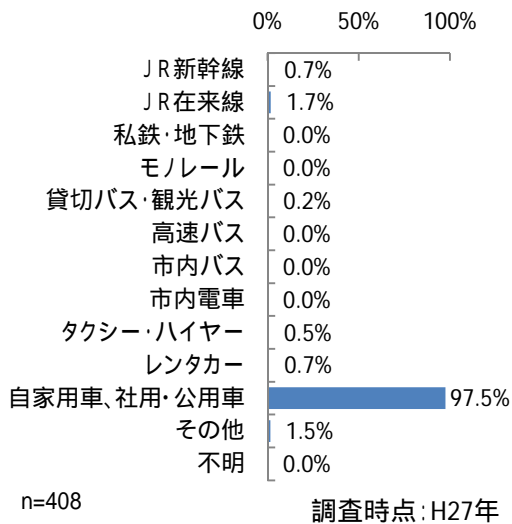
身延山久遠寺



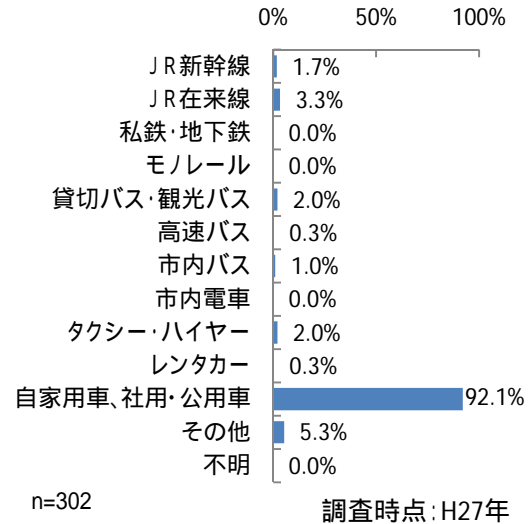
みはらしの丘みたまの湯



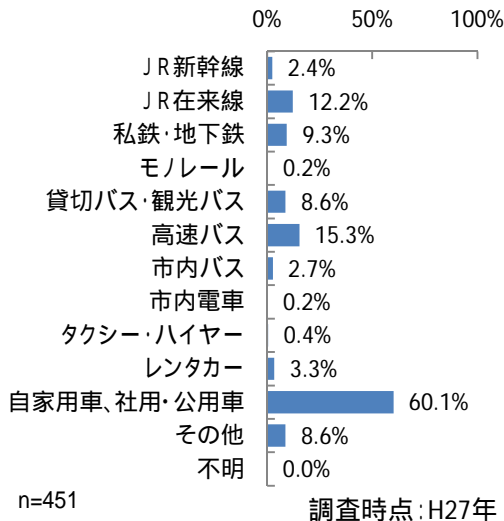
ハヶ岳リゾートアウトレット



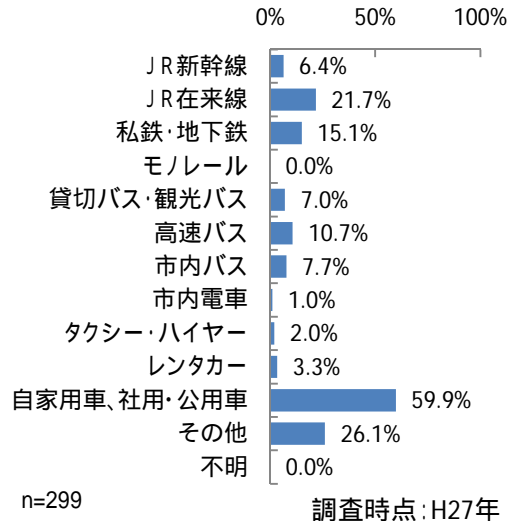
道の駅こぶちさわ



富士急ハイランド



カチカチ山ロープウェイ



\* すべて複数回答



## 県内での観光消費額

本県での観光消費の実態を把握するため、観光客を「パック旅行以外の個人・団体旅行客」と「パック旅行客」に分け、それぞれの観光消費額を分析した。

また、パック旅行以外の旅行客に関しては、さらに「県外からの宿泊客」、「県外からの日帰り客」、「県内からの日帰り客」の3つの属性に分け、項目別にそれぞれの平均観光消費額を求めた。

### A. パック旅行以外の個人・団体旅行客

県外宿泊客、県外及び県内日帰り客別の一人当たり平均観光消費額は、「県外宿泊客」が26,957円、「県外日帰り客」が9,337円、「県内日帰り客」が4,786円となり、全体の平均消費額は、宿泊が27,330円、日帰りが8,000円だった。

季節別に見ると、県外客は宿泊では春、日帰りでは秋が高くなっている。

前年調査と比較すると、宿泊全体の消費額は減少しているものの、日帰り客の消費額は増加しており、観光全体の消費額はやや増加した。

消費額全体の内訳を見ると、「県外宿泊客」は3万円以上が42.7%、2万円以上では72.9%を占めている。「県外日帰り客」は5千円以上～2万円未満が75.3%、「県内日帰り客」は1千円以上3千円未満(33.8%)を中心に1万円未満までで82.5%（「なし」を除く）を占めている。

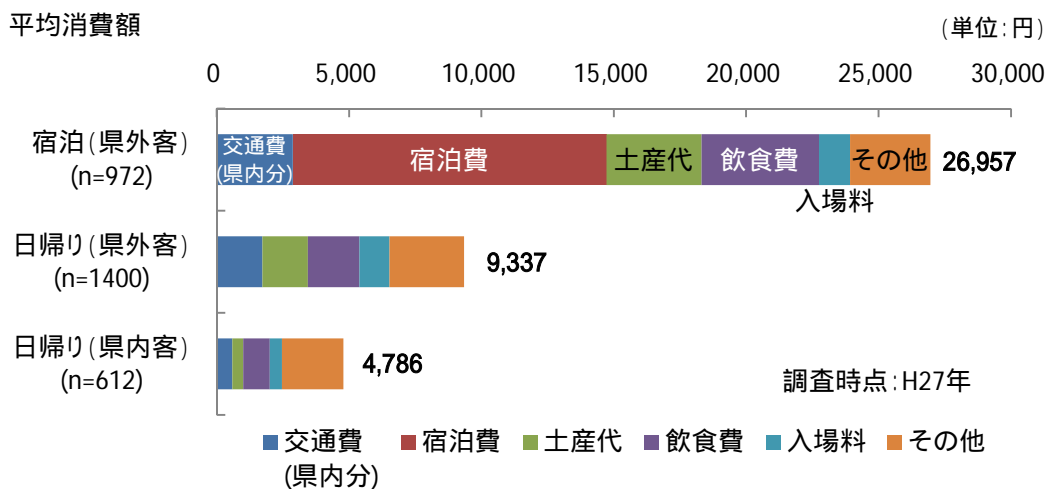
(単位:円)

カテゴリ		冬	春	夏	秋	H27年	H26年
宿泊	県外客	26,657	27,455	26,553	27,179	26,957	27,322
	県内客	26,740	28,402	27,047	27,052	27,330	27,569
日帰り	県外客	8,700	9,447	9,545	9,719	9,337	9,192
	県内客	5,284	4,320	4,402	4,885	4,786	4,644
全体		7,544	8,331	7,891	8,293	8,000	7,592
全体		12,935	15,255	15,569	14,125	14,448	14,401

(単位:円)

調査時点: H27年			交通費 (県内分)	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計	交通費 (県外分)
宿泊	県外客 (n=972)	平均額	2,871	11,848	3,590	4,447	1,167	3,034	26,957	4,644
		中央値	2,000	11,000	3,000	3,000	300	1,000	20,300	2,750
	宿泊全体 (n=1030)	平均額	2,904	12,186	3,624	4,487	1,195	2,934	27,330	4,908
		中央値	2,000	11,000	2,500	3,000	300	500	19,300	2,600
日帰り	県外客 (n=1400)	平均額	1,731	0	1,715	1,949	1,135	2,807	9,337	2,242
		中央値	1,440	0	1,000	1,500	300	0	4,240	1,680
	県内客 (n=612)	平均額	592	0	407	1,008	457	2,323	4,786	9
		中央値	400	0	0	1,000	0	0	1,400	0
	日帰り全体 (n=2048)	平均額	1,415	0	1,316	1,673	968	2,619	8,000	1,544
		中央値	1,000	0	0	1,500	0	0	2,500	1,000
全体 (n=3078)		平均額	1,912	4,076	2,085	2,607	1,044	2,724	14,448	2,666
		中央値	1,445	0	1,000	2,000	0	0	4,445	1,500

全体には、海外客を含み、居住地や宿泊・日帰りの別が不明なものを除く。

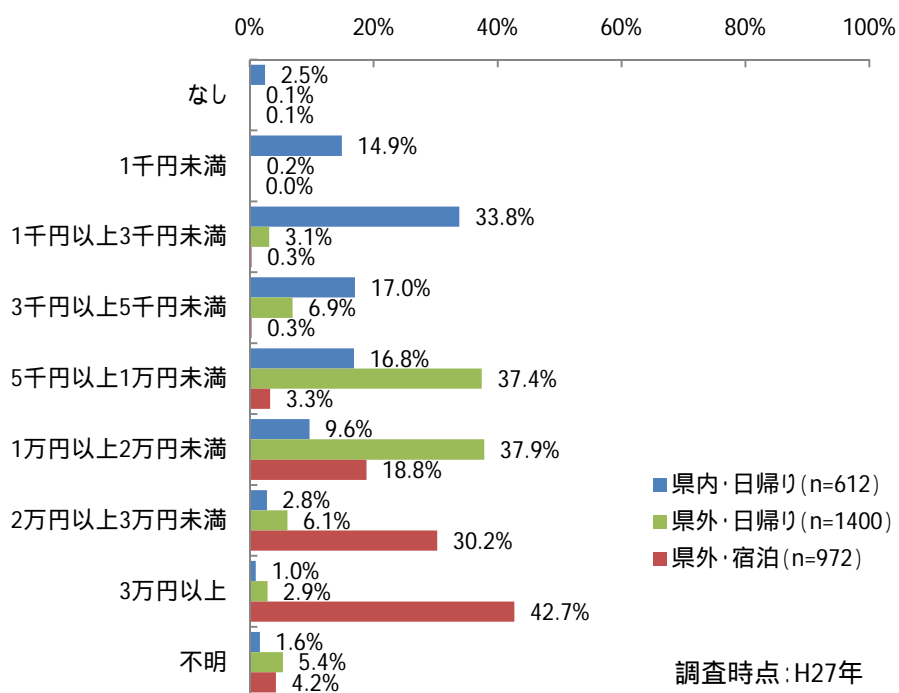


【経年比較】

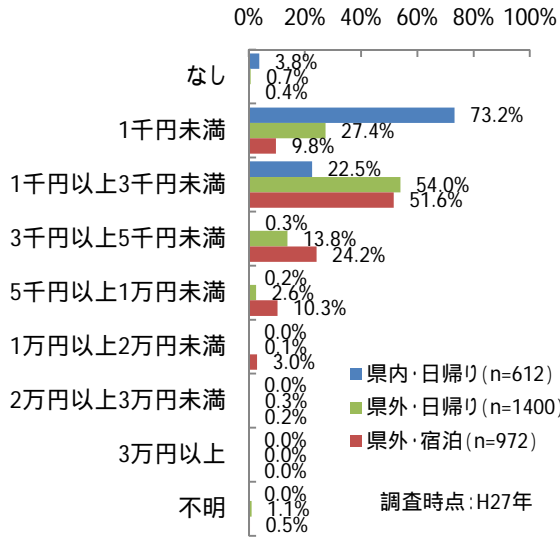
(単位:円)

カテゴリ	H27年 (%入)	H26年 (%入)	比較増減 (円)	
宿泊全体	27,330	27,569	▲ 239	
日帰り	県外客	9,337	9,192	145
	県内客	4,786	4,644	142
	全体	8,000	7,592	408
観光全体	14,448	14,401	47	

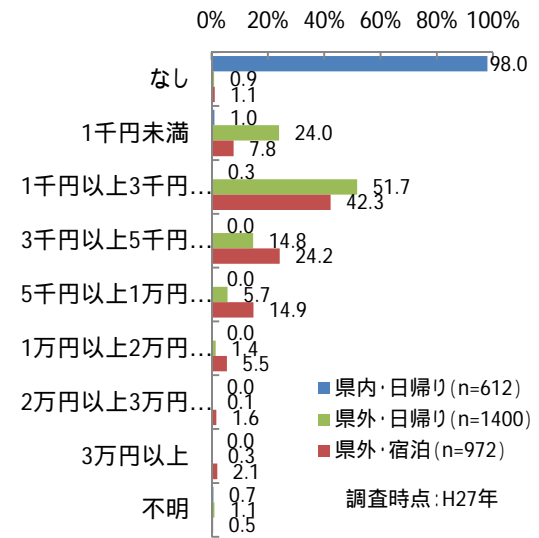
消費額全体【居住地/宿泊・日帰り別】



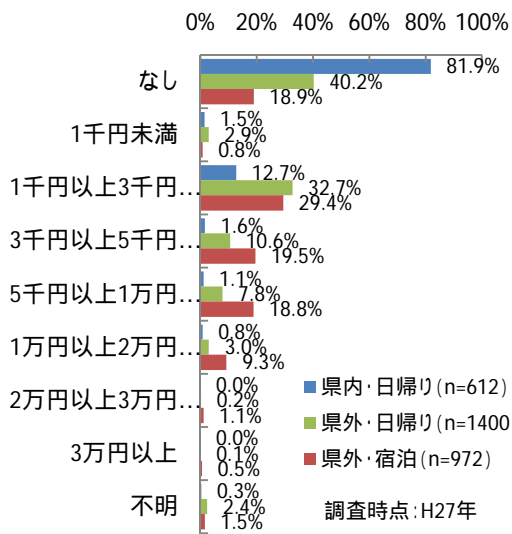
交通費(県内)【居住地/宿泊・日帰り別】



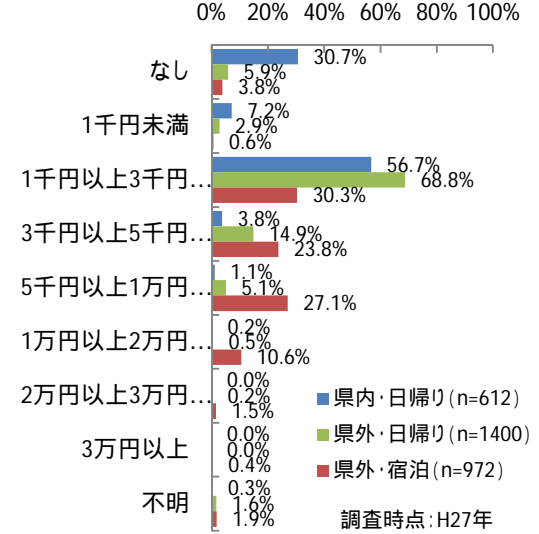
交通費(県外)【居住地/宿泊・日帰り別】



土産代【居住地/宿泊・日帰り別】



飲食費【居住地/宿泊・日帰り別】



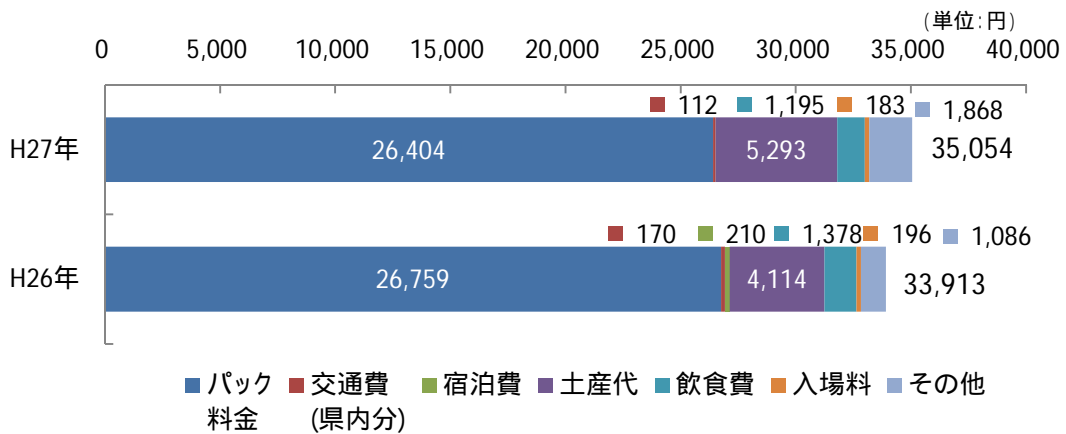
## B. パック旅行者

一人当たり平均観光消費額は、35,054 円であった。パック料金は「1万円未満」(57.8%)が最も高く、次いで、「1万円以上2万円未満」(18.6%)である。パック料金以外の消費額は「1万円未満」(83.9%)が大半を占めている。

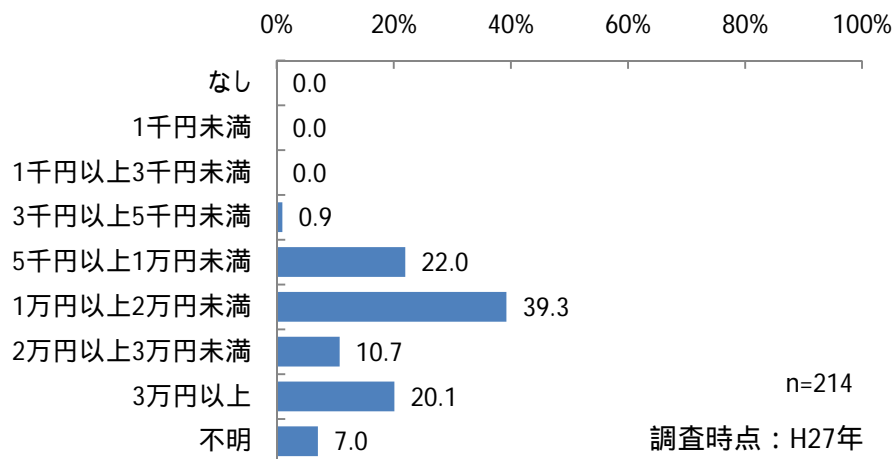
前年調査と比較すると、「土産代」、「その他」で各々約千円増加し、他の項目は若干の減少となったため、一人当たり平均観光消費額は千円ほど増加した。

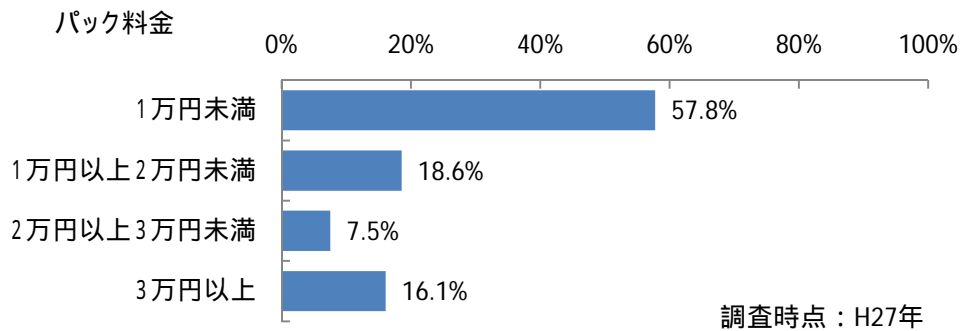
(単位:円)

調査時点: H27年		パック料金	交通費(県内分)	宿泊費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計	交通費(県外分)
全体	平均額	26,404	112	0	5,293	1,195	183	1,868	35,054	47
	中央値	8,800	0	0	3,000	0	0	0	11,800	0
(前年)	平均額	26,759	170	210	4,114	1,378	196	1,086	33,913	369



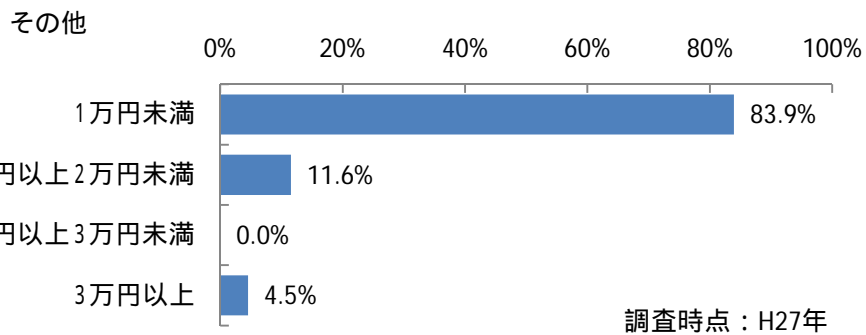
### パック旅行消費額合計





【季節対比・経年比較】

カテゴリ	冬	春	夏	秋	H27年	H26年
平均額(円)	18,560	55,013	32,413	19,150	26,404	26,759
1万円未満	70.9%	42.9%	50.8%	57.8%	57.8%	70.2%
1万円以上2万円未満	10.9%	0.0%	30.5%	20.3%	18.6%	8.5%
2万円以上3万円未満	9.1%	9.5%	1.7%	10.9%	7.5%	9.6%
3万円以上	9.1%	47.6%	16.9%	10.9%	16.1%	11.7%



【季節対比・経年比較】

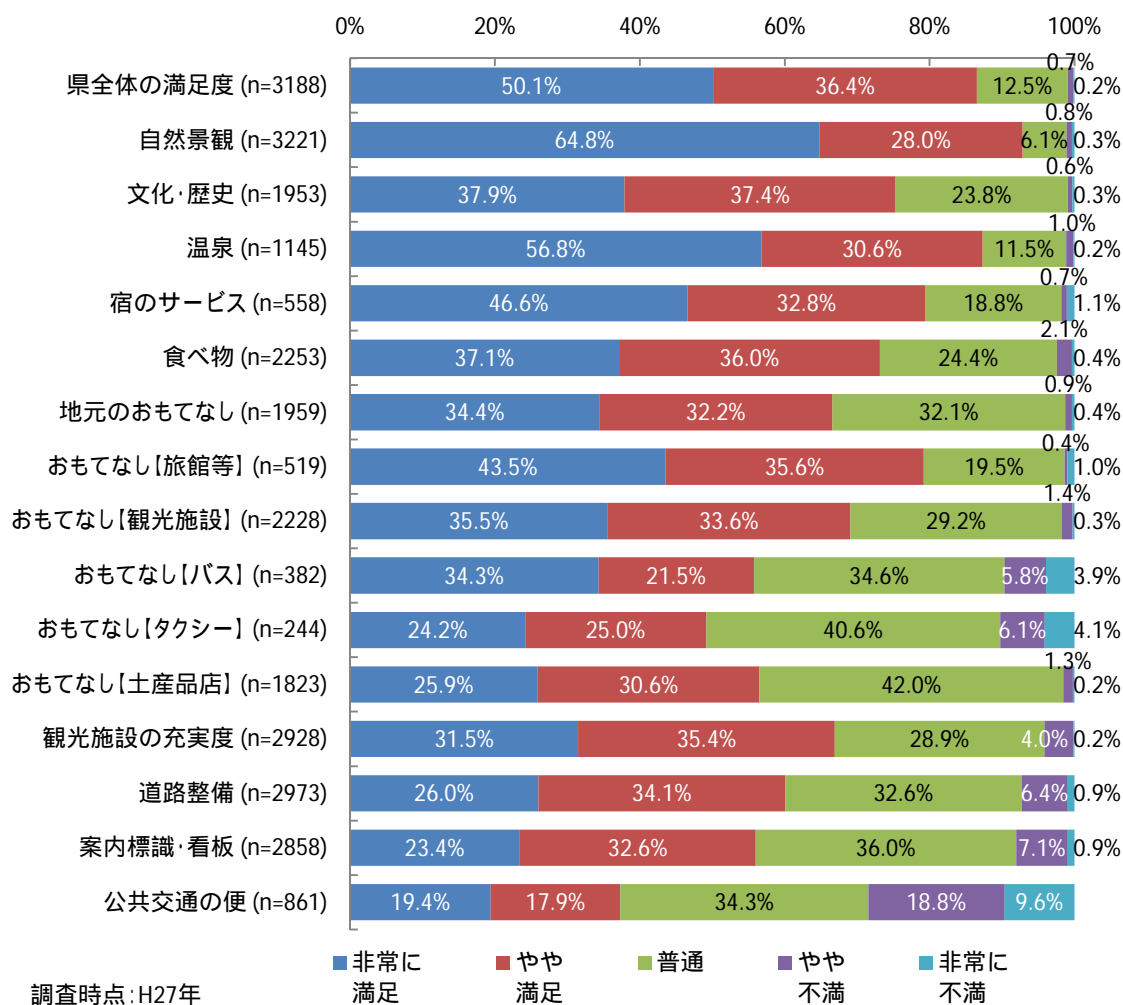
カテゴリ	冬	春	夏	秋	H27年	H26年
平均額(円)	4,203	19,587	9,141	8,065	8,650	7,154
1万円未満	92.7%	71.4%	76.3%	87.5%	83.9%	74.5%
1万円以上2万円未満	7.3%	9.5%	18.6%	9.4%	11.6%	17.0%
2万円以上3万円未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
3万円以上	0.0%	19.0%	5.1%	3.1%	4.5%	4.3%

## 満足度

今回の旅行において、観光客が『満足』と答えた割合（「非常に満足」または「やや満足」と回答した人の割合）が最も高いのは、個別項目では「自然景観」（92.8%）で、次いで「温泉」（87.3%）となっている。なお、「県全体の満足度」について『満足』と答えた割合は86.5%となっている。

一方、『不満』の割合（「非常に不満」または「やや不満」と回答した人の割合）が高いのは、「公共交通の便」（28.5%）、「おもてなし【タクシー】」（10.2%）、「おもてなし【バス】」（9.7%）の順となった。

上記項目について前年調査と比較すると、「県全体の満足度」についての『満足』の割合は5ポイント以上増加している。一方、「おもてなし【タクシー】」についての『不満』の割合も6ポイント以上増加している。



調査時点:H27年	満足	非常に満足	やや満足	普通	不満	やや不満	非常に不満
自然景観 (n=3221)	92.8%	64.8%	28.0%	6.1%	1.1%	0.8%	0.3%
文化・歴史 (n=1953)	75.3%	37.9%	37.4%	23.8%	0.9%	0.6%	0.3%
温泉 (n=1145)	87.3%	56.8%	30.6%	11.5%	1.1%	1.0%	0.2%
宿のサービス (n=558)	79.4%	46.6%	32.8%	18.8%	1.8%	0.7%	1.1%
食べ物 (n=2253)	73.1%	37.1%	36.0%	24.4%	2.4%	2.1%	0.4%
地元のおもてなし (n=1959)	66.6%	34.4%	32.2%	32.1%	1.3%	0.9%	0.4%
おもてなし【旅館等】 (n=519)	79.2%	43.5%	35.6%	19.5%	1.3%	0.4%	1.0%
おもてなし【観光施設】 (n=2228)	69.1%	35.5%	33.6%	29.2%	1.7%	1.4%	0.3%
おもてなし【バス】 (n=382)	55.8%	34.3%	21.5%	34.6%	9.7%	5.8%	3.9%
おもてなし【タクシー】 (n=244)	49.2%	24.2%	25.0%	40.6%	10.2%	6.1%	4.1%
おもてなし【土産品店】 (n=1823)	56.5%	25.9%	30.6%	42.0%	1.5%	1.3%	0.2%
観光施設の充実度 (n=2928)	66.9%	31.5%	35.4%	28.9%	4.2%	4.0%	0.2%
道路整備 (n=2973)	60.1%	26.0%	34.1%	32.6%	7.3%	6.4%	0.9%
案内標識・看板 (n=2858)	56.0%	23.4%	32.6%	36.0%	8.0%	7.1%	0.9%
公共交通の便 (n=861)	37.3%	19.4%	17.9%	34.3%	28.5%	18.8%	9.6%

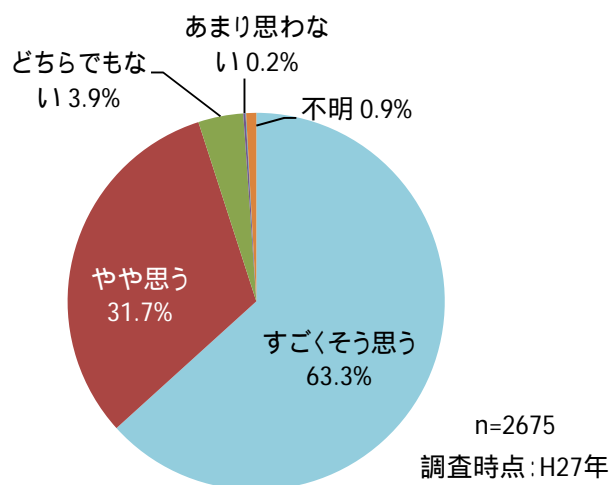
\* 「わからない」及び不明を除く

#### 【経年比較】

カテゴリ	H27年 (%ポイント)	H26年 (%ポイント)	比較増減 (ポイント)
満足			
自然景観 (n=3221)	92.8%	90.6%	2.2
温泉 (n=1145)	87.3%	88.2%	▲ 0.9
県全体の満足度 (n=3188)	86.5%	81.4%	5.1
不満			
公共交通の便 (n=861)	28.5%	31.2%	▲ 2.7
おもてなし【タクシー】 (n=244)	10.2%	3.7%	6.5
おもてなし【バス】 (n=382)	9.7%	13.4%	▲ 3.7

## 再訪希望

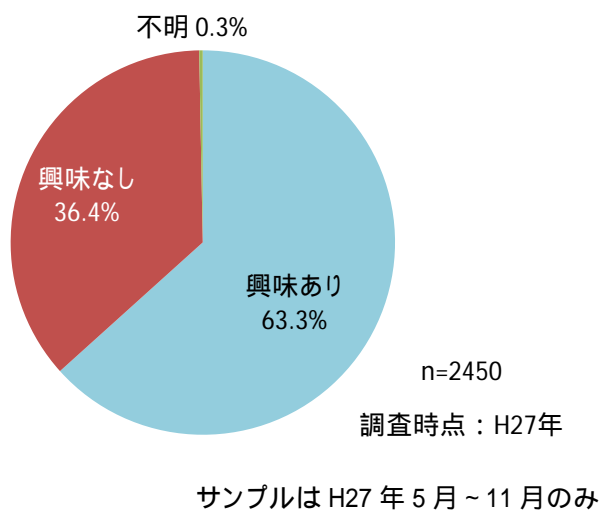
県外・海外からの観光客に山梨再訪の意向についてたずねたところ、「すごくそう思う」(63.3%)、「やや思う」(31.7%)をあわせて95.0%を占めている。





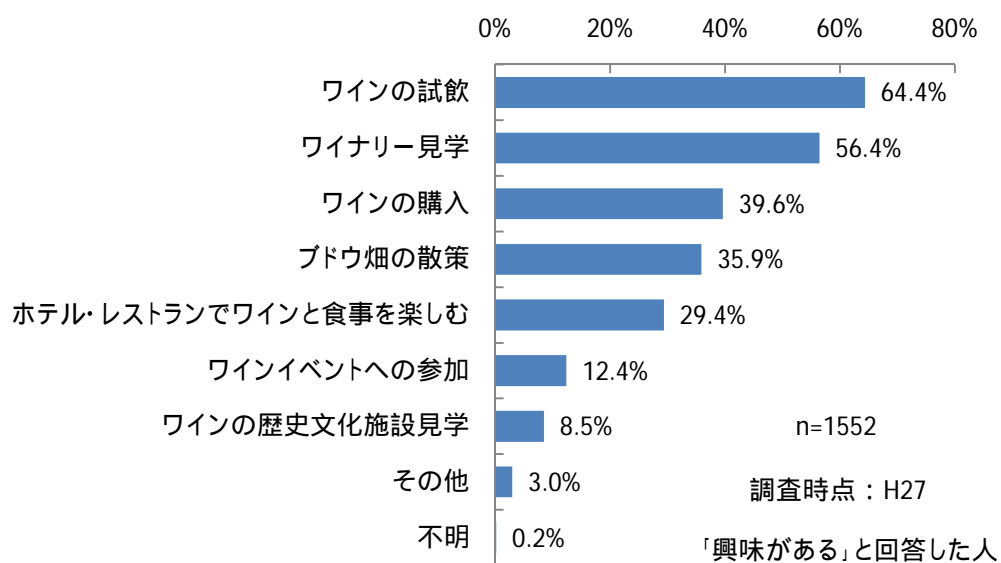
### ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味

ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味をたずねたところ、63.3%が「興味あり」と回答した。



どのようなことに興味がありますか

ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅に興味ありと答えた人に、具体的にどのようなことに興味があるかをたずねたところ、「ワインの試飲」が64.4%と最も高く、次いで「ワイナリー見学」(56.4%)、「ワインの購入」(39.6%)、「ブドウ畑の散策」(35.9%)、「ホテル・レストランでワインと食事を楽しむ」(29.4%)と続いている。



サンプルは H27 年 5 月 ~ 11 月のみ

\* 複数回答

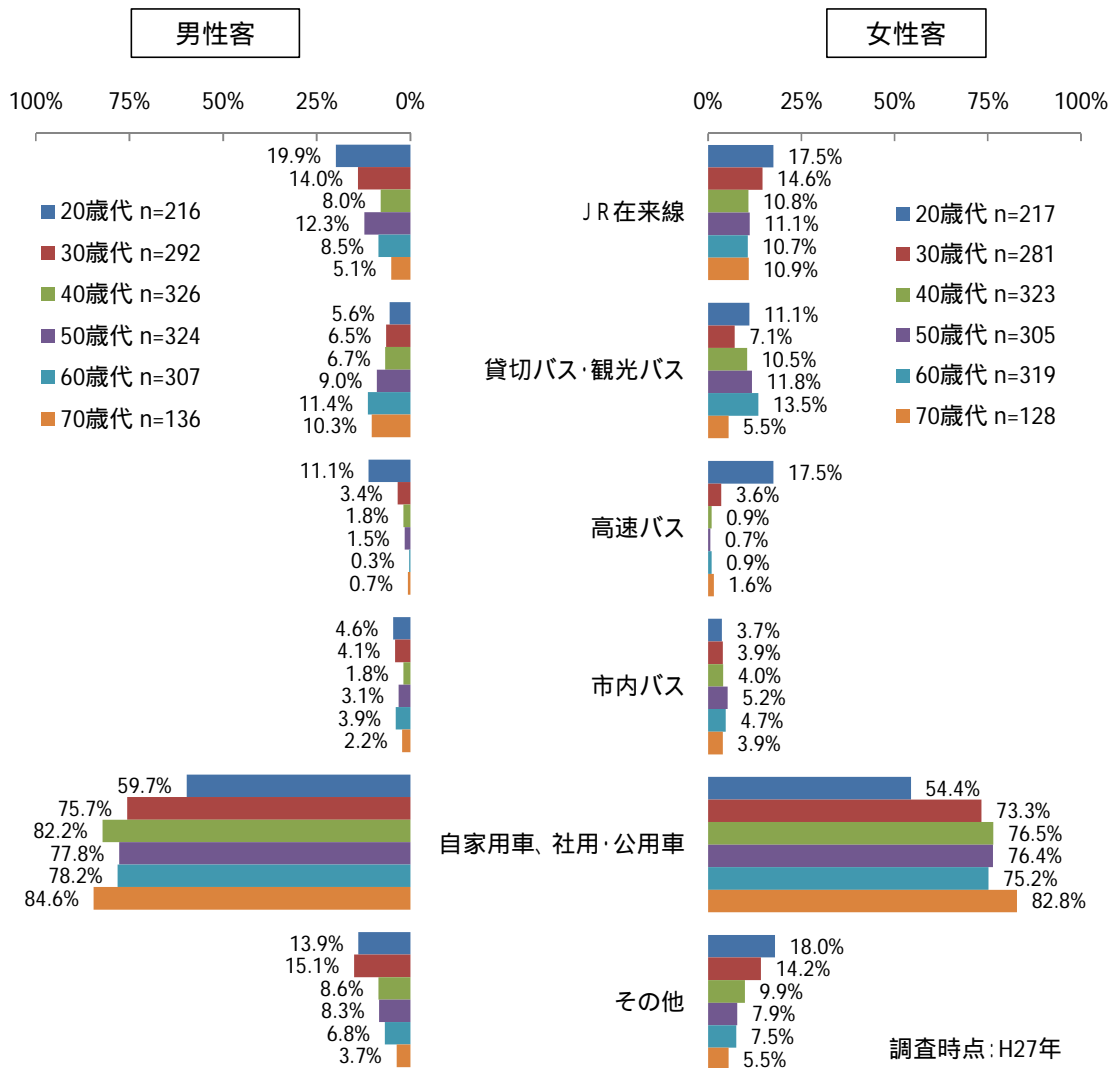
( 2 ) 性別・年代別の観光客の特徴

アンケート回答者の性別及び年代( 20 ~ 70 歳代 )別の観光客の特徴を把握するため、次の項目について分析を行った( 10 歳代、80 歳以上はサンプル数が少ない為除外 )

- 交通手段
- 旅行の主な目的
- 旅行計画の参考資料
- 滞在状況( 日帰り・宿泊 )

交通手段

交通手段は、性別・年代を問わず「自家用車、社用・公用車」が最も高くなっている。また、20 歳代では男女とも「JR 在来線」や「高速バス」の割合が比較的高くなっている。



調査時点: H27年

\* 複数回答

## 旅行の主な目的

旅行目的の上位3項目は、男女ともに「自然を楽しむ」、「温泉を楽しむ」、「ショッピング」となっている。

性別、年代別に見ると、20歳代では男女ともに「行楽(遊園地、観光施設等)」の割合が最も高く、男女ともに30歳代以上で「自然を楽しむ」が最も高くなっている。

男性(H27年)	20歳代 (n=216)	30歳代 (n=292)	40歳代 (n=326)	50歳代 (n=324)	60歳代 (n=307)	70歳代 (n=136)	合計 (n=1649)
自然を楽しむ	25.9%	38.7%	32.8%	39.8%	36.2%	28.7%	34.1%
温泉を楽しむ	19.0%	23.6%	17.5%	25.3%	23.8%	25.7%	22.3%
名所・旧跡・歴史	16.7%	18.5%	20.2%	22.8%	21.8%	18.4%	20.1%
行楽(遊園地、観光施設等)	46.3%	28.4%	21.8%	13.9%	8.1%	3.7%	20.7%
慰安旅行	6.9%	3.4%	1.8%	2.8%	3.9%	0.0%	3.2%
登山・トレッキング	6.5%	1.4%	1.2%	2.2%	2.0%	0.7%	2.2%
スポーツ・レクリエーション	1.4%	5.5%	5.8%	3.4%	2.6%	3.7%	3.9%
収穫体験	0.0%	1.4%	2.5%	3.1%	3.3%	1.5%	2.2%
ものづくり体験	0.9%	0.0%	1.5%	0.6%	0.0%	1.5%	0.7%
ショッピング	15.7%	23.6%	24.5%	23.8%	22.1%	15.4%	21.5%
郷土料理	6.0%	7.9%	4.3%	4.6%	5.5%	4.4%	5.3%
文化・芸術	3.7%	2.7%	3.4%	3.4%	9.4%	21.3%	6.2%
祭り・イベント	2.3%	2.1%	2.1%	2.2%	2.3%	1.5%	2.1%
保養・休養	3.2%	3.4%	3.4%	5.2%	8.8%	6.6%	5.0%
旅先での出会い・交流	1.4%	0.7%	0.3%	1.2%	1.6%	0.7%	1.0%
目的地とは別の立寄り	1.9%	1.7%	4.0%	0.6%	1.0%	0.7%	1.7%
その他	5.6%	7.5%	12.9%	19.4%	17.3%	16.2%	13.3%
不明	2.3%	3.1%	4.0%	2.8%	2.6%	1.5%	2.9%
サンプル数	216	292	326	324	307	136	1,649

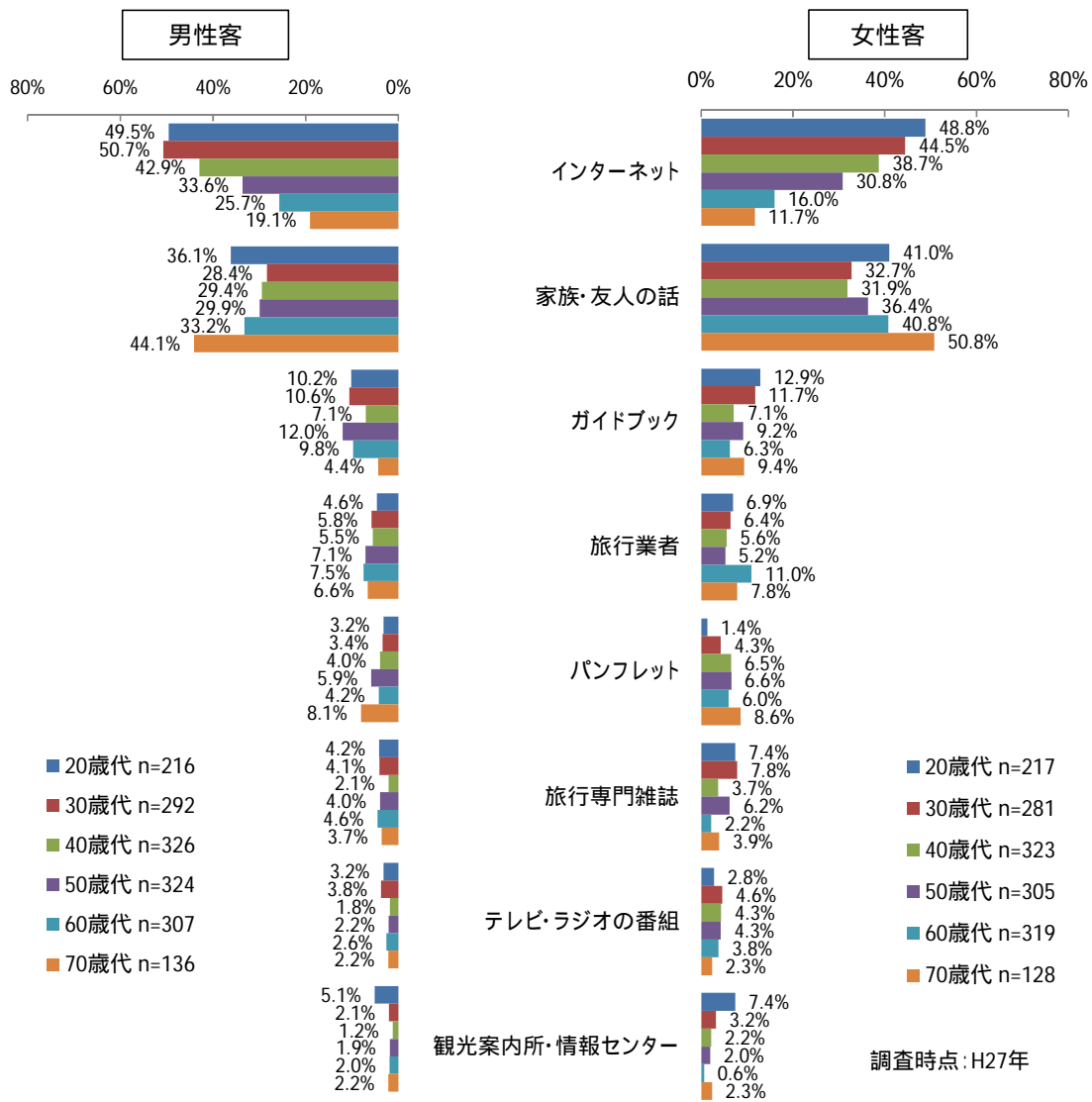
女性(H27年)	20歳代 (n=217)	30歳代 (n=281)	40歳代 (n=323)	50歳代 (n=305)	60歳代 (n=319)	70歳代 (n=128)	合計 (n=1630)
自然を楽しむ	31.3%	34.9%	36.5%	39.0%	35.4%	33.6%	34.9%
温泉を楽しむ	18.0%	22.4%	26.3%	28.9%	26.0%	25.8%	24.6%
名所・旧跡・歴史	15.7%	12.5%	17.6%	19.7%	21.6%	17.2%	17.4%
行楽(遊園地、観光施設等)	42.9%	23.8%	16.1%	7.9%	7.2%	6.3%	17.7%
慰安旅行	4.6%	1.4%	0.9%	0.7%	0.3%	0.8%	1.3%
登山・トレッキング	1.8%	2.5%	1.9%	1.3%	0.9%	1.6%	1.7%
スポーツ・レクリエーション	3.2%	2.8%	3.1%	2.3%	1.9%	1.6%	2.7%
収穫体験	4.6%	5.3%	6.2%	2.3%	1.3%	2.3%	3.6%
ものづくり体験	1.8%	0.7%	0.6%	0.0%	1.3%	0.0%	0.7%
ショッピング	19.4%	29.9%	27.9%	22.3%	20.7%	16.4%	23.4%
郷土料理	3.7%	6.0%	4.0%	3.0%	4.7%	1.6%	3.9%
文化・芸術	5.1%	5.0%	7.4%	10.8%	17.9%	23.4%	10.6%
祭り・イベント	5.1%	5.0%	2.5%	4.9%	6.0%	2.3%	4.4%
保養・休養	5.1%	5.0%	7.4%	7.5%	4.7%	5.5%	5.8%
旅先での出会い・交流	1.8%	2.5%	0.9%	1.3%	0.0%	1.6%	1.2%
目的地とは別の立寄り	0.9%	1.1%	3.1%	2.3%	1.9%	1.6%	1.8%
その他	7.4%	12.1%	15.2%	16.7%	14.1%	15.6%	13.7%
不明	0.9%	1.8%	1.5%	1.0%	0.3%	0.0%	1.0%
サンプル数	217	281	323	305	319	128	1,630

■ 上位3位

\* 複数回答

## 旅行計画の参考資料

旅行計画を立てる際に参考にすることは、男性では20～50歳代で、女性では20～40歳代で「インターネット」の割合が最も高くなっており、その他の年代では男女ともに「家族・友人の話」が最も高くなっている。

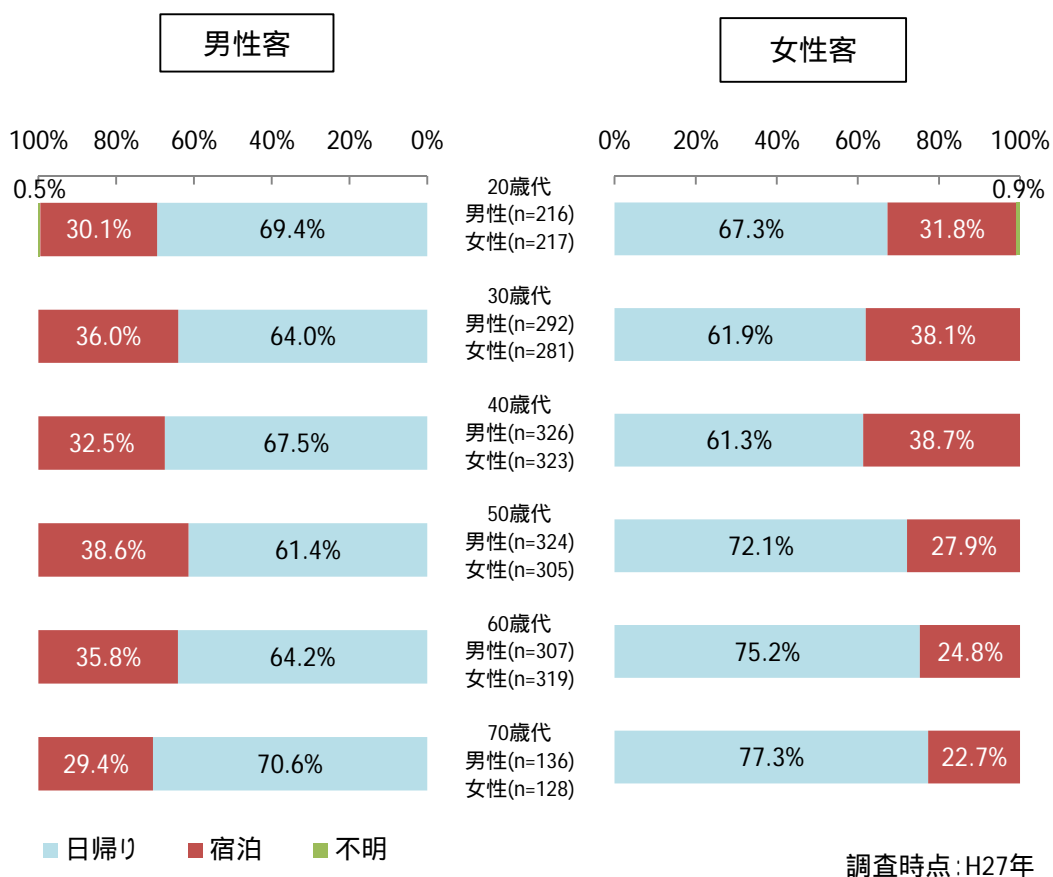


調査時点：H27年

\* 複数回答

滞在状況（日帰り・宿泊）

滞在状況を見ると、宿泊の割合は男性では50歳代（38.6%）が最も高く、70歳代（29.4%）で最も低くなっている。女性では40歳代（38.7%）が最も高く、70歳代（22.7%）で最も低くなっている。



(3) 圏域別の観光客の特徴

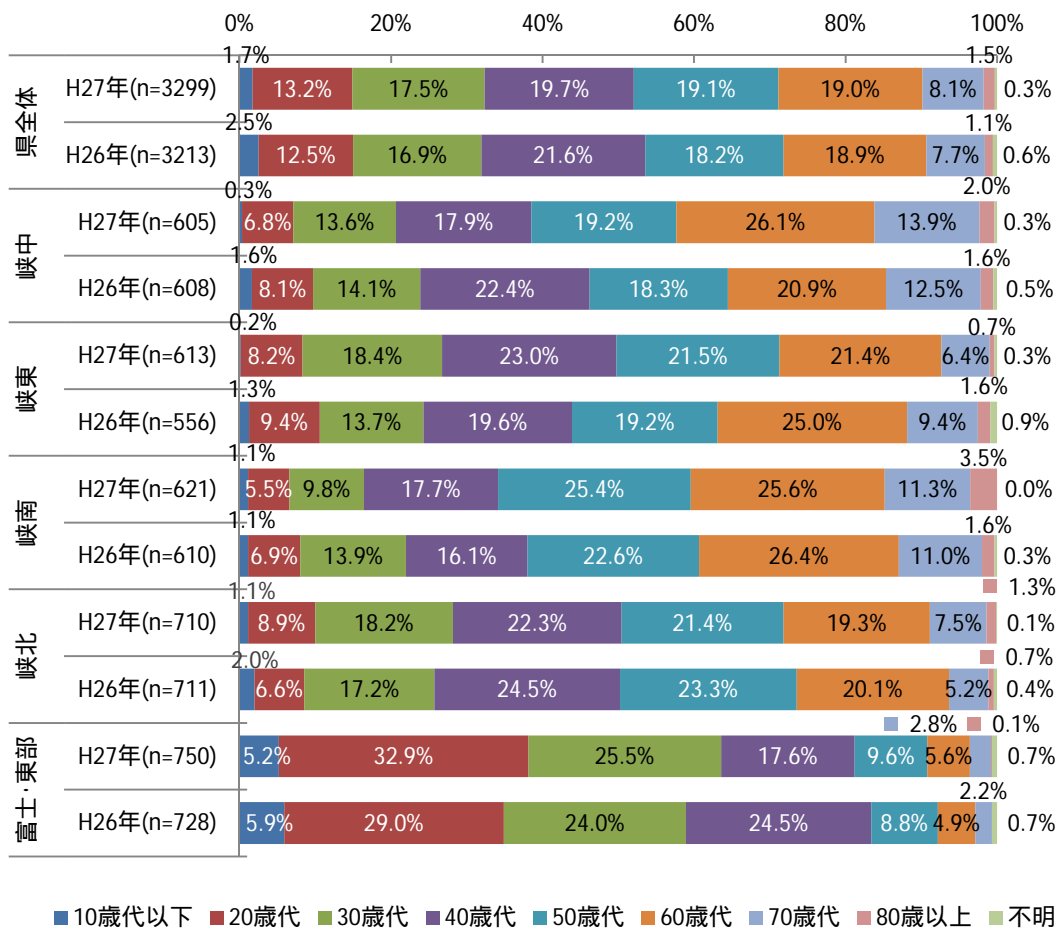
圏域別の観光客の特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- 属性
- 同行者
- グループ形態
- 滞在状況（日帰り・宿泊）
- 満足度

属性

年代層を見ると、「峡南」では50歳以上が65.8%を占め、他の圏域よりも割合が高くなっている。一方、「富士・東部」では40歳以下が81.8%を占めている。

前年調査と比較すると、「峡東」では40歳以下の割合が大きく増加しており、「峡東」、「峡北」以外の圏域では、50歳以上の割合が増加している。

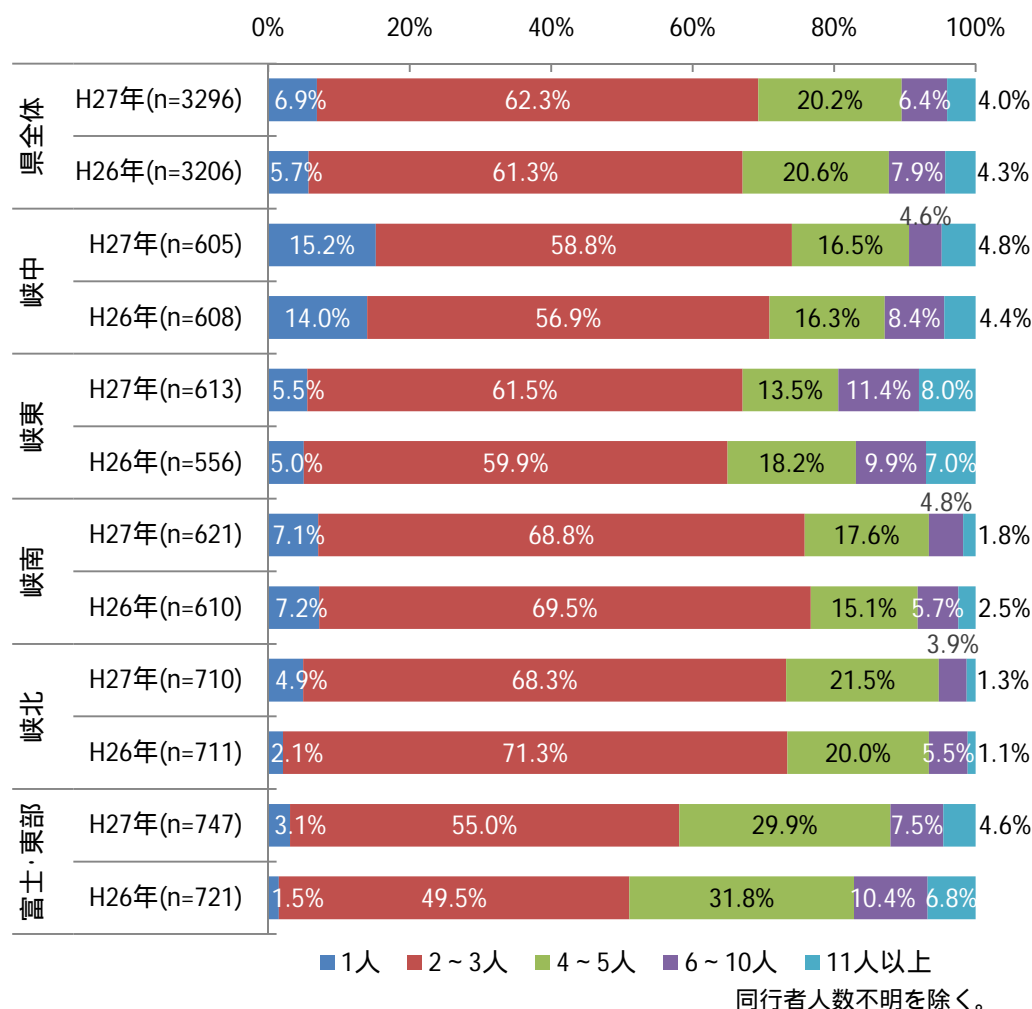


## 同行者

同行人数は、いずれの圏域においても「2～3人」の割合が最も高いが、「富士・東部」では4人以上の割合（42.0%）が他の圏域に比べて高くなっており、「峡中」では「1人」の割合（15.2%）が高くなっている。

前年調査と比較すると、「富士・東部」では3人以下の割合が他の圏域に比べて大きく増加している。

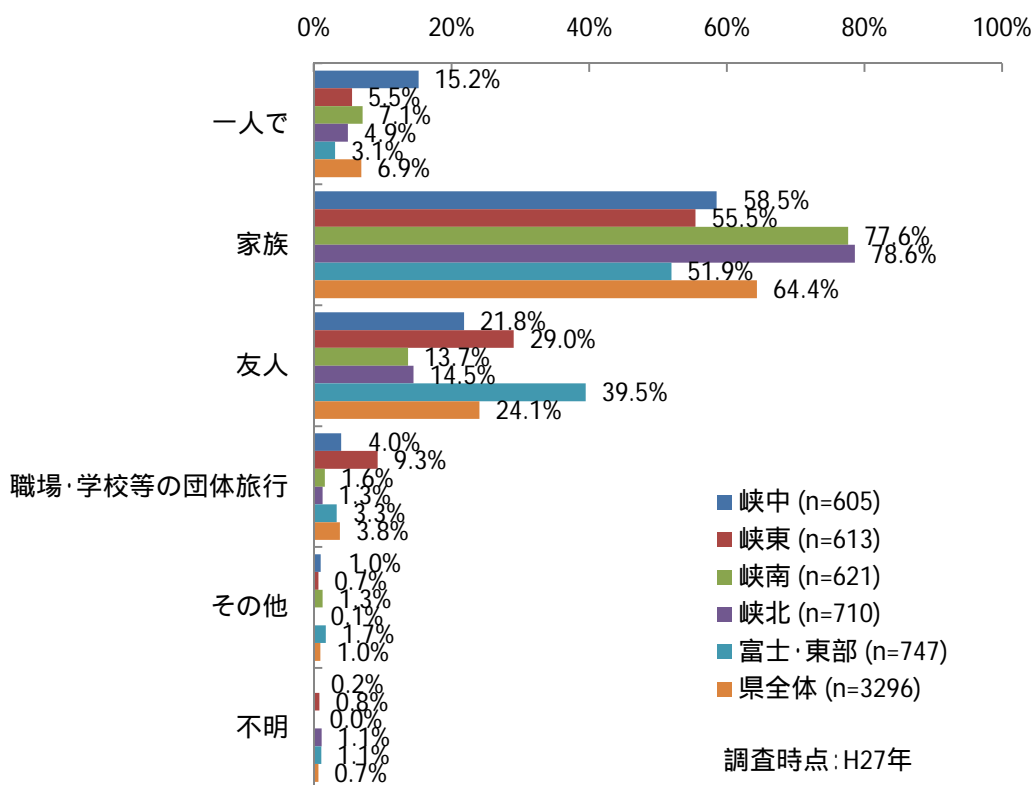
	峡中		峡東		峡南		峡北		富士・東部	
	H27年 (n=605)	H26年 (n=608)	H27年 (n=613)	H26年 (n=556)	H27年 (n=621)	H26年 (n=610)	H27年 (n=710)	H26年 (n=711)	H27年 (n=747)	H26年 (n=721)
1人	15.2%	14.0%	5.5%	5.0%	7.1%	7.2%	4.9%	2.1%	3.1%	1.5%
2～3人	58.8%	56.9%	61.5%	59.9%	68.8%	69.5%	68.3%	71.3%	55.0%	49.5%
4～5人	16.5%	16.3%	13.5%	18.2%	17.6%	15.1%	21.5%	20.0%	29.9%	31.8%
6～10人	4.6%	8.4%	11.4%	9.9%	4.8%	5.7%	3.9%	5.5%	7.5%	10.4%
11人以上	4.8%	4.4%	8.0%	7.0%	1.8%	2.5%	1.3%	1.1%	4.6%	6.8%





## グループ形態

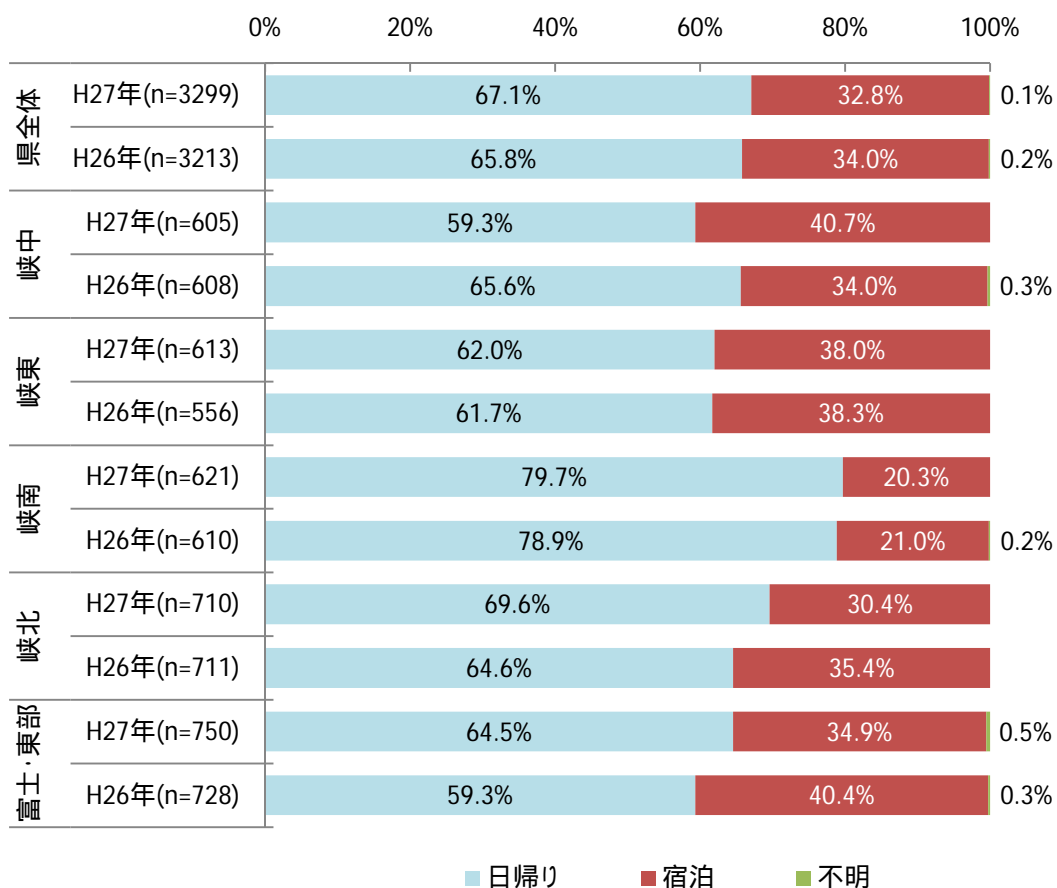
グループ形態は、いずれの圏域も「家族」の割合が最も高くなっており、次いで「友人」と続いている。また、他の圏域に比べて、「峡中」では「一人で」(15.2%)、「峡東」では「職場・学校等の団体旅行」(9.3%)の割合が高くなっている。



### 滞在状況（日帰り・宿泊）

滞在状況（日帰り・宿泊）を見ると、「日帰り」では「峡南」（79.7%）が他圏域に比べて高くなっており、「宿泊」では「峡中」（40.7%）、「峡東」（38.0%）が4割前後を占めている。

前年調査と比較すると、「峡中」以外の全ての圏域で「宿泊」の割合が減少している。

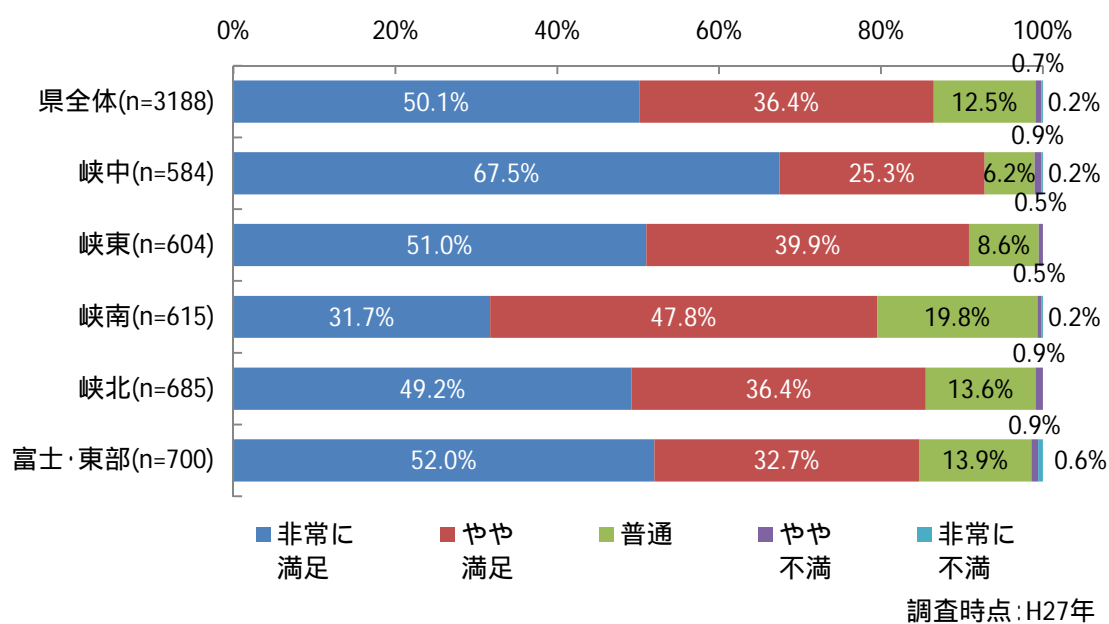


## 満足度

### 山梨県全体

「山梨県全体の満足度」に対して『満足』と回答した割合（「非常に満足」または「やや満足」と回答した人の割合）は、全ての圏域で7割以上となっている。また、「非常に満足」だけを見ると、「峡中」（67.5%）が最も割合が高く、「峡東」、「峡北」、「富士・東部」も4割以上となっているが、「峡南」は31.7%に留まっている。

【山梨県全体の満足度】



#### 峡中

16項目中11項目で『満足』（「非常に満足」＋「やや満足」）と答えた割合が県平均に比べて低くなっており、特に「おもてなし【バス】」、「おもてなし【土産品店】」、「公共交通の便」ではそれぞれ30.0、21.8、19.9ポイント低くなっている。一方、『不満』（「やや不満」＋「非常に不満」）と答えた割合は、「県全体の満足度」、「おもてなし【タクシー】」、「公共交通の便」が県平均と比べて高くなっており、特に「公共交通の便」は16.5ポイント高くなっている。

#### 峡東

16項目中10項目で『満足』と答えた割合が県平均と比べて高くなっており、特に「おもてなし【バス】」では21.8ポイント高くなっている。一方、『不満』と答えた割合は「宿のサービス」、「案内標識・看板」で県平均と比べて高くなっている。

#### 峡南

16項目中9項目で『満足』と答えた割合が県平均と比べて低くなっており、特に「おもてなし【バス】」、「おもてなし【タクシー】」、「公共交通の便」でそれぞれ22.0、17.0、22.1ポイント低くなっている。一方、『不満』と答えた割合は「おもてなし【土産品店】」、「道路整備」、「案内標識・看板」、「公共交通の便」で県平均と比べて高くなっている。

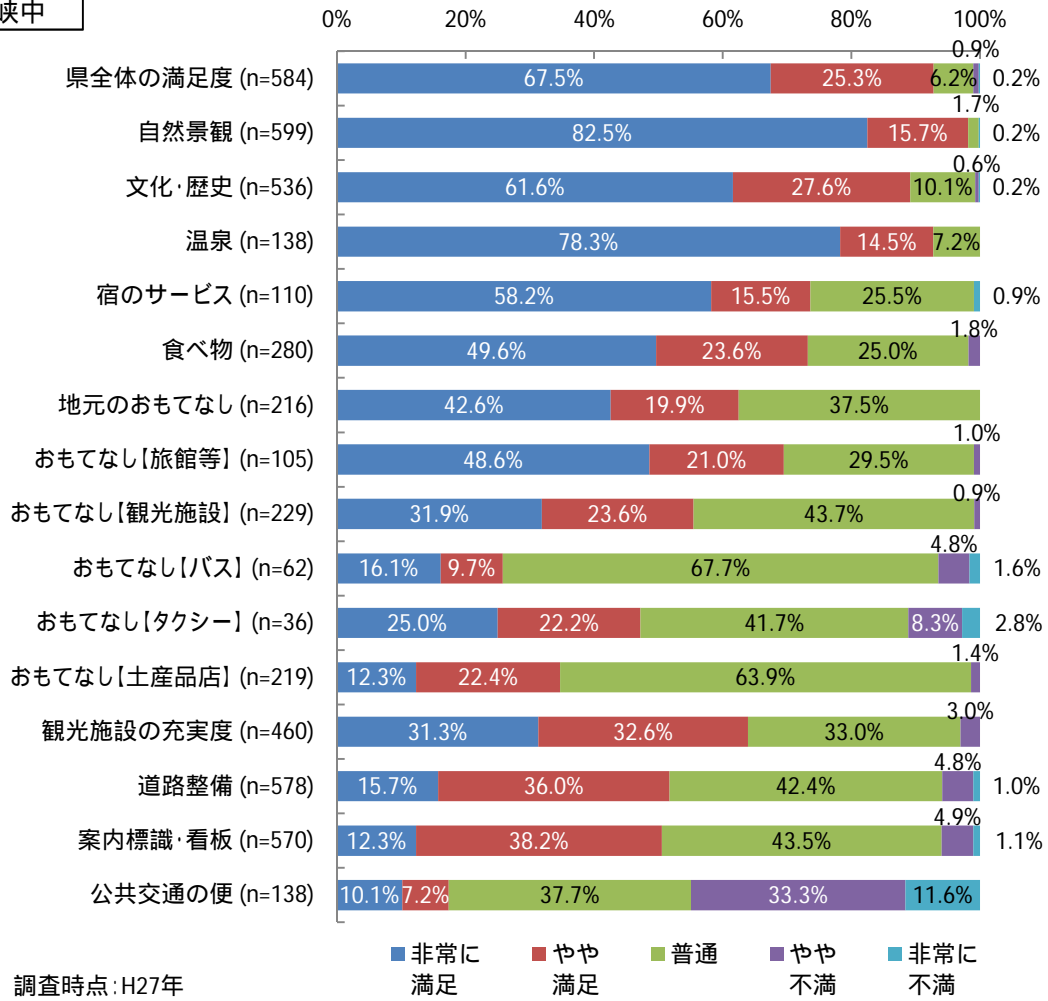
#### 峡北

16項目中12項目で『満足』と答えた割合が県平均と比べて低くなっており、特に「おもてなし【バス】」、「おもてなし【タクシー】」でそれぞれ18.2、20.6ポイント低くなっている。一方、『不満』と答えた割合は「文化・歴史」、「温泉」、「おもてなし【バス】」、「おもてなし【タクシー】」、「観光施設の充実度」、「公共交通の便」で県平均と比べて高くなっており、特に「おもてなし【バス】」、「おもてなし【タクシー】」、「公共交通の便」でそれぞれ24.7、18.3、12.3ポイント高くなっている。

#### 富士・東部

16項目中11項目で『満足』と答えた割合が県平均と比べて高くなっており、特に、「おもてなし【バス】」、「おもてなし【タクシー】」、「公共交通の便」でそれぞれ15.7、19.2、20.0ポイント高くなっている。一方、『不満』と答えた割合は、「おもてなし【タクシー】」、「観光施設の充実度」、「公共交通の便」以外の項目で県平均と比べて高くなっている。

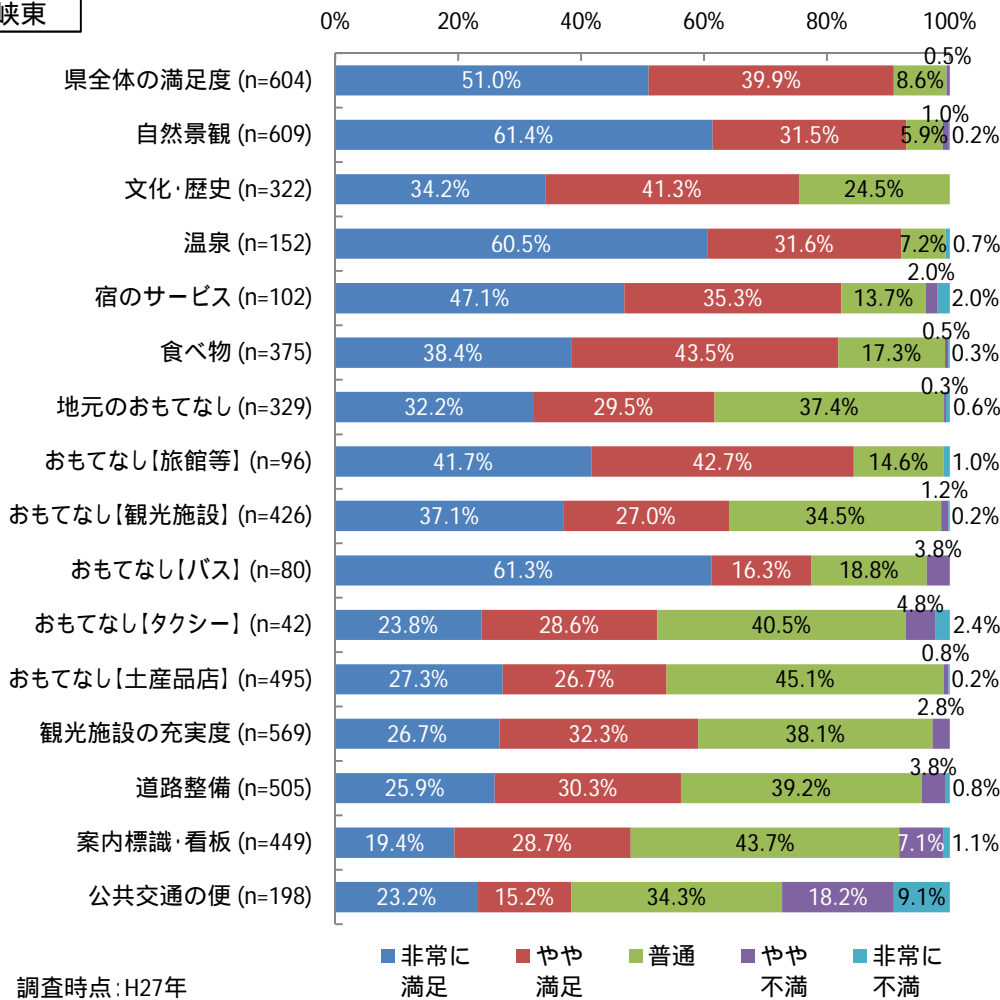
峡中



【峡中】県全体との比較	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=584)	6.2	17.3	-11.1	-6.4	0.1	0.1	0.0
自然景観 (n=599)	5.4	17.7	-12.3	-4.4	-1.0	-0.8	-0.2
文化・歴史 (n=536)	13.9	23.7	-9.8	-13.7	-0.2	-0.1	-0.1
温泉 (n=138)	5.4	21.5	-16.1	-4.3	-1.2	-1.0	-0.2
宿のサービス (n=110)	-5.7	11.6	-17.3	6.6	-0.9	-0.7	-0.2
食べ物 (n=280)	0.0	12.5	-12.5	0.6	-0.7	-0.3	-0.4
地元のおもてなし (n=216)	-4.1	8.2	-12.3	5.4	-1.3	-0.9	-0.4
おもてなし【旅館等】 (n=105)	-9.7	5.0	-14.7	10.1	-0.4	0.6	-1.0
おもてなし【観光施設】 (n=229)	-13.6	-3.6	-10.0	14.4	-0.9	-0.6	-0.3
おもてなし【バス】 (n=62)	-30.0	-18.2	-11.8	33.2	-3.2	-0.9	-2.3
おもてなし【タクシー】 (n=36)	-2.0	0.8	-2.8	1.1	0.9	2.2	-1.3
おもてなし【土産品店】 (n=219)	-21.8	-13.6	-8.2	22.0	-0.1	0.1	-0.2
観光施設の充実度 (n=460)	-3.0	-0.2	-2.8	4.1	-1.2	-1.0	-0.2
道路整備 (n=578)	-8.4	-10.3	1.9	9.8	-1.4	-1.5	0.1
案内標識・看板 (n=570)	-5.4	-11.1	5.7	7.5	-2.1	-2.2	0.1
公共交通の便 (n=138)	-19.9	-9.3	-10.6	3.4	16.5	14.5	2.0

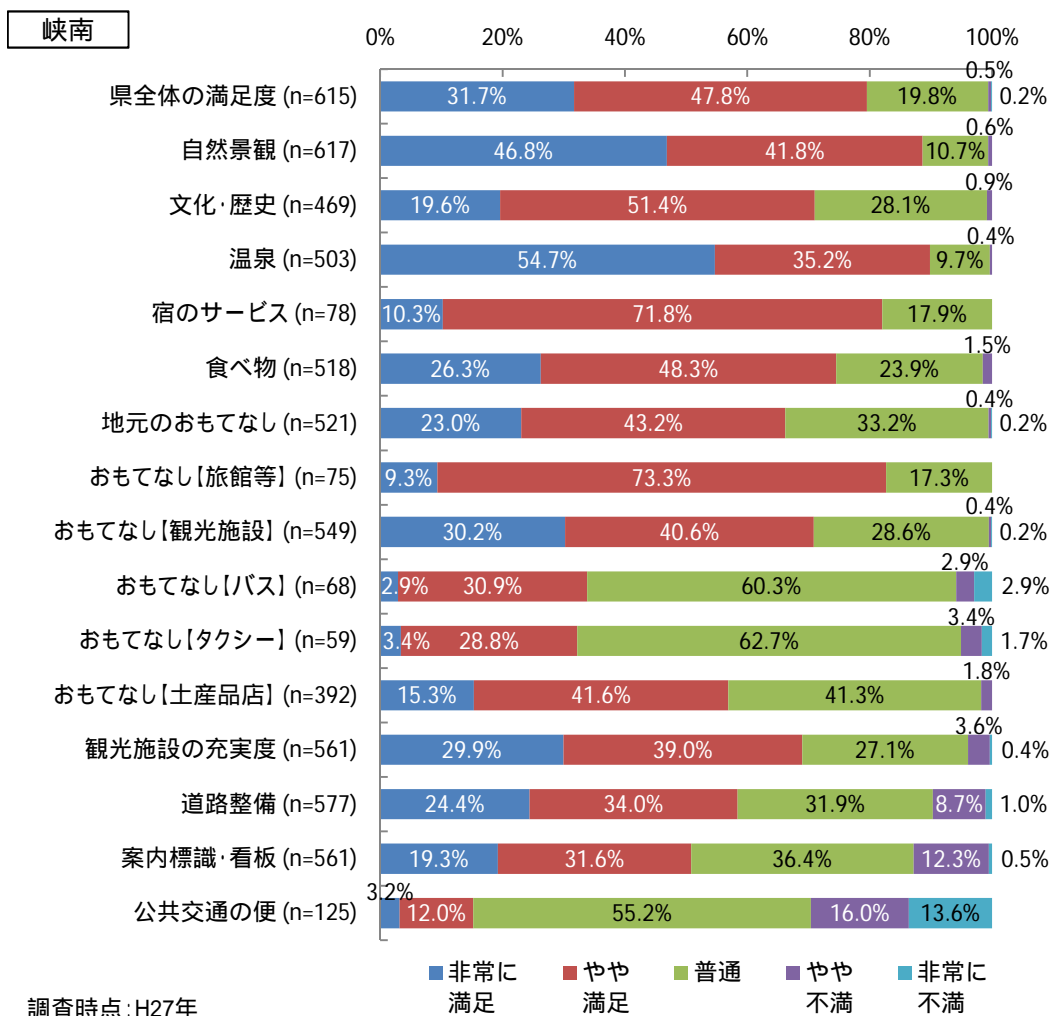


峡東



【峡東】県全体との比較	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=604)	4.4	0.9	3.5	-3.9	-0.4	-0.2	-0.2
自然景観 (n=609)	0.1	-3.4	3.5	-0.1	0.0	0.2	-0.2
文化・歴史 (n=322)	0.2	-3.7	3.9	0.8	-0.9	-0.6	-0.3
温泉 (n=152)	4.8	3.8	1.0	-4.3	-0.5	-1.0	0.5
宿のサービス (n=102)	3.0	0.5	2.5	-5.1	2.1	1.2	0.9
食べ物 (n=375)	8.7	1.3	7.4	-7.1	-1.7	-1.6	-0.1
地元のおもてなし (n=329)	-4.9	-2.2	-2.7	5.3	-0.3	-0.6	0.3
おもてなし【旅館等】 (n=96)	5.2	-1.9	7.1	-4.9	-0.3	-0.4	0.1
おもてなし【観光施設】 (n=426)	-5.0	1.6	-6.6	5.3	-0.3	-0.3	0.0
おもてなし【バス】 (n=80)	21.8	27.0	-5.2	-15.8	-5.9	-2.0	-3.9
おもてなし【タクシー】 (n=42)	3.2	-0.4	3.6	-0.1	-3.1	-1.4	-1.7
おもてなし【土産品店】 (n=495)	-2.5	1.4	-3.9	3.1	-0.5	-0.5	0.0
観光施設の充実度 (n=569)	-7.9	-4.8	-3.1	9.2	-1.4	-1.2	-0.2
道路整備 (n=505)	-3.9	-0.1	-3.8	6.6	-2.7	-2.6	-0.1
案内標識・看板 (n=449)	-7.8	-4.0	-3.8	7.7	0.2	0.0	0.2
公共交通の便 (n=198)	1.1	3.8	-2.7	0.1	-1.1	-0.6	-0.5

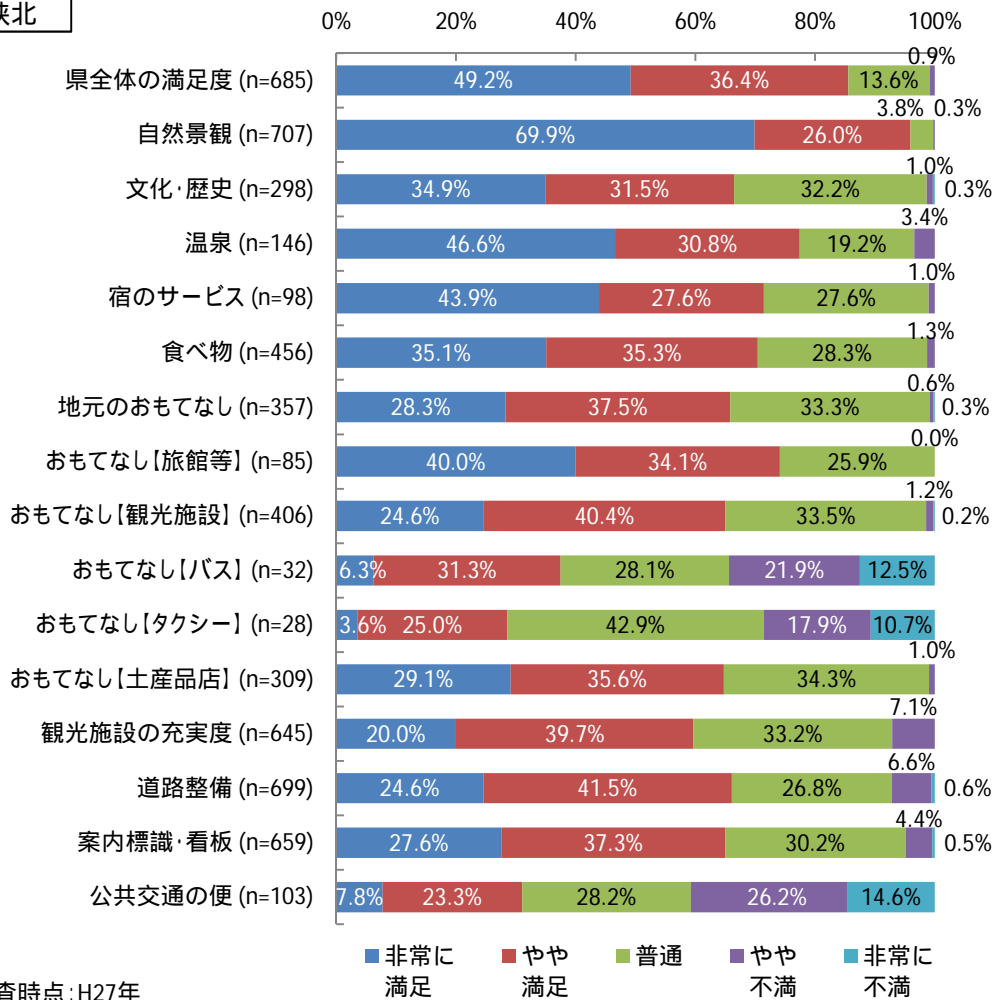
+10ポイント以上  
0ポイントより大きく+10ポイント未満
-10ポイント以下  
-10ポイントより大きく0ポイント以下



【峡南】県全体との比較	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=615)	-7.0	-18.4	11.4	7.3	-0.2	-0.2	0.0
自然景観 (n=617)	-4.2	-18.0	13.8	4.6	-0.4	-0.1	-0.3
文化・歴史 (n=469)	-4.3	-18.3	14.0	4.4	-0.1	0.2	-0.3
温泉 (n=503)	2.5	-2.1	4.6	-1.8	-0.8	-0.6	-0.2
宿のサービス (n=78)	2.7	-36.3	39.0	-0.9	-1.8	-0.7	-1.1
食べ物 (n=518)	1.3	-10.9	12.2	-0.5	-0.9	-0.5	-0.4
地元のおもてなし (n=521)	-0.4	-11.4	11.0	1.1	-0.7	-0.5	-0.2
おもてなし【旅館等】 (n=75)	3.5	-34.2	37.7	-2.1	-1.4	-0.4	-1.0
おもてなし【観光施設】 (n=549)	1.7	-5.3	7.0	-0.6	-1.2	-1.1	-0.1
おもてなし【バス】 (n=68)	-22.0	-31.4	9.4	25.7	-3.8	-2.8	-1.0
おもてなし【タクシー】 (n=59)	-17.0	-20.8	3.8	22.1	-5.2	-2.8	-2.4
おもてなし【土産品店】 (n=392)	0.4	-10.6	11.0	-0.6	0.3	0.5	-0.2
観光施設の充実度 (n=561)	2.1	-1.5	3.6	-1.8	-0.2	-0.4	0.2
道路整備 (n=577)	-1.7	-1.6	-0.1	-0.7	2.4	2.3	0.1
案内標識・看板 (n=561)	-5.2	-4.2	-1.0	0.4	4.8	5.2	-0.4
公共交通の便 (n=125)	-22.1	-16.2	-5.9	20.9	1.2	-2.8	4.0

■ +10ポイント以上  
 ■ 0ポイントより大きく+10ポイント未満  
 ■ -10ポイント以下  
 ■ -10ポイントより大きく0ポイント以下

峡北



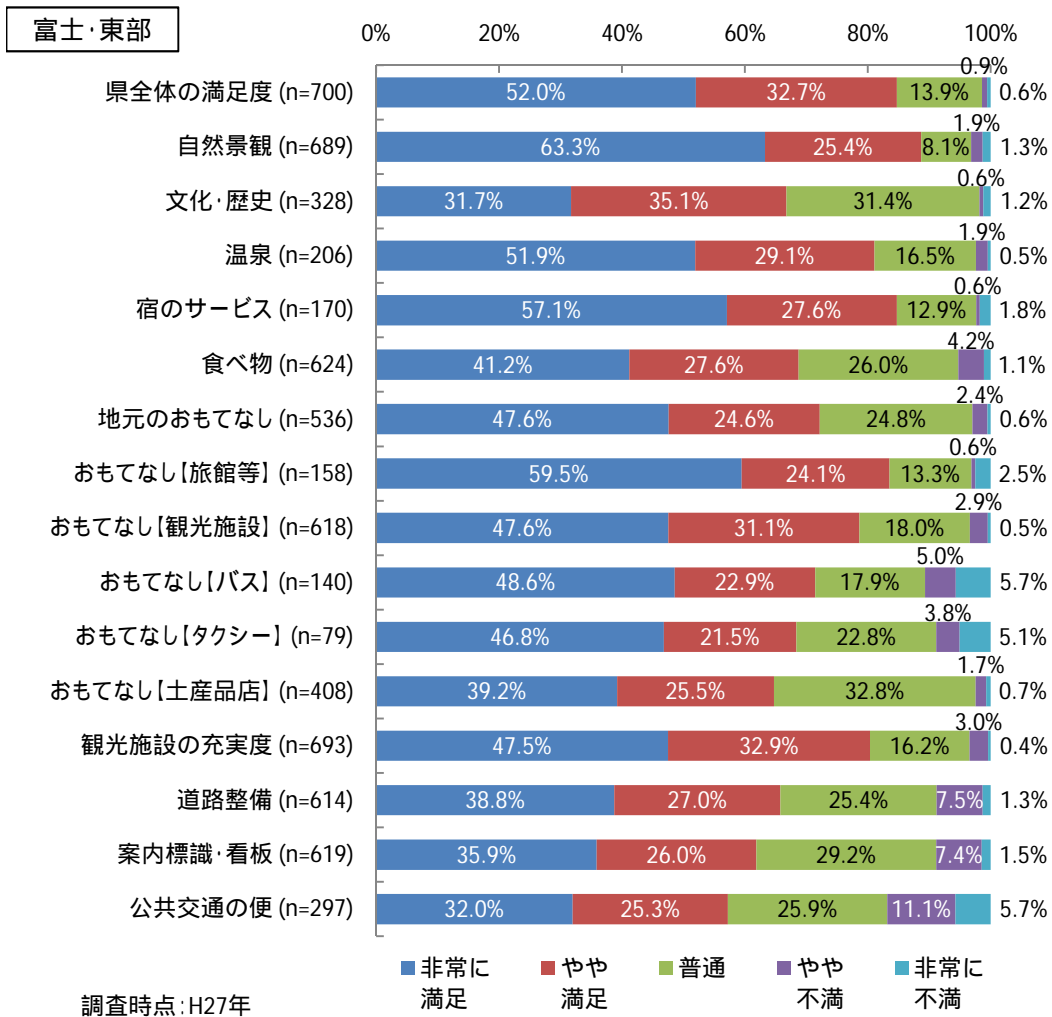
調査時点：H27年

【峡北】県全体との比較	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=685)	-1.0	-0.9	-0.1	1.0	0.0	0.2	-0.2
自然景観 (n=707)	3.1	5.1	-2.0	-2.2	-0.8	-0.5	-0.3
文化・歴史 (n=298)	-8.9	-3.0	-5.9	8.5	0.4	0.4	0.0
温泉 (n=146)	-9.9	-10.2	0.3	7.6	2.3	2.5	-0.2
宿のサービス (n=98)	-7.9	-2.7	-5.2	8.7	-0.8	0.3	-1.1
食べ物 (n=456)	-2.7	-2.0	-0.7	3.9	-1.2	-0.8	-0.4
地元のおもてなし (n=357)	-0.8	-6.1	5.3	1.2	-0.5	-0.4	-0.1
おもてなし【旅館等】 (n=85)	-5.0	-3.5	-1.5	6.4	-1.4	-0.4	-1.0
おもてなし【観光施設】 (n=406)	-4.1	-10.9	6.8	4.3	-0.2	-0.2	0.0
おもてなし【バス】 (n=32)	-18.2	-28.0	9.8	-6.4	24.7	16.1	8.6
おもてなし【タクシー】 (n=28)	-20.6	-20.6	0.0	2.3	18.3	11.7	6.6
おもてなし【土産品店】 (n=309)	8.2	3.2	5.0	-7.7	-0.5	-0.3	-0.2
観光施設の充実度 (n=645)	-7.2	-11.5	4.3	4.3	2.9	3.1	-0.2
道路整備 (n=699)	6.0	-1.4	7.4	-5.9	-0.2	0.2	-0.4
案内標識・看板 (n=659)	9.0	4.2	4.8	-5.8	-3.2	-2.7	-0.5
公共交通の便 (n=103)	-6.2	-11.6	5.4	-6.1	12.3	7.4	4.9

+10ポイント以上  
0ポイントより大きく+10ポイント未満

-10ポイント以下  
-10ポイントより大きく0ポイント以下





【富士・東部】県全体との比較	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
県全体の満足度 (n=700)	-1.8	1.9	-3.7	1.3	0.5	0.1	0.4
自然景観 (n=689)	-4.1	-1.5	-2.6	2.1	2.1	1.1	1.0
文化・歴史 (n=328)	-8.6	-6.2	-2.4	7.6	0.9	-0.0	0.9
温泉 (n=206)	-6.2	-4.8	-1.4	5.0	1.3	1.0	0.3
宿のサービス (n=170)	5.4	10.5	-5.1	-5.9	0.6	-0.1	0.7
食べ物 (n=624)	-4.4	4.1	-8.5	1.5	2.9	2.1	0.8
地元のおもてなし (n=536)	5.6	13.2	-7.6	-7.3	1.7	1.5	0.2
おもてなし【旅館等】 (n=158)	4.3	15.9	-11.6	-6.2	1.8	0.2	1.6
おもてなし【観光施設】 (n=618)	9.6	12.1	-2.5	-11.3	1.7	1.5	0.2
おもてなし【バス】 (n=140)	15.7	14.3	1.4	-16.7	1.0	-0.8	1.8
おもてなし【タクシー】 (n=79)	19.2	22.7	-3.5	-17.8	-1.4	-2.4	1.0
おもてなし【土産品店】 (n=408)	8.2	13.3	-5.1	-9.1	0.9	0.4	0.5
観光施設の充実度 (n=693)	13.5	16.0	-2.5	-12.8	-0.7	-1.0	0.3
道路整備 (n=614)	5.8	12.8	-7.0	-7.2	1.5	1.1	0.4
案内標識・看板 (n=619)	5.9	12.5	-6.6	-6.7	0.8	0.3	0.5
公共交通の便 (n=297)	20.0	12.6	7.4	-8.3	-11.6	-7.7	-3.9

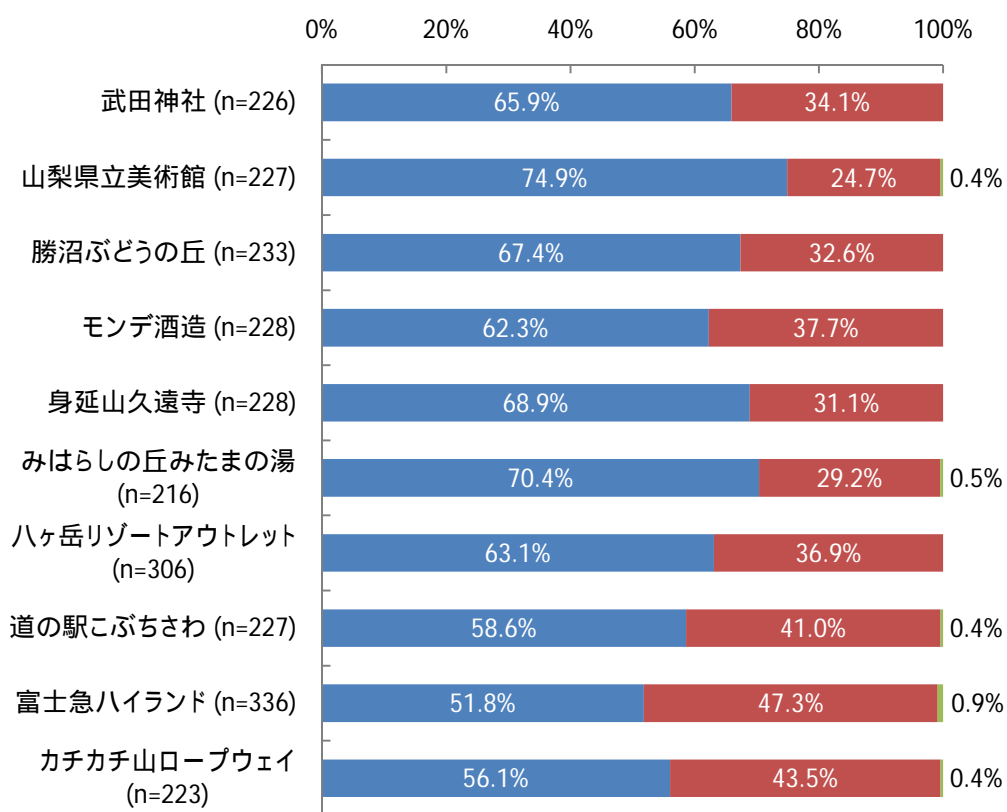
+10ポイント以上  
0ポイントより大きく+10ポイント未満
-10ポイント以下  
-10ポイントより大きく0ポイント以下

(4) ブドウ畑の景観やワイナリーを巡る旅への興味別の特徴

調査地点

「興味あり」は、「山梨県立美術館」で最も高く74.9%、次いで「みはらしの丘みたまの湯」の70.4%であった。

一方、「興味なし」は「富士急ハイランド」で最も高く47.3%、次いで「カチカチ山ロープウェイ」の43.5%であった。



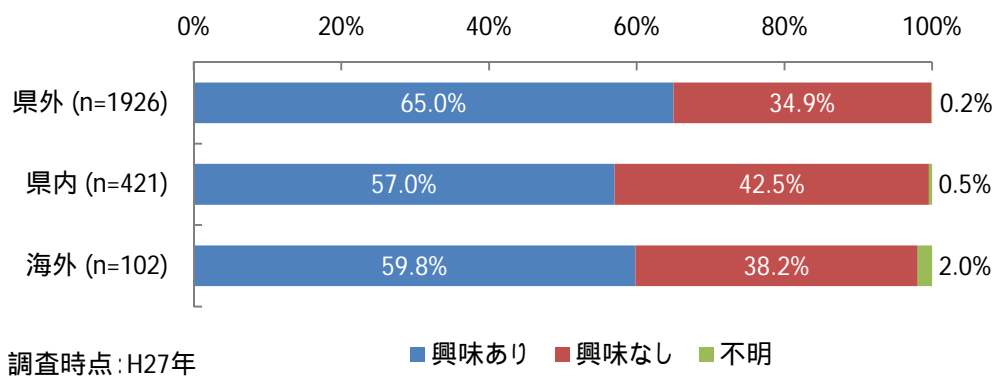
調査時点: H27年

■ 興味あり ■ 興味なし ■ 不明

サンプルは H27 年 5 月 ~ 11 月のみ

## 居住地

「興味あり」は、「県外」で最も高く 65.0%、次いで「海外」が 59.8%、「県内」が 57.0%となっている。

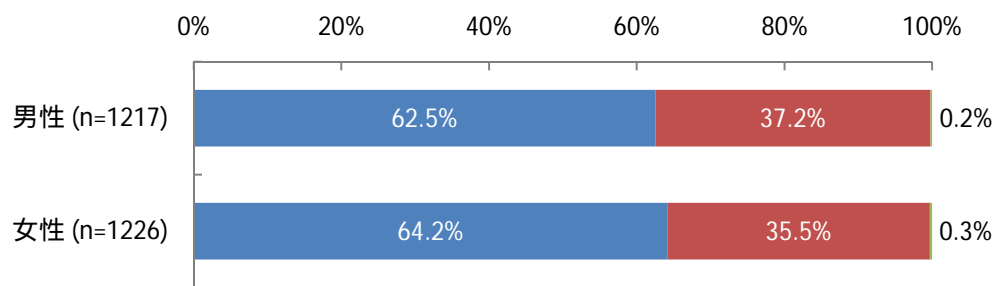


調査時点:H27年

サンプルは H27 年 5 月 ~ 11 月のみ

## 性別

「興味あり」の回答は男女ともほぼ同じ割合で、差は見られなかった。



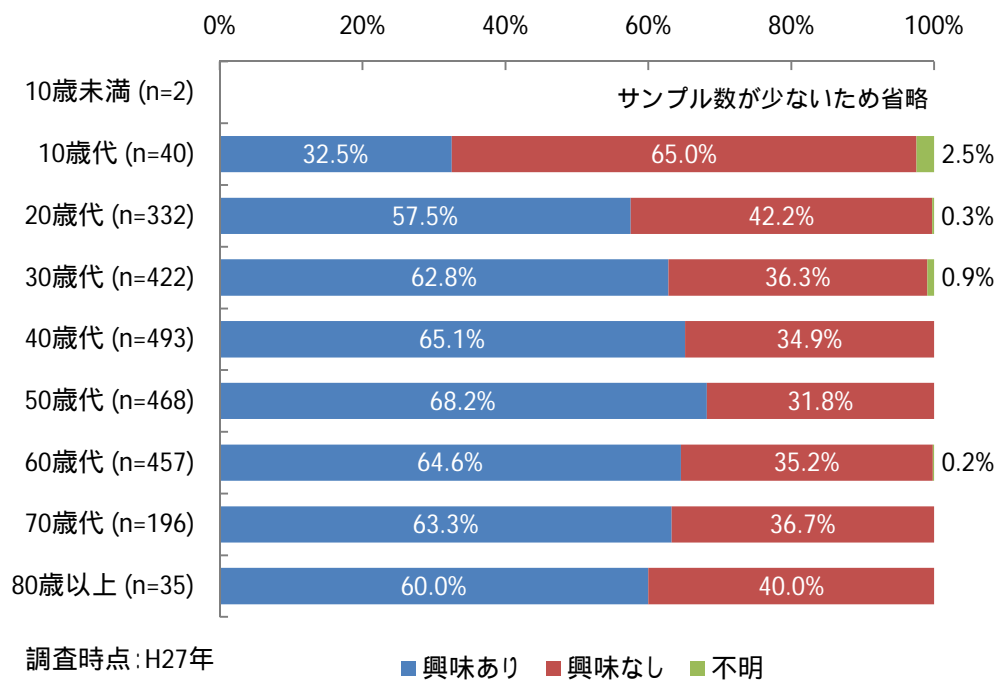
調査時点: H27年

■ 興味あり ■ 興味なし ■ 不明

サンプルは H27 年 5 月 ~ 11 月のみ

## 年代

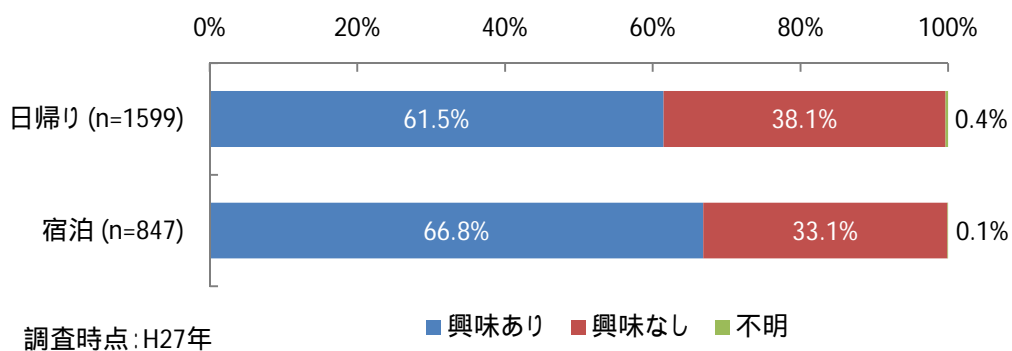
サンプル数が10以上の年代について見ると、30歳以上のすべての年代で6割以上が「興味あり」としており、「20歳代」でも5割を超えている。



サンプルは H27 年 5 月 ~ 11 月のみ

### 滞在状況（日帰り、宿泊）

日帰り客と宿泊客で比較すると、宿泊客のほうが「興味あり」がやや高くなっている。

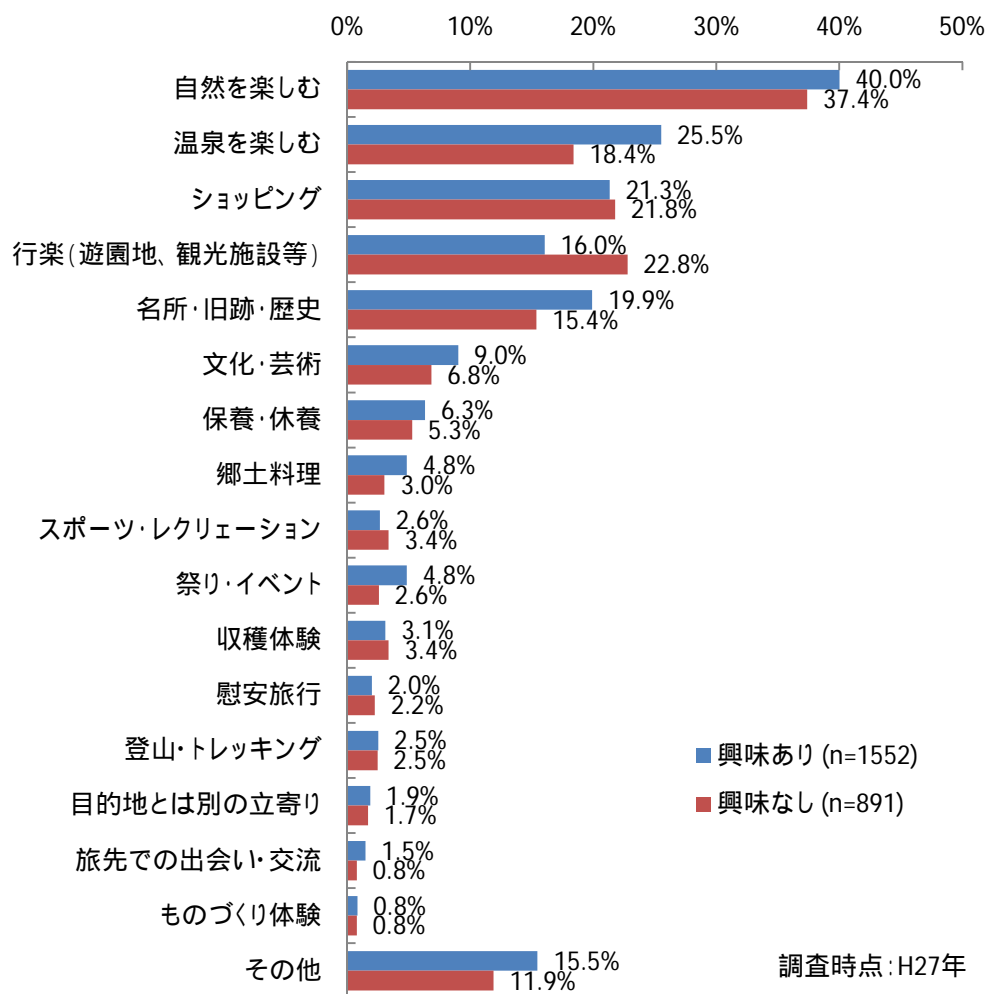


サンプルは H27 年 5 月 ~ 11 月のみ

## 観光目的

観光の目的別で「興味あり」が「興味なし」を上回った主な項目は、「自然を楽しむ」、「温泉を楽しむ」、「名所・旧跡・歴史」等となっている。

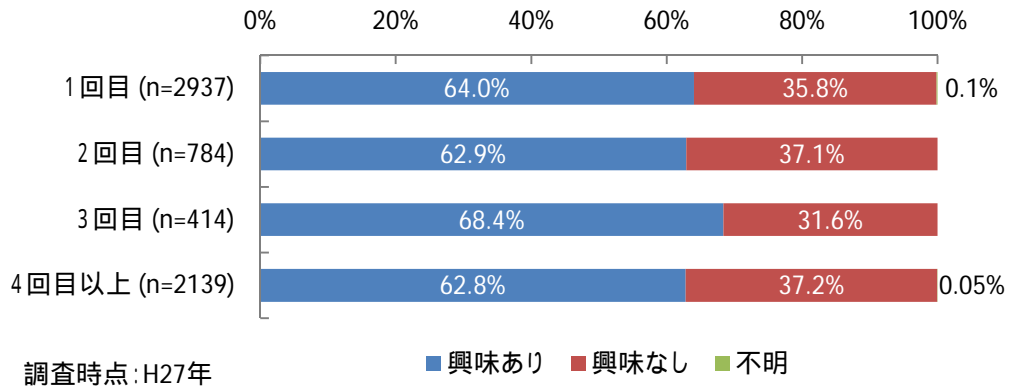
一方、「興味なし」が「興味あり」を上回った主な項目は、「ショッピング」、「行楽(遊園地、観光施設等)」、「スポーツ・レクリエーション」等となっている。



サンプルは H27 年 5 月 ~ 11 月のみ

観光地への訪問回数（同行者を含む）

調査地点への訪問回数で比較すると、大きな差は見られなかったが、「3回目」が他と比較して若干「興味あり」が高くなっている。

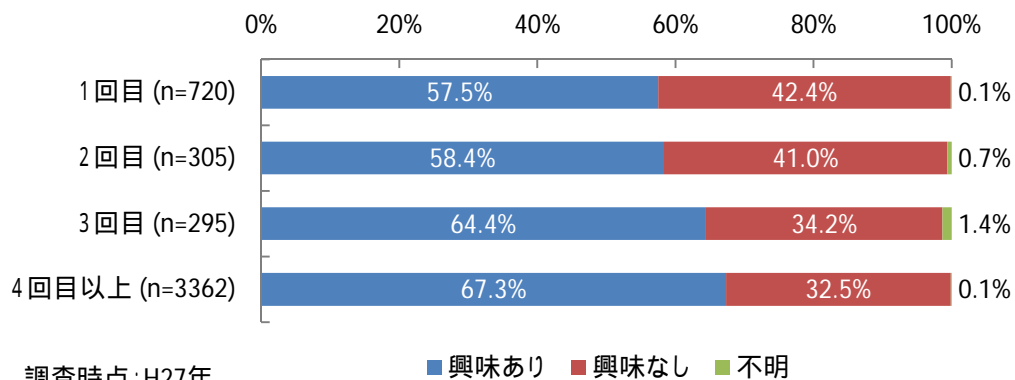


サンプル数は同行者を含む人数  
サンプルは H27 年 5 月 ~ 11 月のみ



来県回数（県外客）（同行者を含む）

同行者を含めた山梨県への来県回数別で、「興味あり」と回答した割合が最も高かったのは、「4回目以上」で67.3%であった。

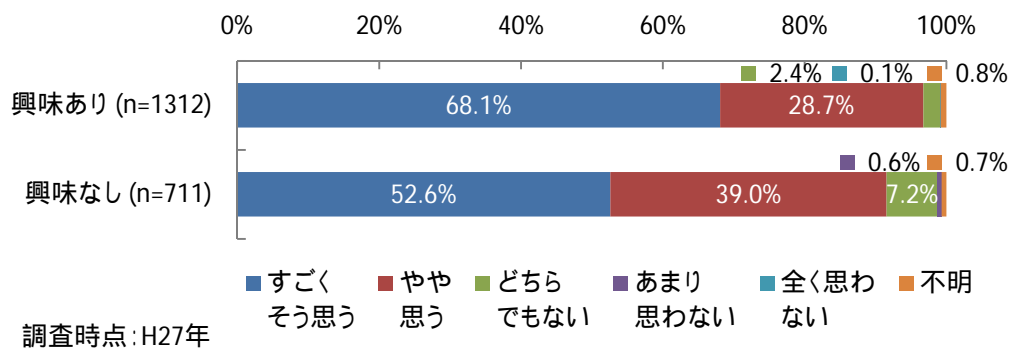


調査時点: H27年

サンプル数は同行者を含む人数  
サンプルは H27 年 5 月 ~ 11 月のみ

## 再訪希望

ワイナリーを巡る旅について「興味あり」とした人の方が、「興味なし」とした人より高い割合で再訪を希望している。



県外客、海外客のみ  
サンプルは H27 年 5 月～11 月のみ

### 3. アンケート調査票

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、この調査実施県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名：_____)	海外の場合(国名：_____)
↓ 山梨県内の場合 → (市町村名 _____)	

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。それぞれ1つだけ

性別	1. 男性	2. 女性			
年齢	1. 10歳未満	2. 10歳代	3. 20歳代	4. 30歳代	5. 40歳代
	6. 50歳代	7. 60歳代	8. 70歳代	9. 80歳以上	

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。 1つだけ  
 宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。  
 また、県内ではどのような施設に宿泊するかをご記入下さい。 いくつでも

1. 日帰り	2. 宿泊		
→ 宿泊数 _____ 泊		そのうち県内 _____ 泊	↓ 宿泊した施設の数 ↓ 県内宿泊施設数 _____ 施設

< 県内宿泊施設 >

1. 実家や知人・親戚宅	2. 旅館	3. ホテル	4. ペンション・民宿	5. 保養所・研修所
6. キャンプ場	7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊	8. 別荘・リゾートマンション		
9. 会員制の宿泊施設	10. その他			

Q4. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。 1つだけ

また観光の場合、その目的はなんですか(複数回答可)

1. ビジネス	2. 観光	3. 帰省	4. (1~3のどれでもない) その他
観光目的	1. 自然を楽しむ	2. 温泉を楽しむ	3. 名所、旧跡、歴史
	4. 行楽(遊園地、観光施設等)	5. 慰安旅行	6. 登山、トレッキング
	7. スポーツ、レクリエーション	8. 収穫体験	9. ものづくり体験
	10. ショッピング	11. 郷土料理	12. 文化、芸術
	13. 祭り、イベント	14. 保養、休養	15. 旅先での出会い・交流
	16. 目的地とは別の立ち寄り	17. その他	

Q5. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒に旅行ですか。 子供や乳幼児も含む

( _____ ) 人			
↓ 2人以上の場合			
→	1. 家族	2. 友人	3. 職場・学校等の団体旅行
	4. その他		

Q6. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。 回答の合計はQ5と一致

1. 知らない	2. 知っている	1回目の人数( _____ )人、	2回目の人数( _____ )人
		3回目の人数( _____ )人、	4回目以上の人数( _____ )人

Q7. (県外にお住まいの方のみお答えください)

あなたの山梨県への訪問割合はどれくらいですか。

また、ご一緒のみなさん全員の、当県の訪問が何回目かご存じですか。 回答の合計はQ5と一致

訪問割合	1. 1年に1回以上	2. 2~3年に1回程度	3. 5年に1回程度
	4. 10年に1回程度	5. 今回の旅行が初めて	
1. 知らない	2. 知っている	1回目の人数( _____ )人、	2回目の人数( _____ )人
		3回目の人数( _____ )人、	4回目以上の人数( _____ )人

Q8 . 旅行を計画されるにあたって主に何を参考にされましたか。(複数回答可)

- 1.家族・友人の話 2.観光案内所・情報センター 3.旅行者 4.テレビ・ラジオの番組  
 5.テレビ・ラジオのCM 6.インターネット 7.新聞・雑誌の記事 8.新聞・雑誌の広告・チラシ  
 9.ガイドブック 10.旅行専門雑誌 11.旅行・歴史等に関する本、小説  
 12.観光物産展、キャンペーン 13.パンフレット 14.駅・車内のポスター 15.その他( )

Q9 . 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。また、当県に訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

	ここに来る前にいた場所		現在地		これから行く予定の場所	
居住地			調査地点			居住地
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )

【表】交通機関

J R 新幹線	J R 在来線	私鉄・地下鉄	モノレール	貸切バス・観光バス
高速バス	市内バス	市内電車	タクシー・ハイヤー	
レンタカー	自家用車、社用・公用車		その他	

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

	ここに来る前にいた県		現在地		これから行く予定の県	
居住地	県	県	当 県	県	県	居住地
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )	交通機関 ( )

交通機関は上表から選択

Q10 . 今回の旅行で、使う費用(これから使う予定も含めて)を教えてください。

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入

今回の旅行がパック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択

	使用費用		使用費用
交通費	(県内分) 円		(県外分) 円
宿泊費	(県内分) 円		
土産代	(県内分) 円		
飲食費	(県内分) 円		
入場料	(県内分) 円		
その他	(県内分) 円		
パック料金			円
		↑	県内分のみ もしくは 県外分含む

Q11. 今回の山梨県内の旅行での満足度をお答え下さい。(該当するもの 印をつけて下さい)

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
1.山梨県全体の満足度	1	2	3	4	5	6
2.自然景観	1	2	3	4	5	6
3.文化・歴史	1	2	3	4	5	6
4.温泉	1	2	3	4	5	6
5.宿のサービス	1	2	3	4	5	6
6.食べ物	1	2	3	4	5	6
7.旅先でのおもてなし	1	2	3	4	5	6
旅館等	1	2	3	4	5	6
観光施設	1	2	3	4	5	6
バス	1	2	3	4	5	6
タクシー	1	2	3	4	5	6
土産品店	1	2	3	4	5	6
8.観光施設の充実度	1	2	3	4	5	6
9.道路整備	1	2	3	4	5	6
10.案内標識・看板	1	2	3	4	5	6
11.公共交通の便	1	2	3	4	5	6

Q11-1. Q11の満足度に関連してお聞きします。上記「1」から「11」について、改善した方が良くと思われる点があれば具体的に記述をお願いします。

Q12. 県外又は外国にお住まいの方に伺います。また山梨に来てみたいと思いますか。

1. すごくそう思う	2. やや思う	3. どちらでもない
4. あまり思わない	5. 全く思わない	

Q13. 山梨の美しいブドウ畑の景観や様々なワイナリーを巡る旅に興味がありますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

Q14. Q13で「1. はい」と答えた方は、どのようなことに興味がありますか。(複数回答可)

1. ワインの試飲	2. ブドウ畑の散策	3. ワイナリー見学	4. ワインの購入
5. ホテル・レストランでワインと食事を楽しむ		6. ワインイベントへの参加	
7. ワインの歴史文化施設見学			
8. その他 ( )			

Q15. 山梨県では、皆さまに気軽に何度でも訪れていただける観光地づくりを目指しています。ご意見を自由にご記入下さい。

調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。

調査票コード	都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
1.観_共通_日				:	

調査員記入欄

調査地点名:	調査年月日:平成 年 月 日
調査員名:	調査時刻:( : )